

講演資料

高知県の人口及び消費等の 動向について

2026年1月29日



受講者のみなさまに

- 高知県の人口及び消費などの
動向をご確認してもらい
- 今後の経営や業務にお役立て
いただく

本日の構成

1. ご説明の前に（所与の条件）

2. 人口動向

3. 消費ほか経済動向

4. 将来を考察するためのデータ

1. ご説明の前に（所与の条件）

ご説明の前に

- 人口構造の変化
- イノベーションの進展
- 脱炭素化の進行
- 世界の変化

の4つが経済を考える際の所与の条件

1. ご説明の前に（所与の条件）

●人口構造の変化

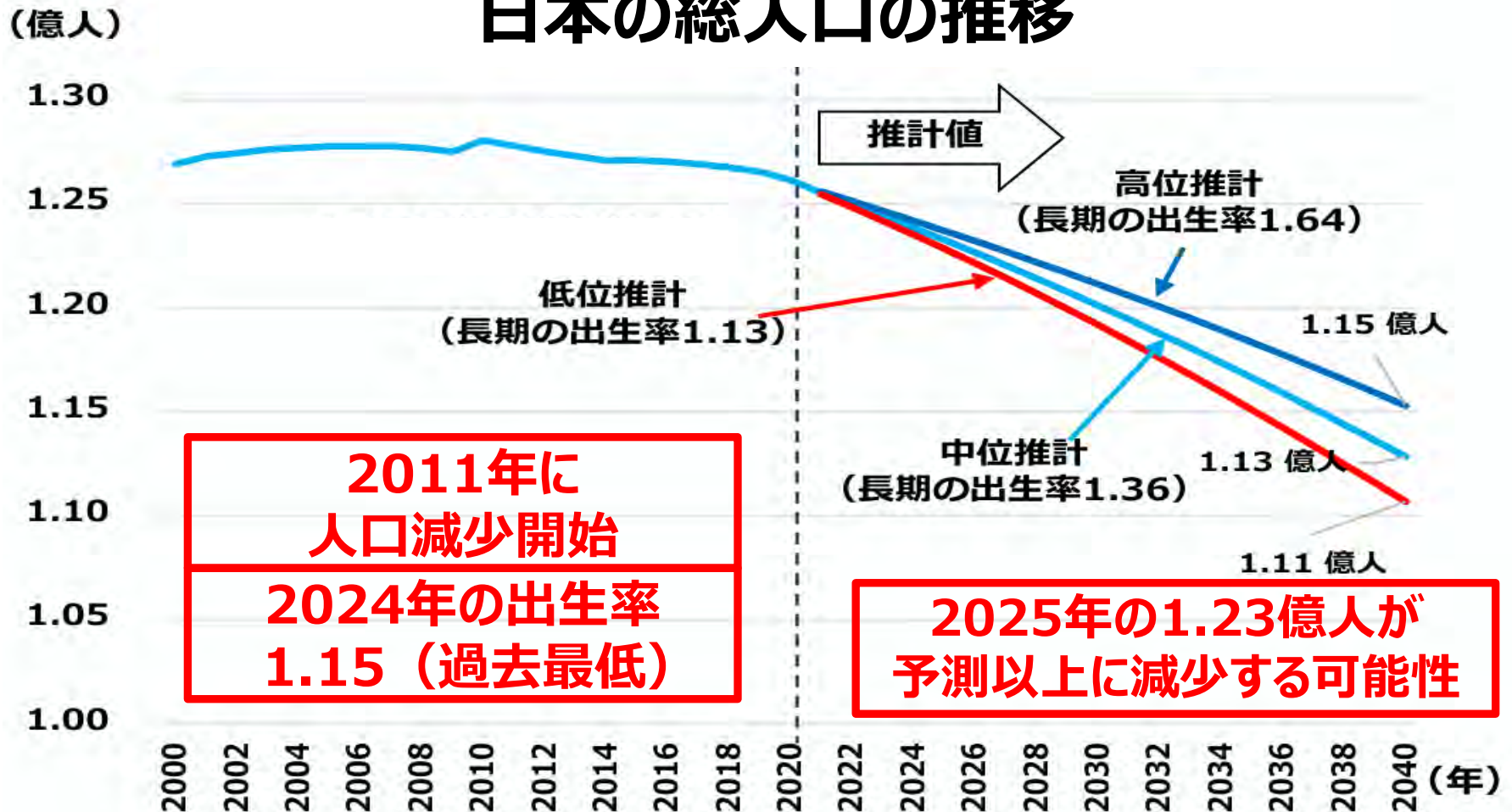
⇒人口減少と少子高齢化

👉 高知を含む日本経済に大きな影響があり、特に地方への影響は甚大

1. ご説明の前に（所与の条件）

人口構造の変化：人口減少と少子高齢化が加速①

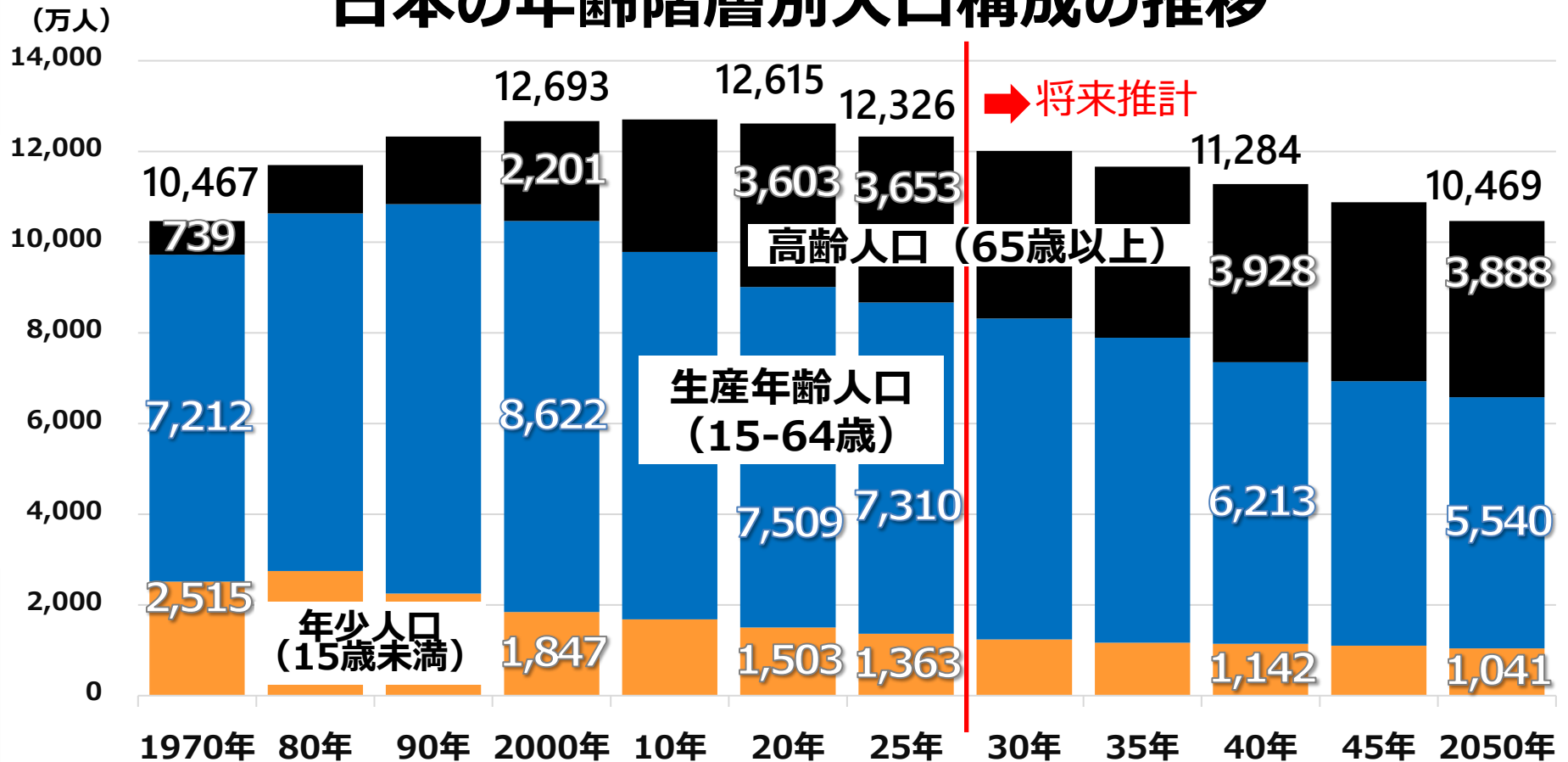
日本の総人口の推移



1. ご説明の前に（所与の条件）

人口構造の変化：人口減少と少子高齢化が加速②

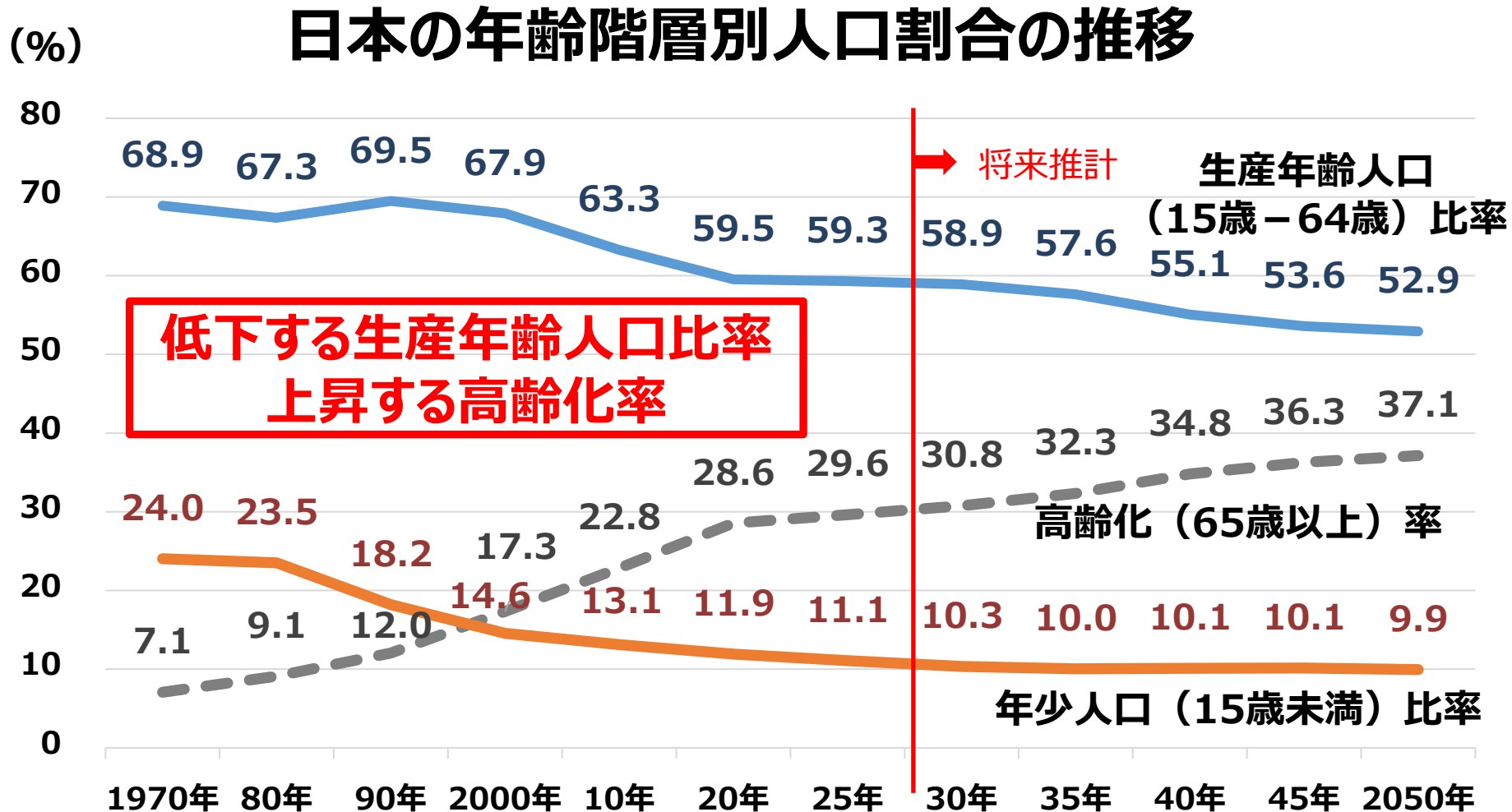
日本の年齢階層別人口構成の推移



減少する生産年齢人口と年少人口・増加する高齢人口

1. ご説明の前に（所与の条件）

人口構造の変化：人口減少と少子高齢化が加速③

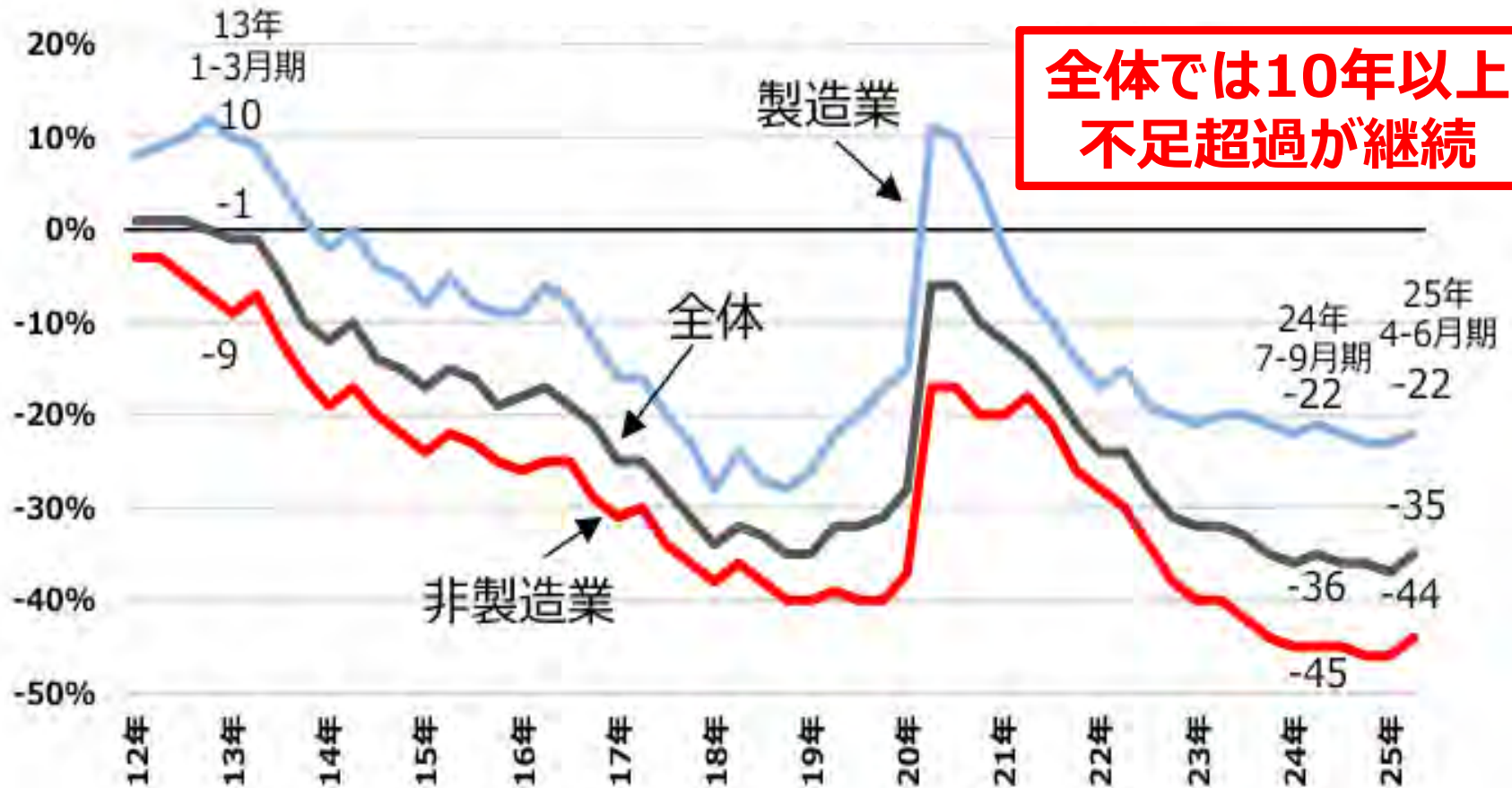


1. ご説明の前に（所与の条件）

人口構造の変化：人手不足・長期間継続

日本企業の雇用過不足感（雇用人員DI）

過剰超過
↑
↓
不足超過

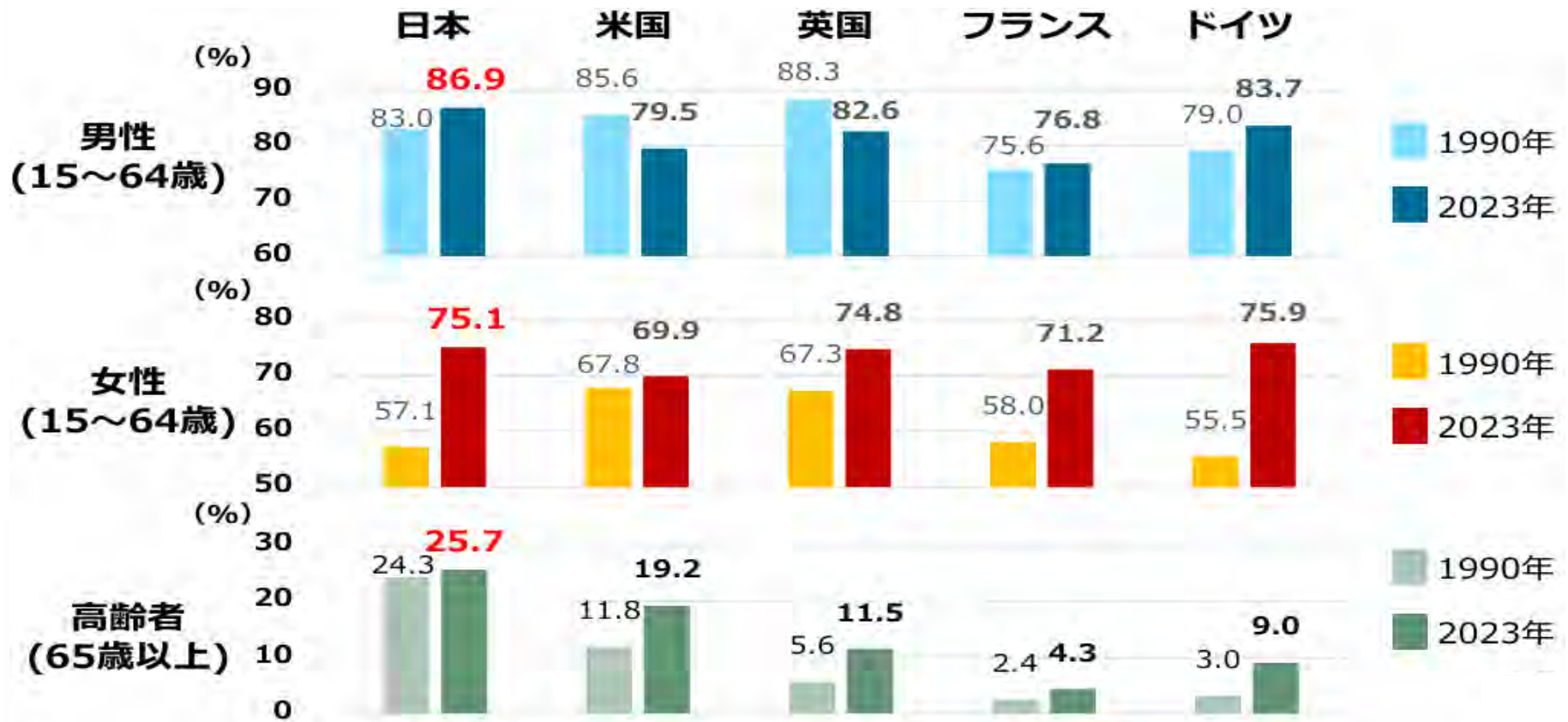


全体では10年以上
不足超過が継続

1. ご説明の前に（所与の条件）

人口構造の変化：労働参加率・日本は世界最高水準

主要国の労働参加率



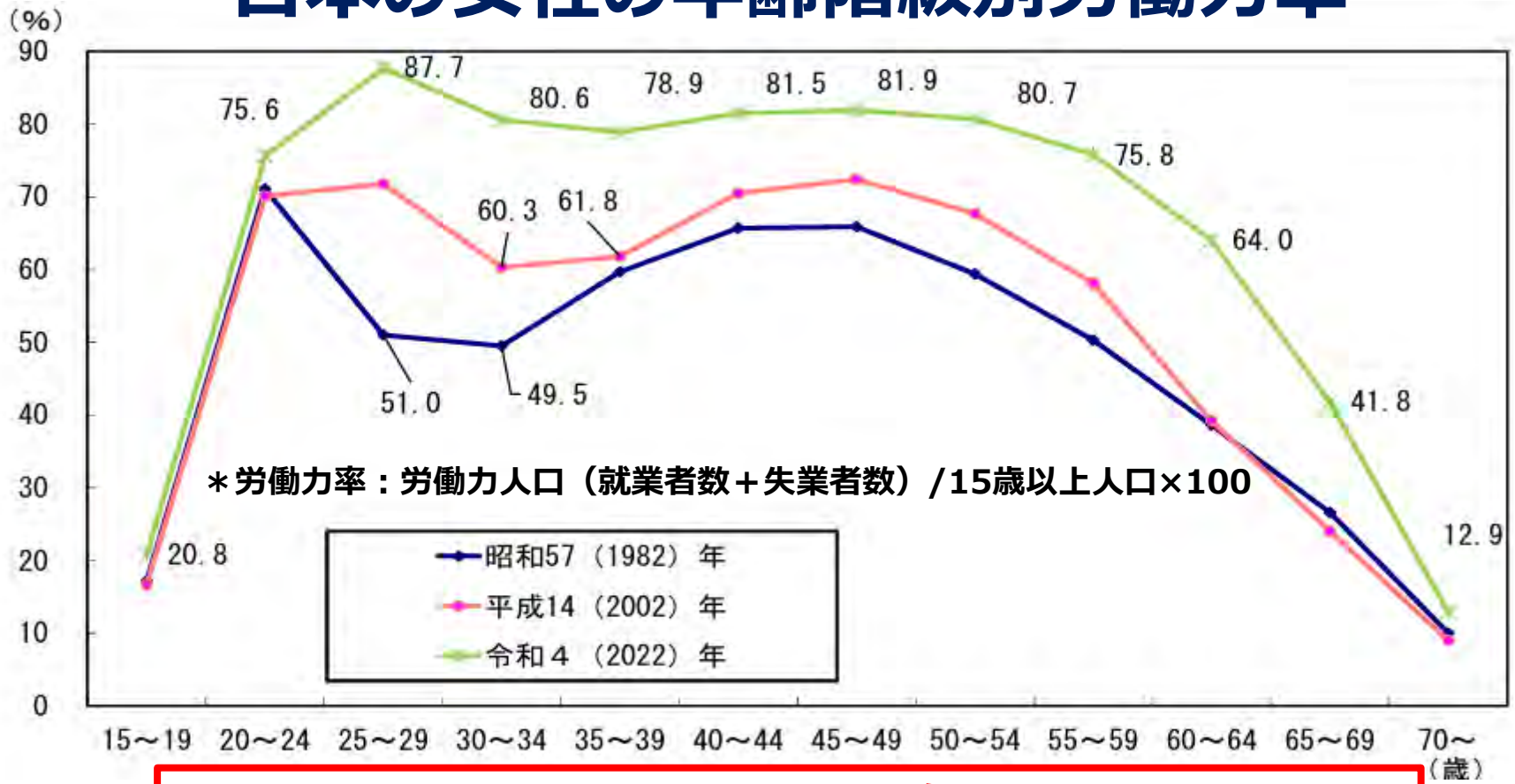
日本は男性、女性、高齢者いずれも既に天井近くの可能性

(出典) OECD *労働参加率：労働力人口（就業者数+失業者数）/生産年齢人口×100

1. ご説明の前に（所与の条件）

人口構造の変化：女性の労働力率

日本の女性の年齢階級別労働力率

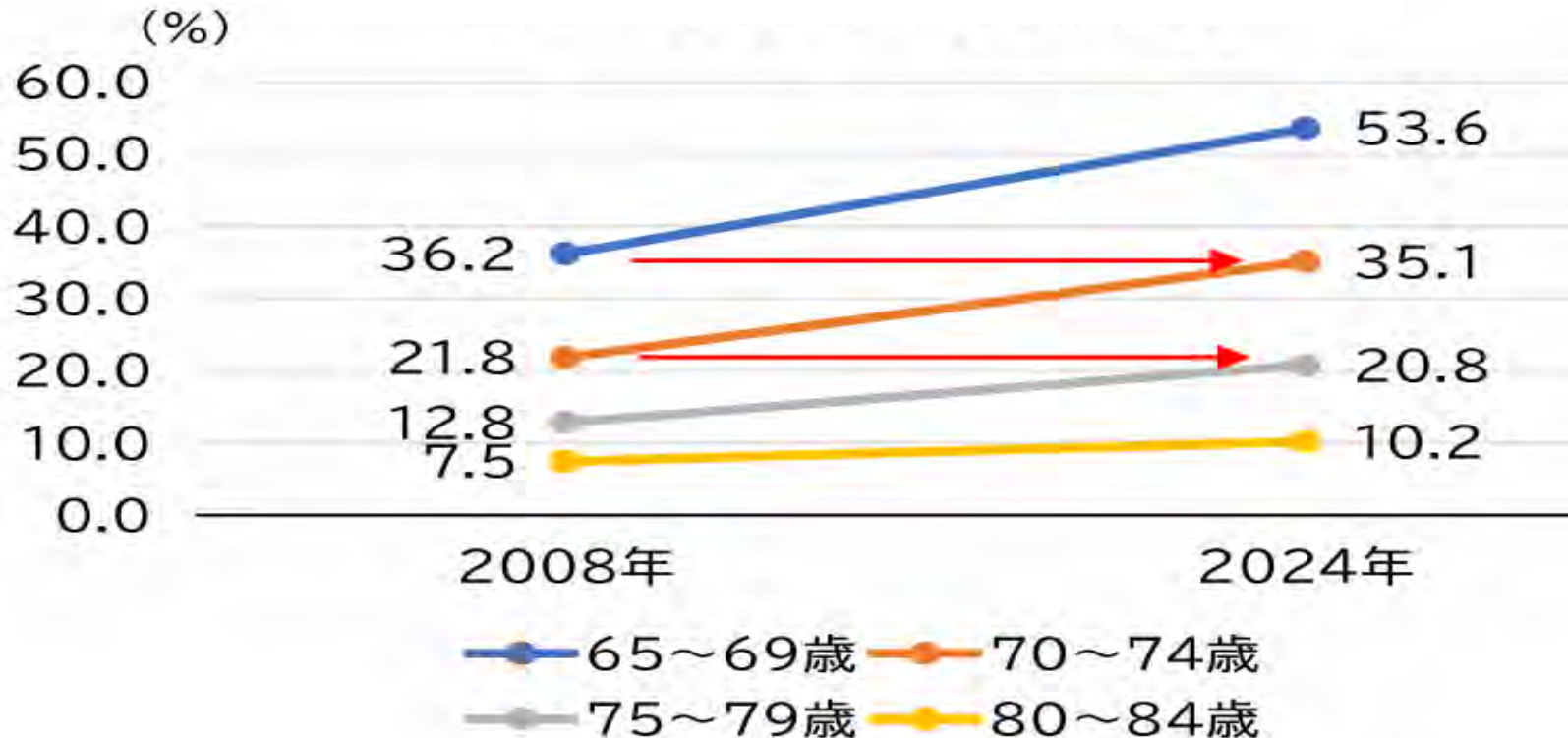


女性の労働力率は全ての年齢階層で上昇

1. ご説明の前に（所与の条件）

人口構造の変化：高齢者の就業率

日本の65歳以上の年齢階層別就業率



65歳以上の就業率は大幅に上昇

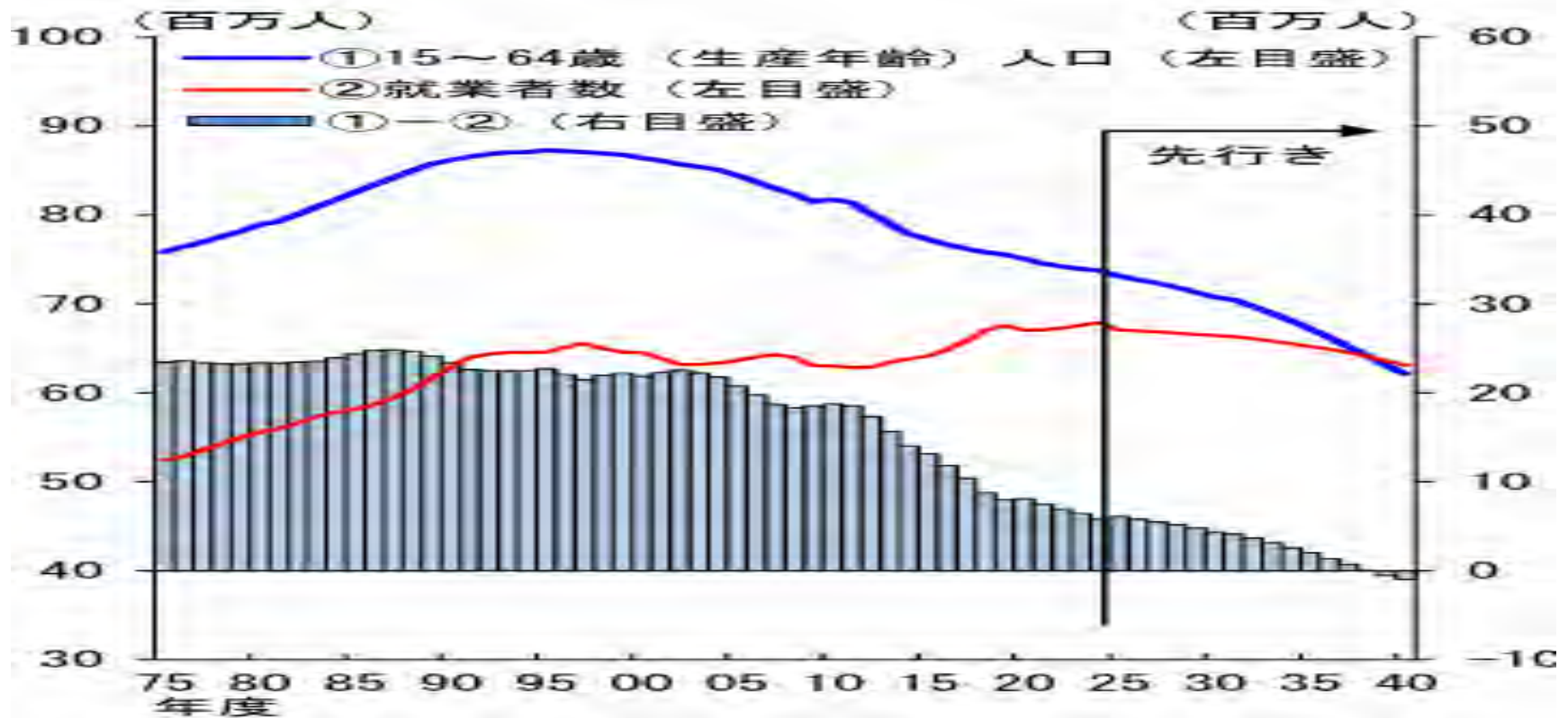
(出典) 令和7年第14回経済財政諮問会議 有識者議員提出資料「社会保障改革の新たなステージに向けて」(2025年12月5日)

* 就業率：就業者数/15歳以上人口×100

1. ご説明の前に（所与の条件）

人口構造の変化：労働需給の見通し

生産年齢人口及び就業者数の推移

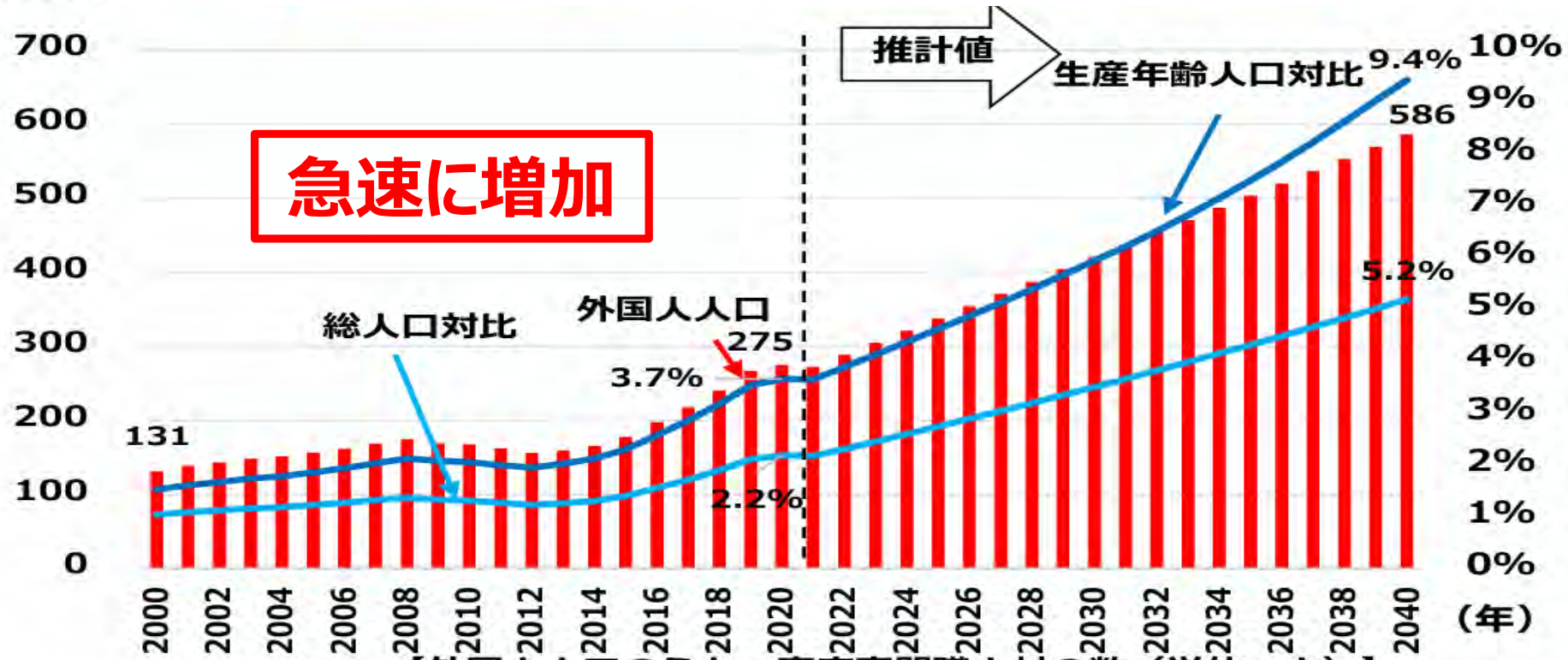


2040年ころには生産年齢人口を就業者数が超える可能性

1. ご説明の前に（所与の条件）

人口構造の変化：外国人人口

(万人) 日本の総人口における外国人人口数と割合の推移



【外国人人口のうち、高度専門職人材の数 (単位：人)】

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1,508	3,739	7,668	11,061	14,924	16,554	15,735	18,315	23,958	26,803

(出典) 経済産業省「経済産業政策新機軸部会 第4次中間整理 参考資料集」(2025年6月) 13

1. ご説明の前に（所与の条件）

日本企業を取り巻く環境を考えてみる（私見）

【マクロ環境：潮目の変化】

- これまでのデフレ・需要不足（人手充足）からインフレ・供給制約（人手不足）へ
 - 人口減少と少子高齢化を背景とした人手不足・担い手不足による供給制約が続く可能性
 - 多くの企業にとって人手不足・担い手不足は最大の課題。従業員確保のための賃上げ等は不可避
 - 賃上げや食糧・エネルギー・外国人材等の資源獲得競争などによるインフレをイノベーション（DX等）などによる生産性向上でどこまで抑制できるか

◆ DX（Digital Transformation デジタルトランスフォーメーション）とは、一般に企業がビッグデータなどのデータとAIやIoTを始めとするデジタル技術を活用して、業務プロセスを改善していくこと。

1. ご説明の前に（所与の条件）

日本企業を取り巻く環境を考えてみる（私見）

【企業間競争：競争の高まり】

- 人材獲得やDX等による生産性向上などについて、
企業間競争が高まる見通し
 - 「労働総動員（多能工化、女性、高齢者、外国人）」とイノベーションの活用（DX等）でどこまで企業活動を維持し、生産性を高められるか
 - 収益性が高く生産性向上と賃上げができる企業は存続し、収益性が低く生産性向上や賃上げができない企業は市場から退出させられる可能性（企業の大淘汰時代）

1. ご説明の前に（所与の条件）

●イノベーションの進展

⇒AI、DX、IoT、ビッグデータ
ロボット、自動化等

👉 経済社会を根本的に変える
可能性

1. ご説明の前に（所与の条件）

イノベーションの進展：世界の生成AI市場

世界の生成AI市場規模の推移及び予測



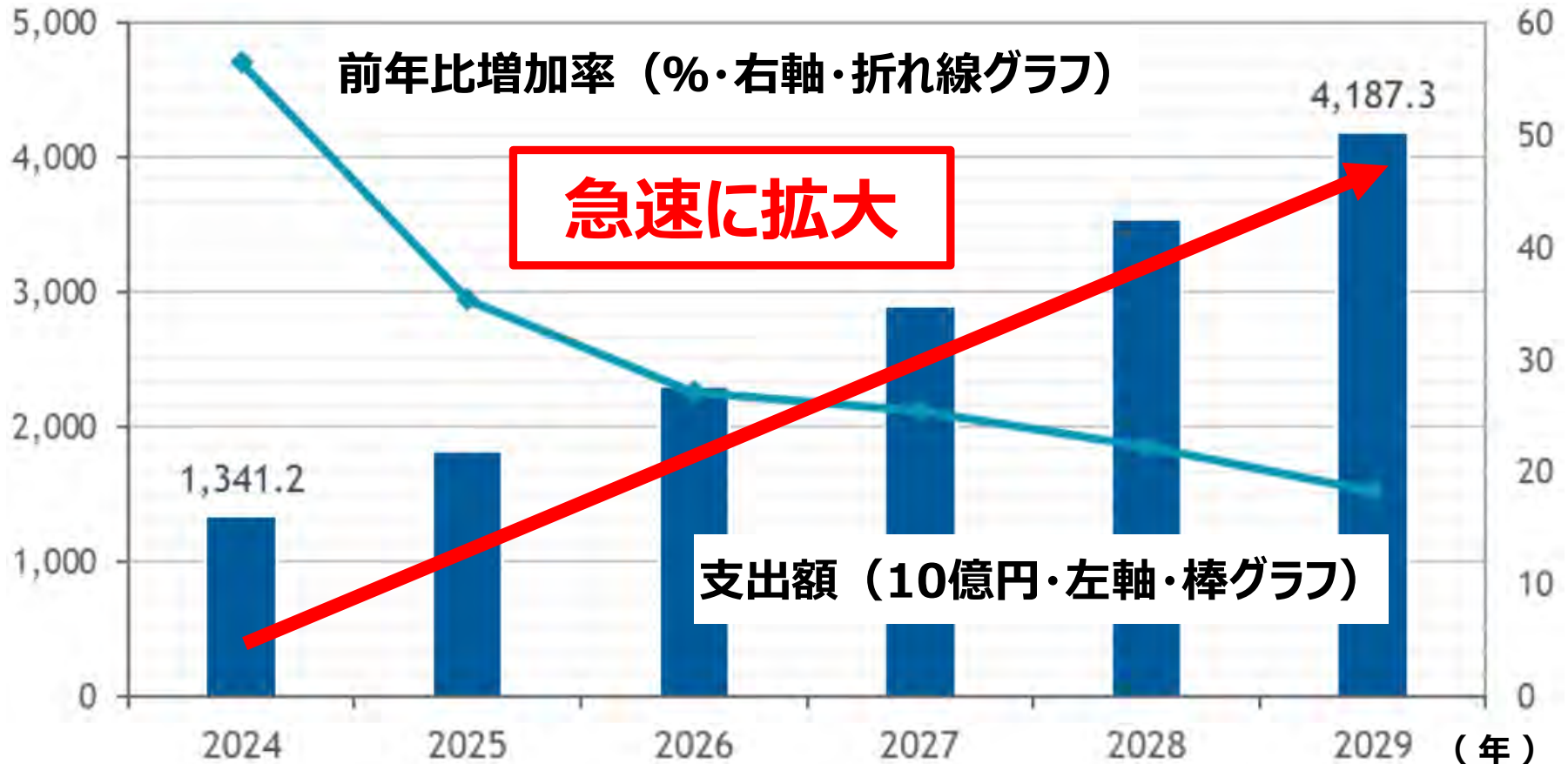
(出典) 総務省 令和7年版情報通信白書

1. ご説明の前に（所与の条件）

イノベーションの進展：日本のAI市場

日本国内AIシステムの市場規模（支出額）

(10億円)

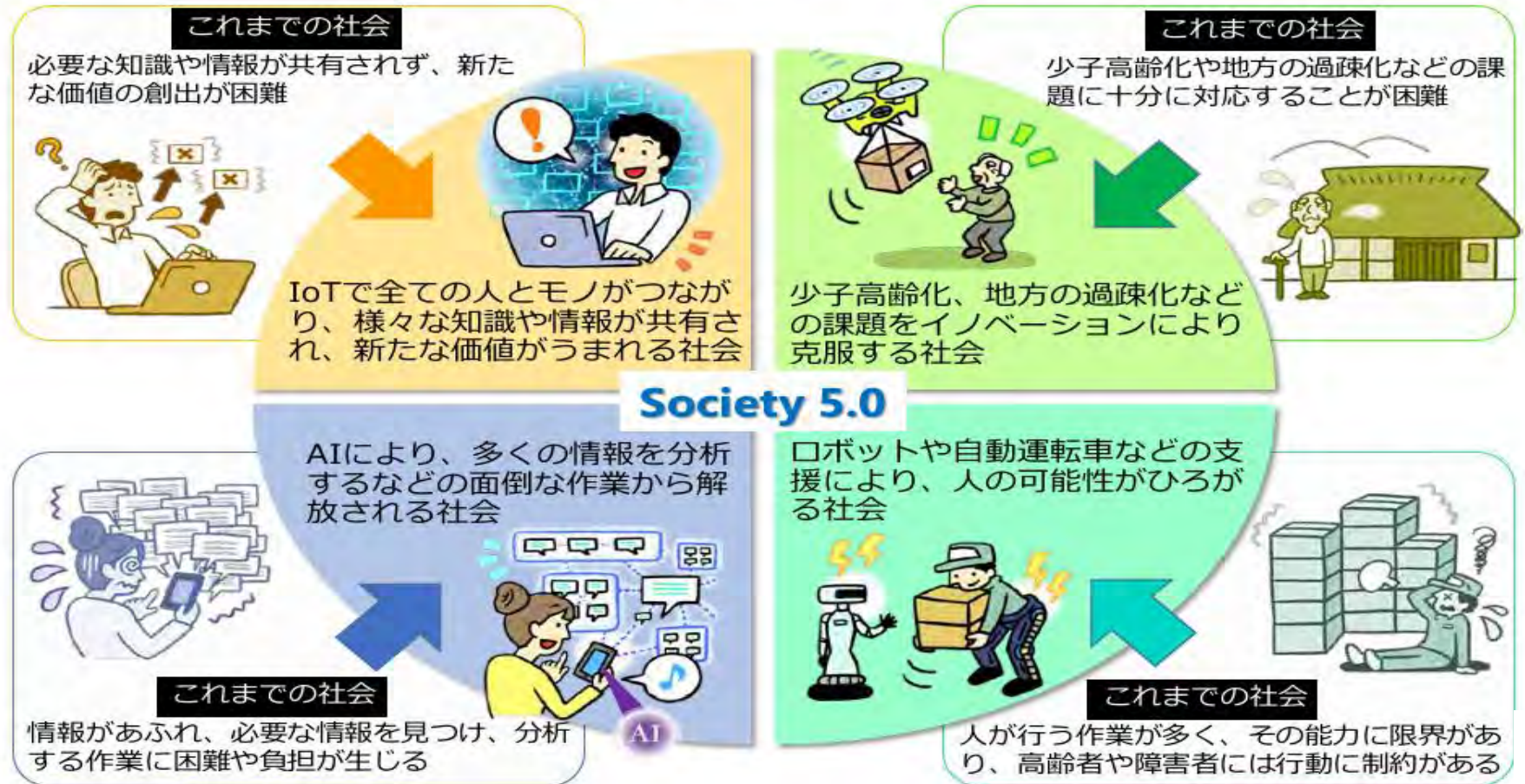


(出典) 総務省 令和7年版情報通信白書

1. ご説明の前に（所与の条件）

イノベーションの進展：望ましい未来像①

Society 5.0で実現する社会



（出典）内閣府「Society 5.0（Society 5.0とは、サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会〔Society〕）」

1. ご説明の前に（所与の条件）

イノベーションの進展：望ましい未来像②

サイバー空間とフィジカル空間の高度な融合

フィジカル（現実）空間から**センサー**と**IoT**を通じてあらゆる情報が集積（**ビッグデータ**）
人工知能（AI）がビッグデータを解析し、高付加価値を**現実空間にフィードバック**

これまでの情報社会(4.0)

Society 5.0



（出典）内閣府「Society 5.0（Society 5.0とは、サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会〔Society〕）」

1. ご説明の前に（所与の条件）

- ◆ **人口減少等を起因とした人手不足**
⇒ **イノベーションの進展による**
AI実装ロボットや自動運転等の
実用化（人間を代替する）まで
続く可能性

1. ご説明の前に（所与の条件）

◆ 買物困難者への影響

⇒ イノベーションの進展による

AI実装ロボットや自動運転等の

実用化（人間の代替）がされると

買物困難者が大きく減少する可能性

1. ご説明の前に（所与の条件）

● 脱炭素化の進行

⇒地球温暖化による気候変動

（異常気象による災害や干ばつによる食糧危機）

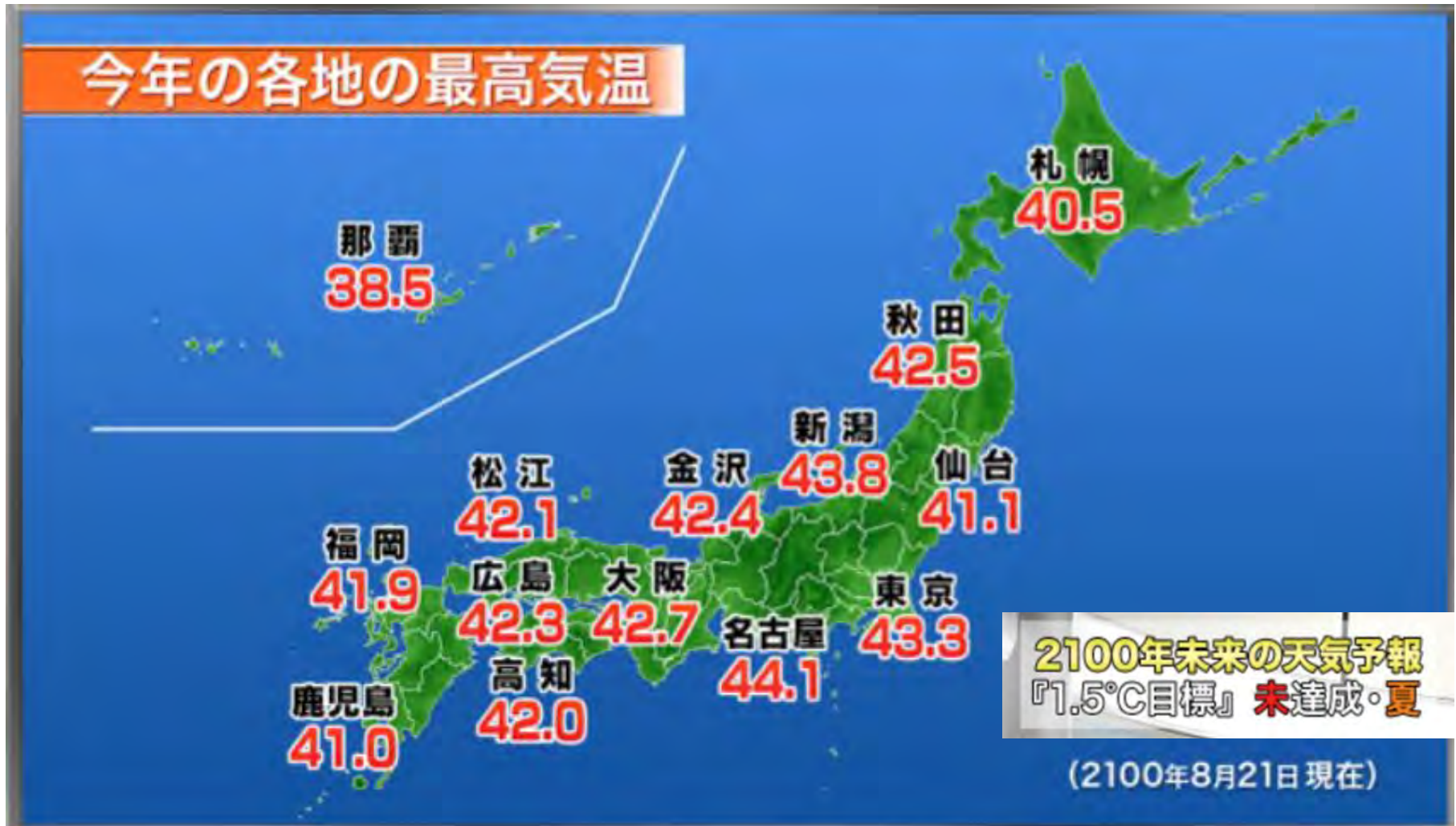
⇒日本は2050年までに温室効果ガス
排出をネットゼロに

👉 脱炭素化できない場合は地球規模
での危機となる可能性も

（異常気象→生態系崩壊→社会不安→経済損失→国際紛争）

1. ご説明の前に（所与の条件）

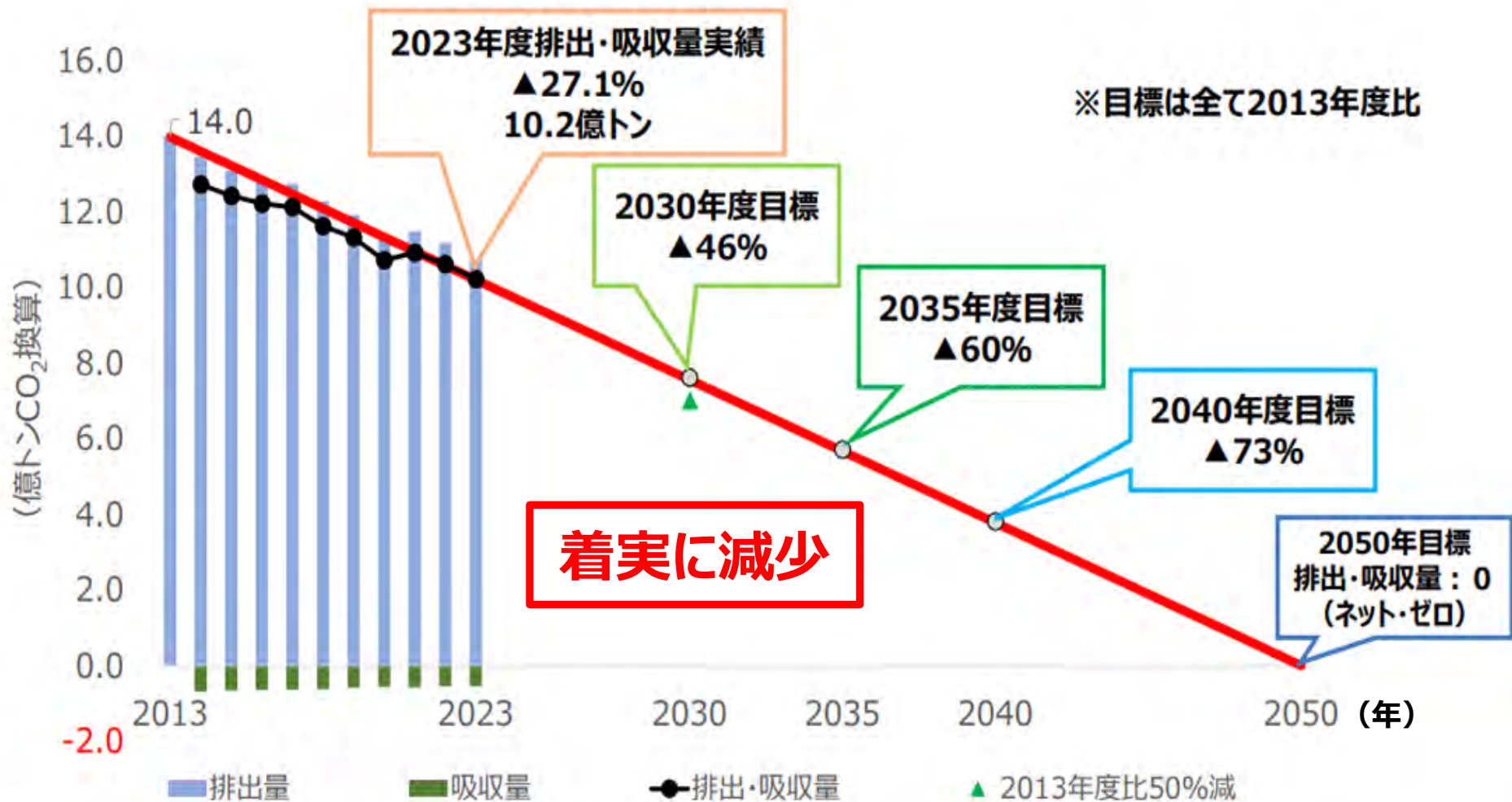
脱炭素化の進行：「2100年 未来の天気予報」



(出典) 環境省

1. ご説明の前に（所与の条件）

脱炭素化の進行：日本の温室効果ガス排出・吸収量



(出典) 資源エネルギー庁 令和6年度エネルギーに関する年次報告

1. ご説明の前に（所与の条件）

●世界の変化

⇒世界の人口動態の転換

👉日本だけでなく、中国、欧州、韓国、東南アジアの（準）高所得国も人口減少局面に中国を含む世界的な少子高齢化で今後世界的なインフレ圧力の可能性

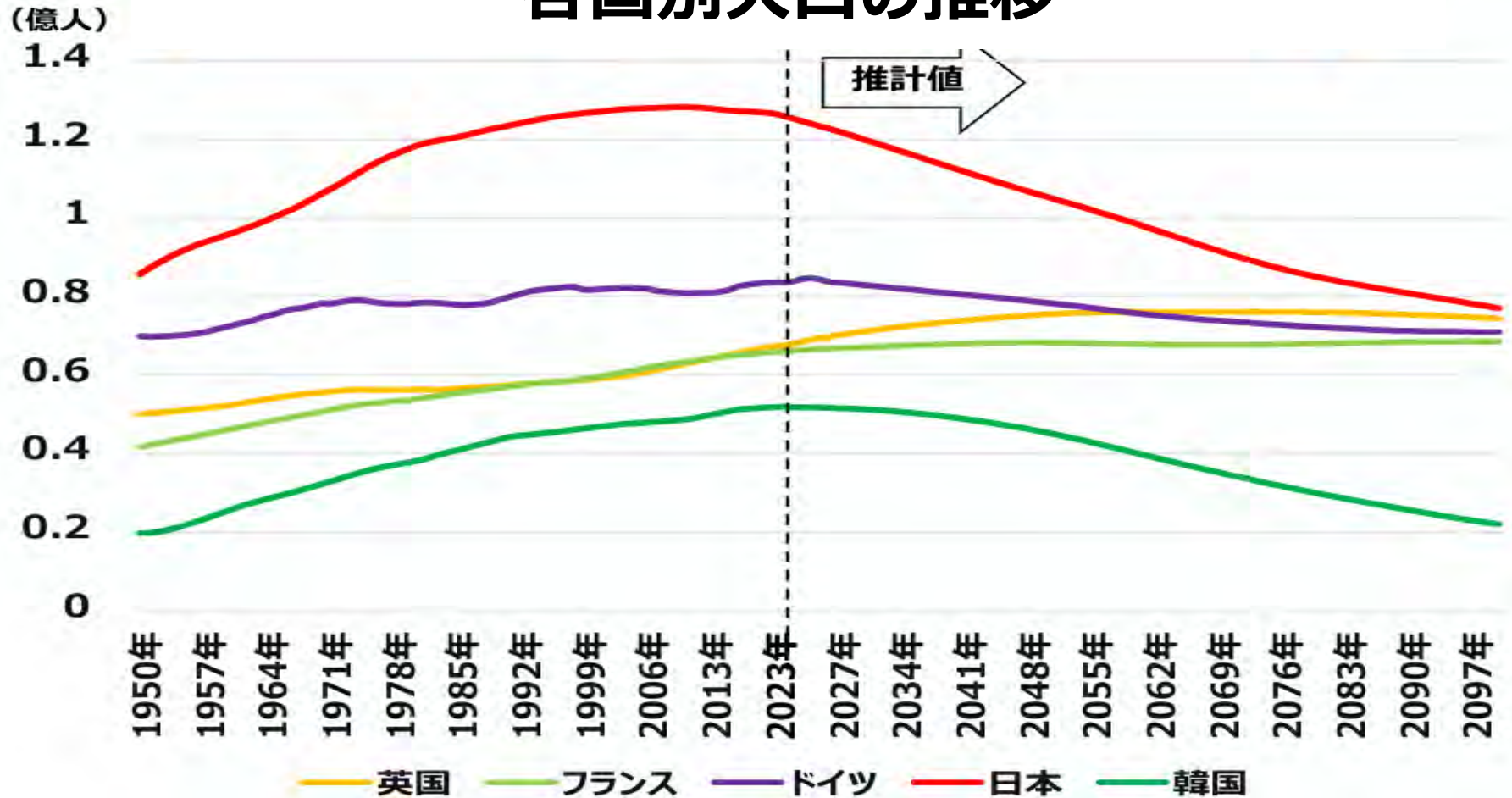
⇒国際経済秩序の変化

👉経済安全保障環境の変化や世界的なサプライチェーンにおける日本の重要性の高まり

1. ご説明の前に（所与の条件）

世界の変化：先進国でも人口減少局面に

各国別人口の推移

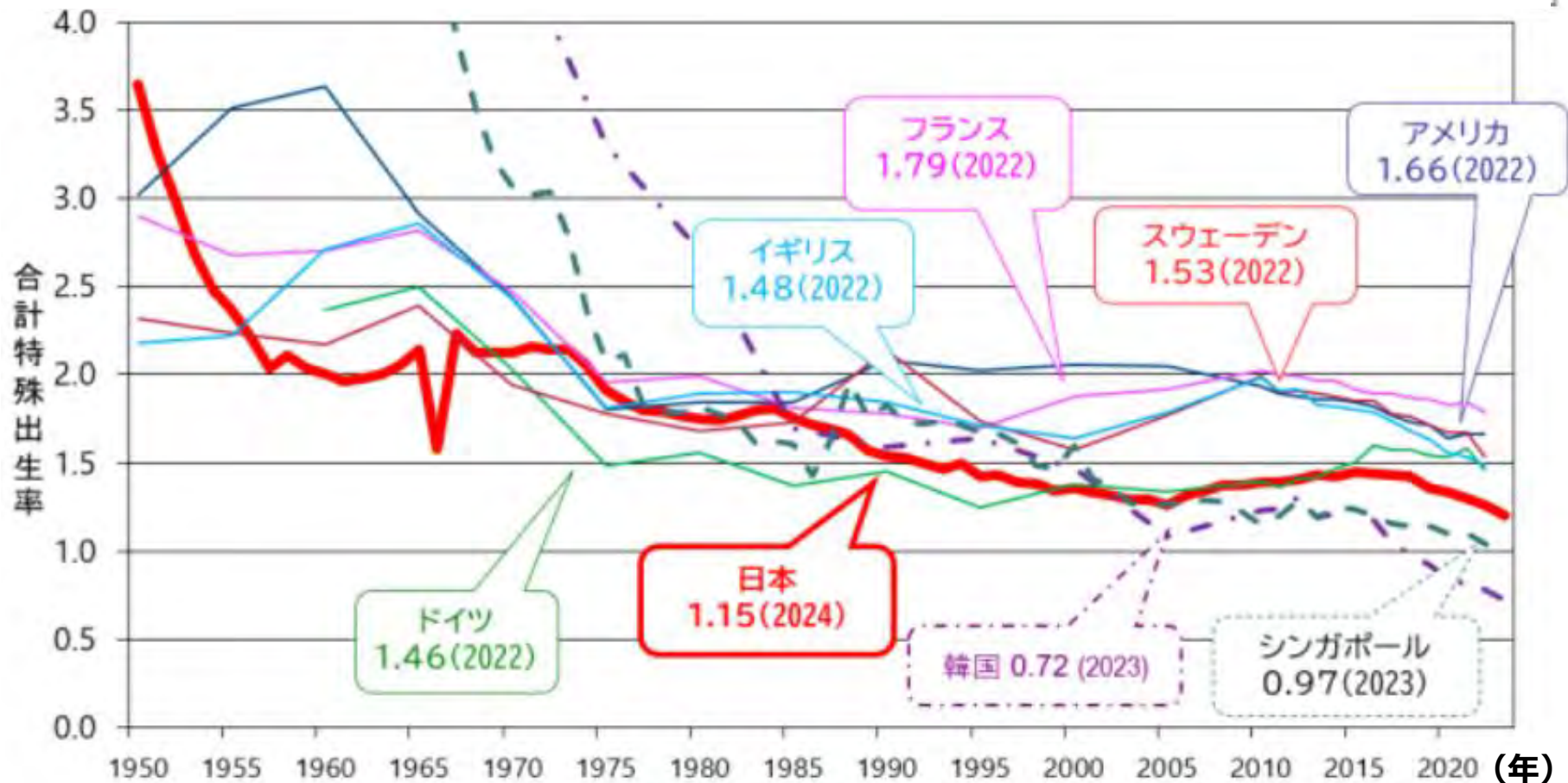


(出典) 経済産業省「経済産業政策新機軸部会 第4次中間整理 参考資料集」(2025年6月) 27

1. ご説明の前に（所与の条件）

世界の変化：出生率・日本、欧州、韓国等多くの国で低下傾向

世界各国の合計特殊出生率の推移

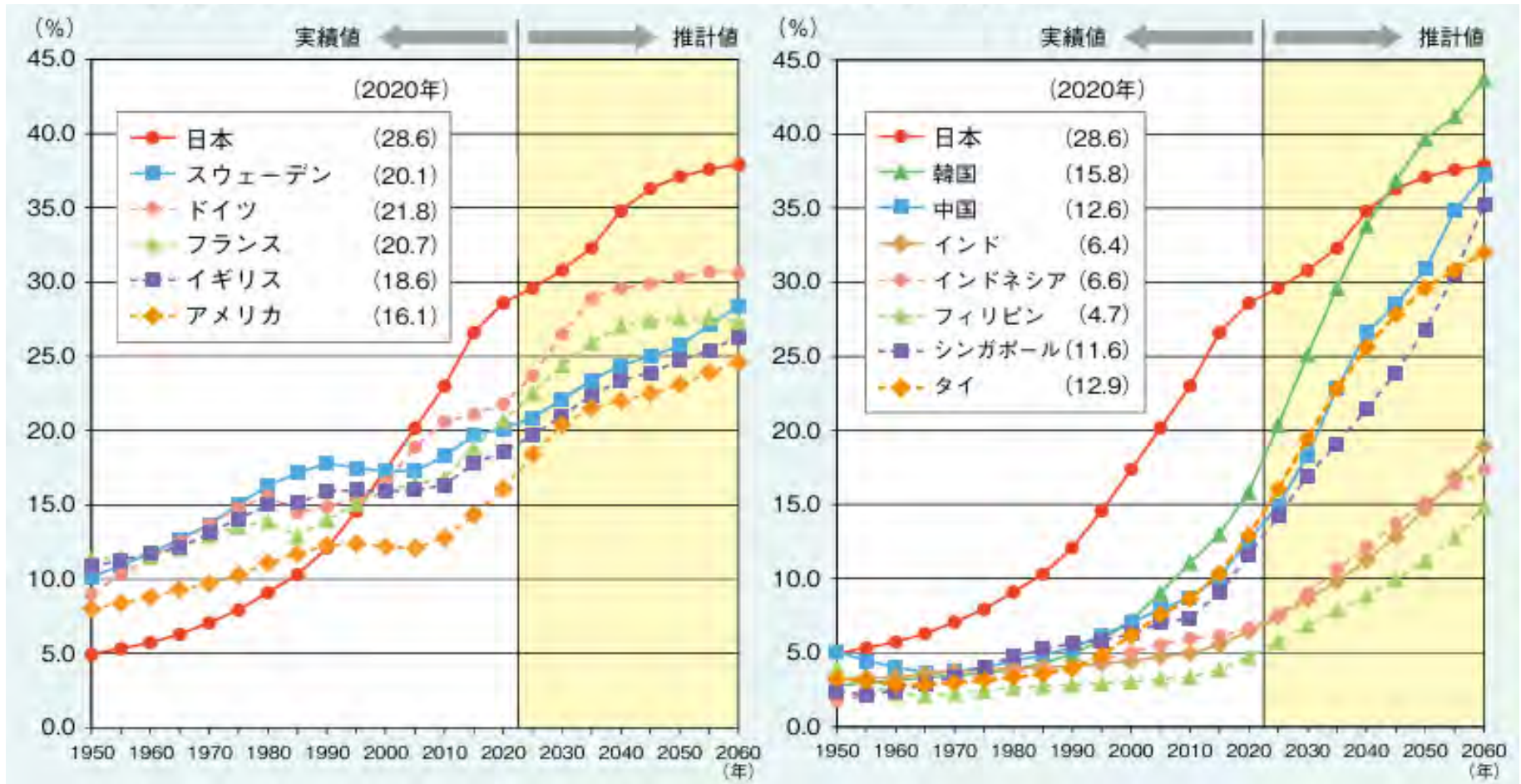


(出典) 厚生労働省「我が国の人口について」

1. ご説明の前に（所与の条件）

世界の変化：高齢化率・各国とも急速に上昇

欧米の高齢化率（65歳以上人口） アジアの高齢化率（65歳以上人口）



(出典) 厚生労働省 令和7年版高齢社会白書

1. ご説明の前に（所与の条件）

経済安全保障環境の変化：厳しさを増す日本を取り巻く環境

4つの領域で地殻変動が起こっており、大国間の覇権を巡る競争が加速
我が国の経済力を支える産業・技術基盤を毀損するリスクが増大

① ルールベースの国際経済秩序の揺らぎ

- 一方的措置や対抗措置、大規模支援策等を通じた大国間のパワーベースの競争が拡大
- 大国による更なる産業・技術基盤の「囲い込み」と「武器化」のリスクの顕在化



② エネルギー戦略の重要性の高まり

- 生成AIの普及によるデータセンター等の電力需要の増加や大国によるエネルギーサプライチェーン支配の動きが見込まれる中、インフラとしてのエネルギーと産業としてのエネルギーの重要性が高まっている
- 大国による支配的地位の確立に向けた動きが見られるなど、GX・エネルギー戦略の動きが加速



③ 大国による新たなテクノロジー秩序の形成

- 大国によるAIを中心としたテクノロジー覇権競争が激化、大国への産業・技術基盤の集積にも繋がる
- テクノロジー覇権争いを通じた実体的な秩序形成へ



④ フロンティア領域における競争激化

- 宇宙や海洋、ドローンなどのフロンティア領域における競争も激化
- 将来のコネクティビティインフラの在り方にも影響



本日の構成

1. ご説明の前に（所与の条件）

2. 人口動向

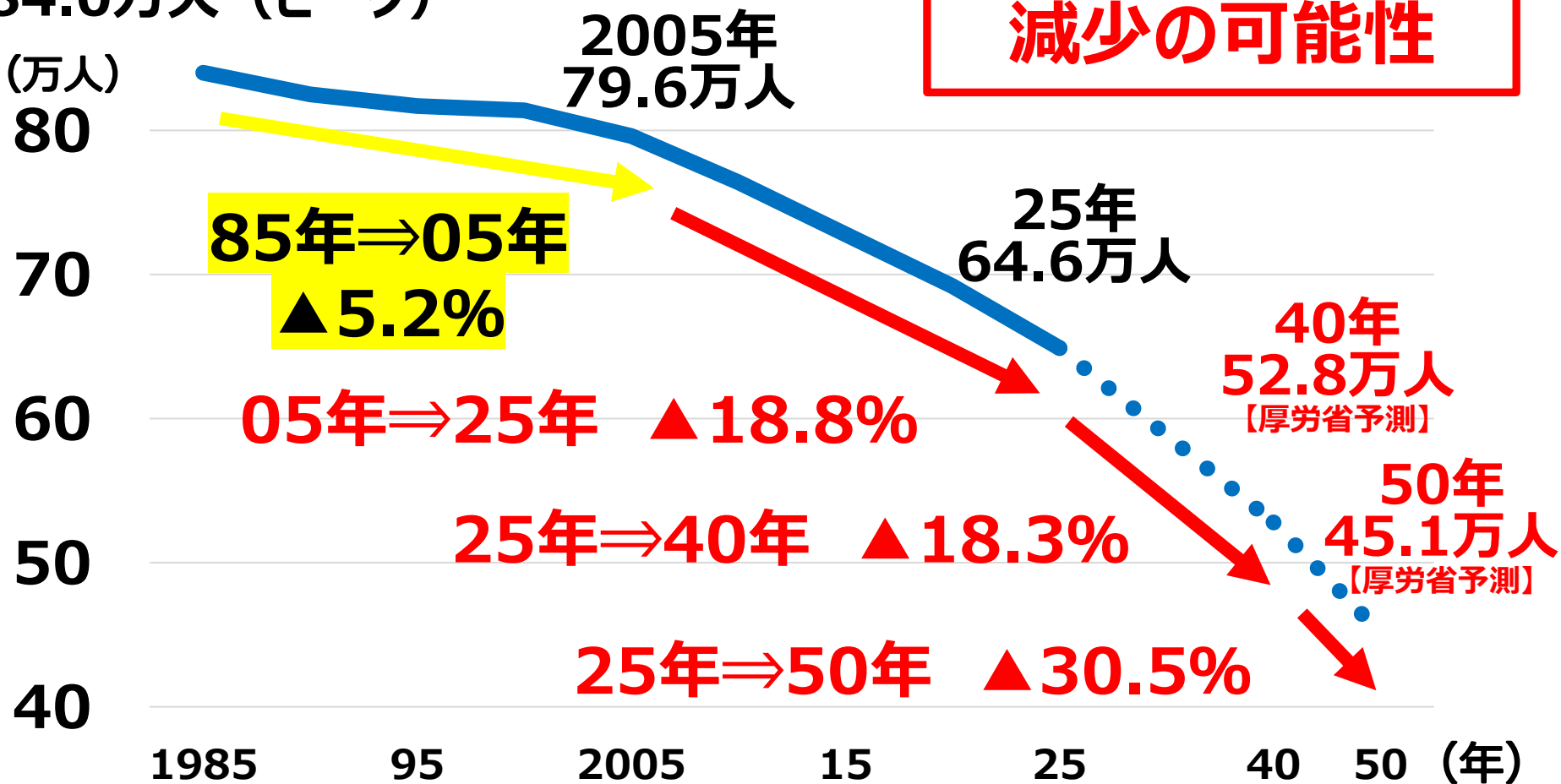
3. 消費ほか経済動向

4. 将来を考察するためのデータ

2. 人口動向

(1) 人口減少 ①急加速

高知県人口 1985年
84.0万人 (ピーク)



(出典) 国勢調査、厚労省社会保障人口問題研究所、高知県、以下の高知県の人口資料について同じ

2. 人口動向

(1) 人口減少 ②予測を上回る減少率

高知県人口

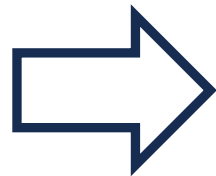
2005年

(平成17年)

79.6万人

[▲5.2%]

【85年比】



2025年

(令和7年)

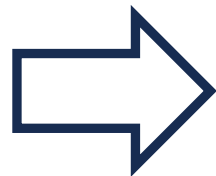
67.1万人

[▲15.7%]

【05年比】

厚労省予測

(2007年5月)



2025年

(令和7年8月)

64.6万人

[▲18.8%]

【05年比】

高知県発表の

実数

(2025年8月)

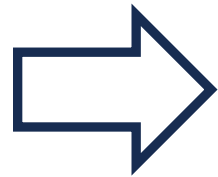
予測より2.5万人減
予測を3.1%上回る減少率

2. 人口動向

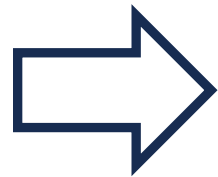
(1) 人口減少 ③ 予測を上回る減少の可能性

高知県人口
2025年
(令和7年8月現在)

64.6万人
〔▲18.8%〕
〔05年比〕



2050年
(令和32年)
45.1万人
〔▲30.5%〕
〔25年比〕



2050年
(令和32年)
38.8万人
〔▲39.9%〕
〔25年比〕

2050年に40万人を
下回る可能性

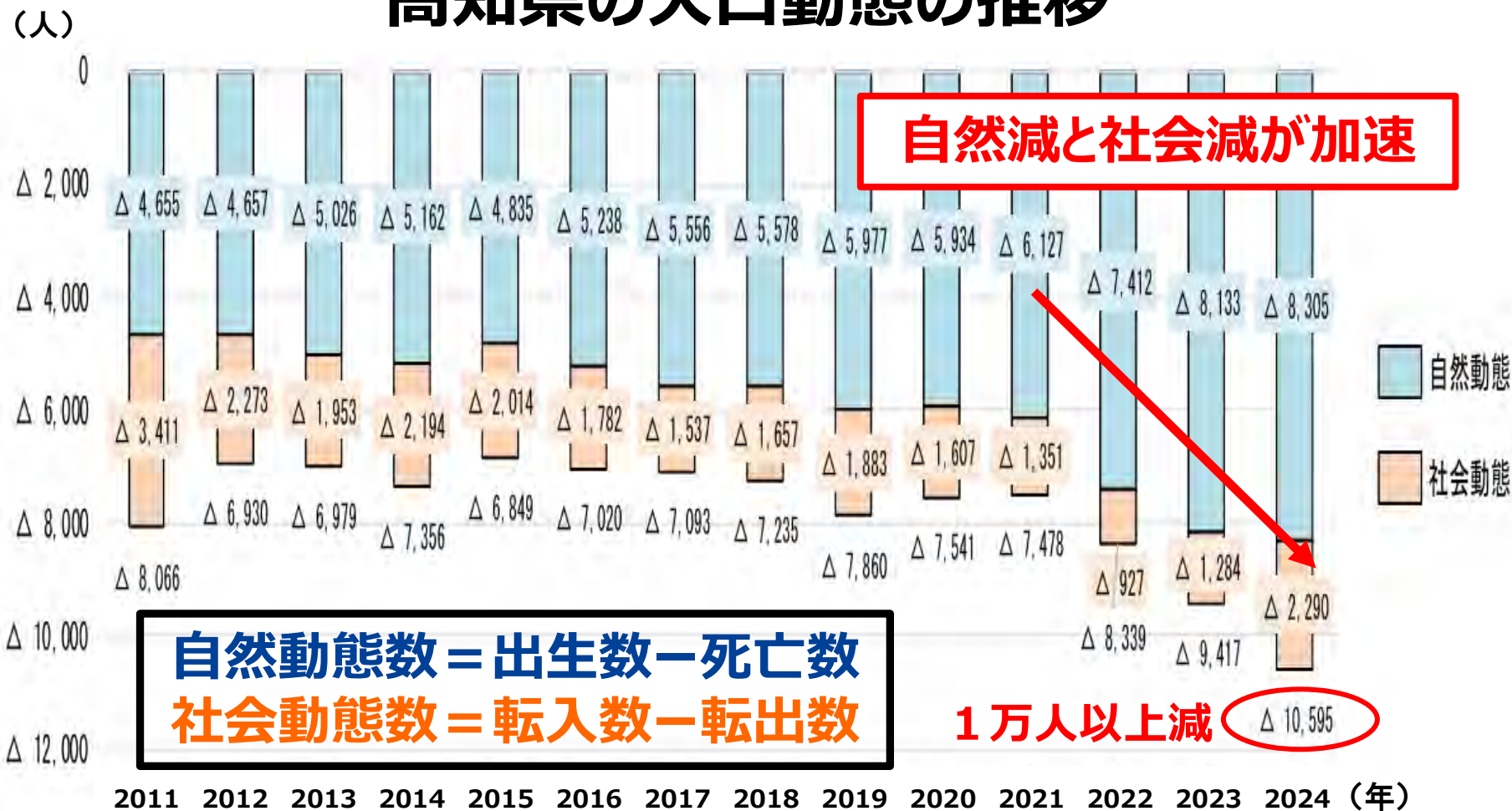
厚労省予測
(2023年12月)

前年比▲2%の
減少率による
25年後人口の
弊社試算
2023年4月1日時点人口
前年同月比▲1.2%
2024年同▲1.5%
2025年同▲1.7%

2. 人口動向

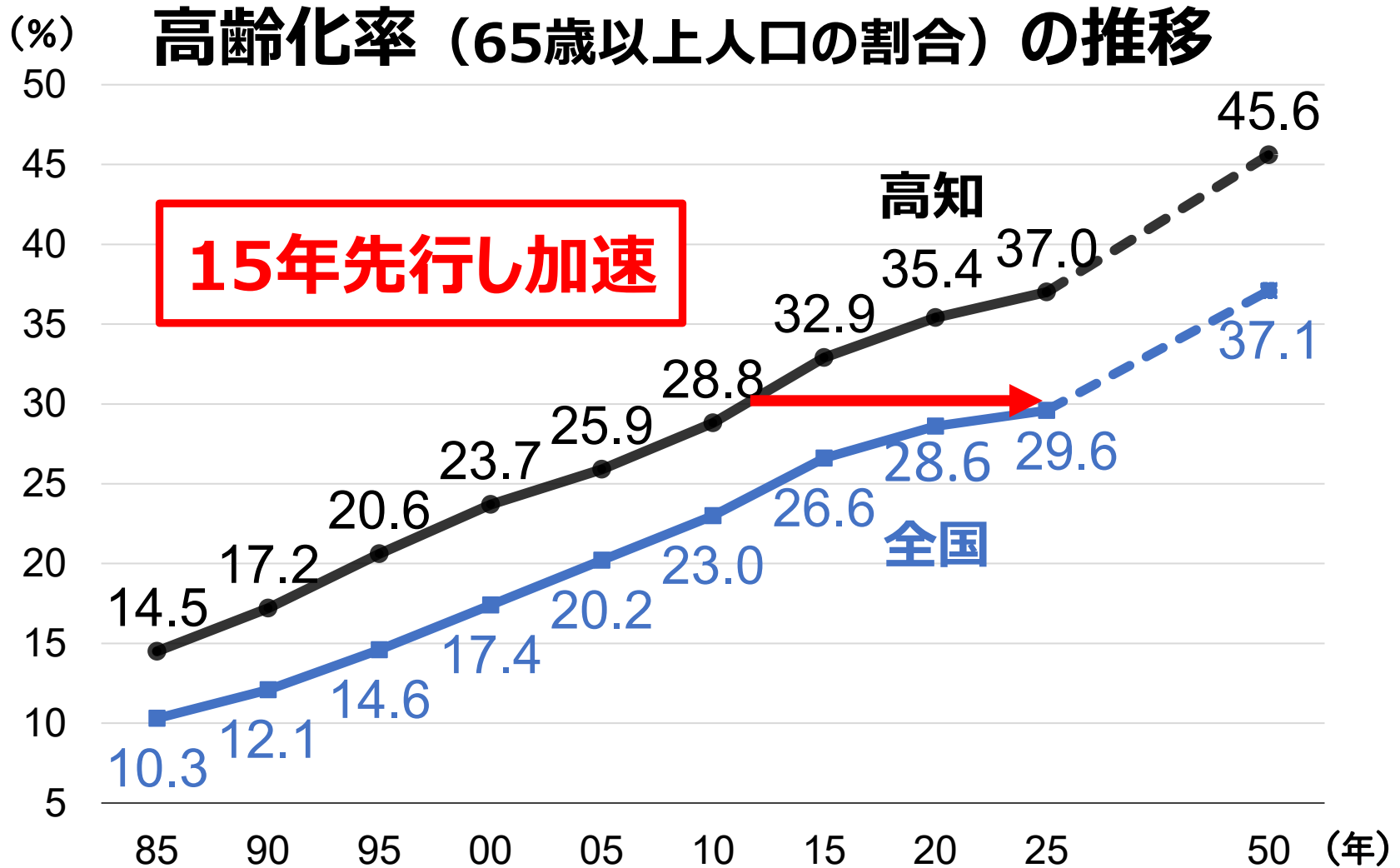
(1) 人口減少 ④人口動態

高知県の人口動態の推移



2. 人口動向

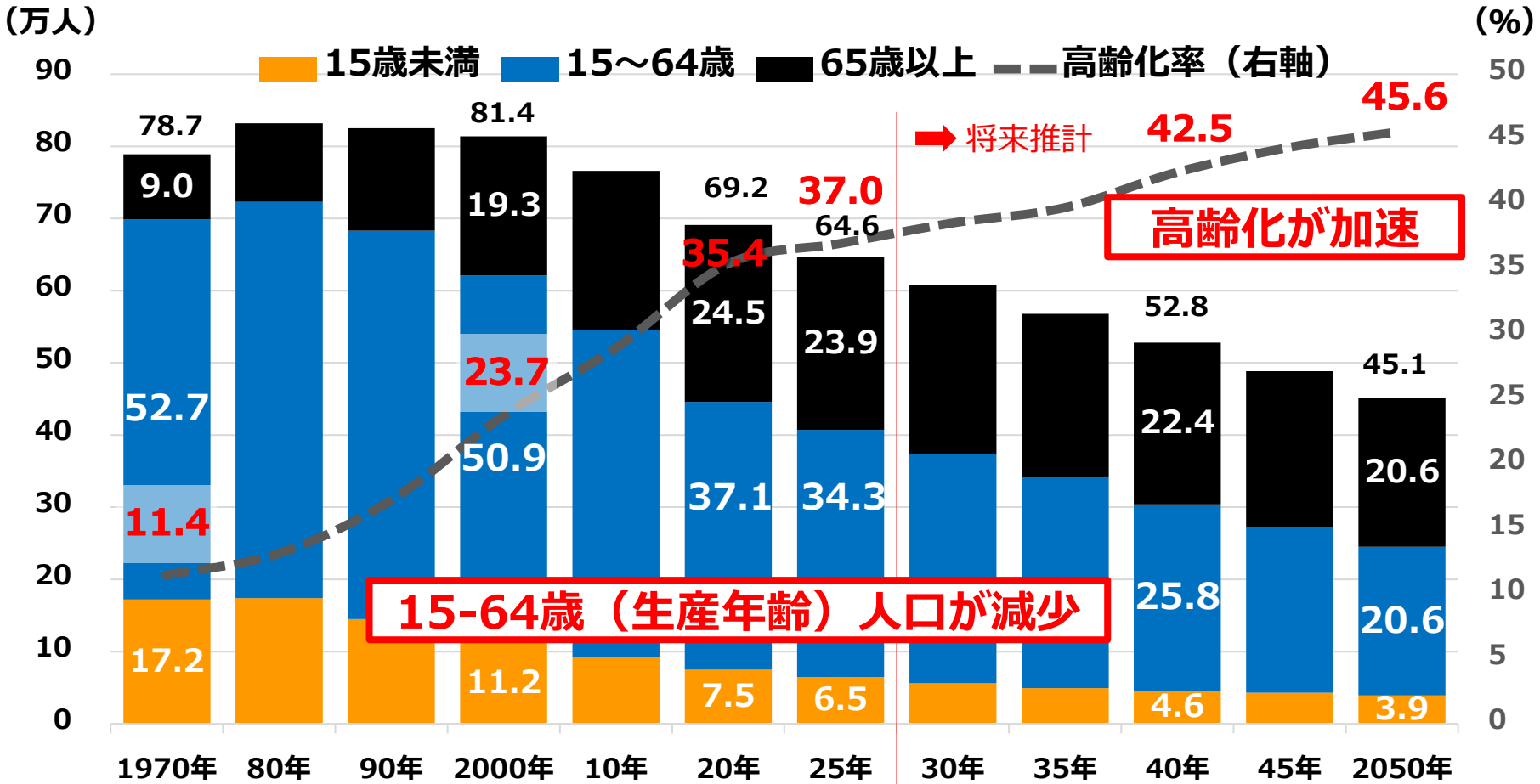
(2) 少子高齢化 ① 全国との比較



2. 人口動向

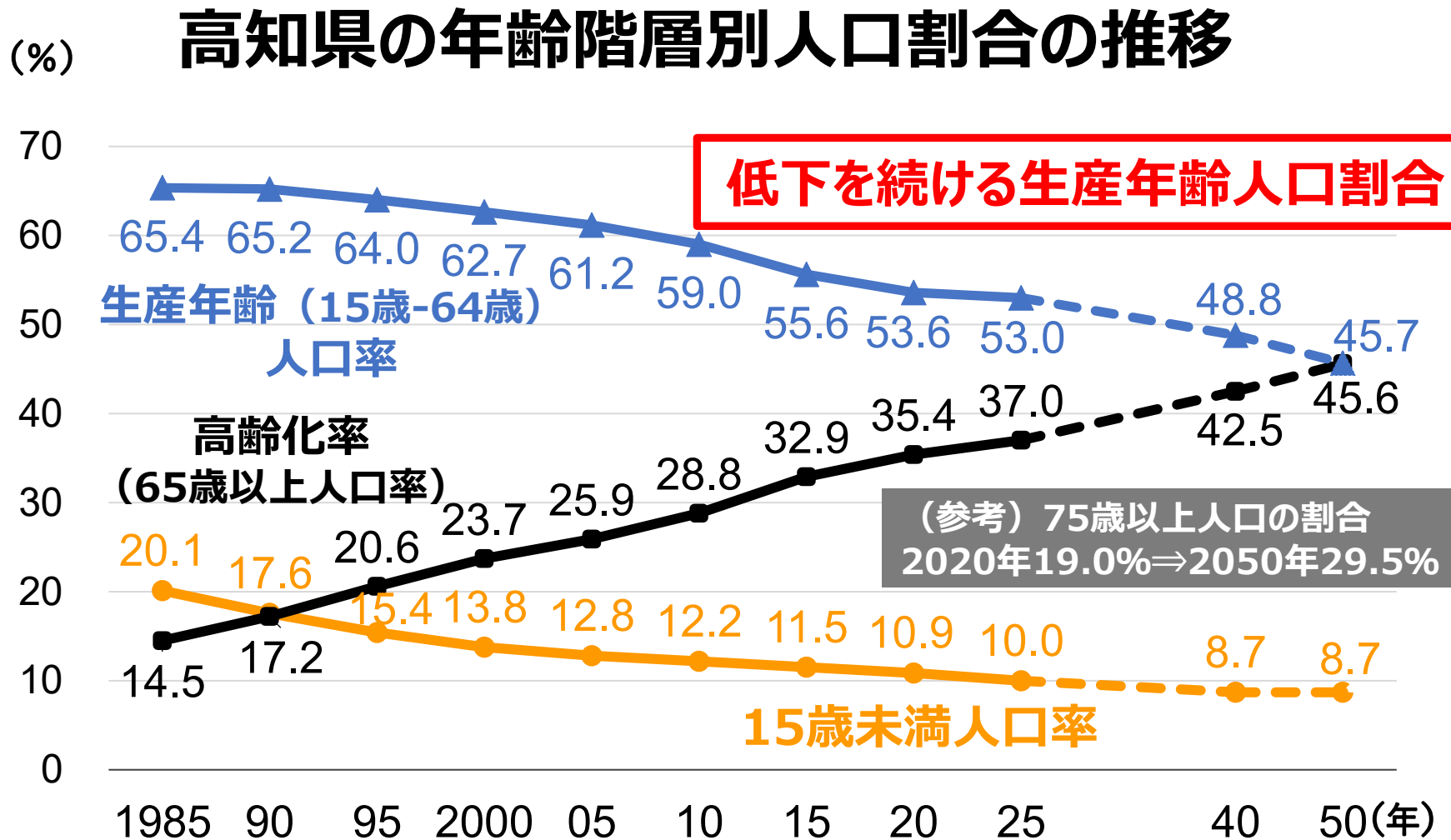
(2) 少子高齢化 ② 一段と深刻化 i

高知県の年齢階層別人口構成の推移



2. 人口動向

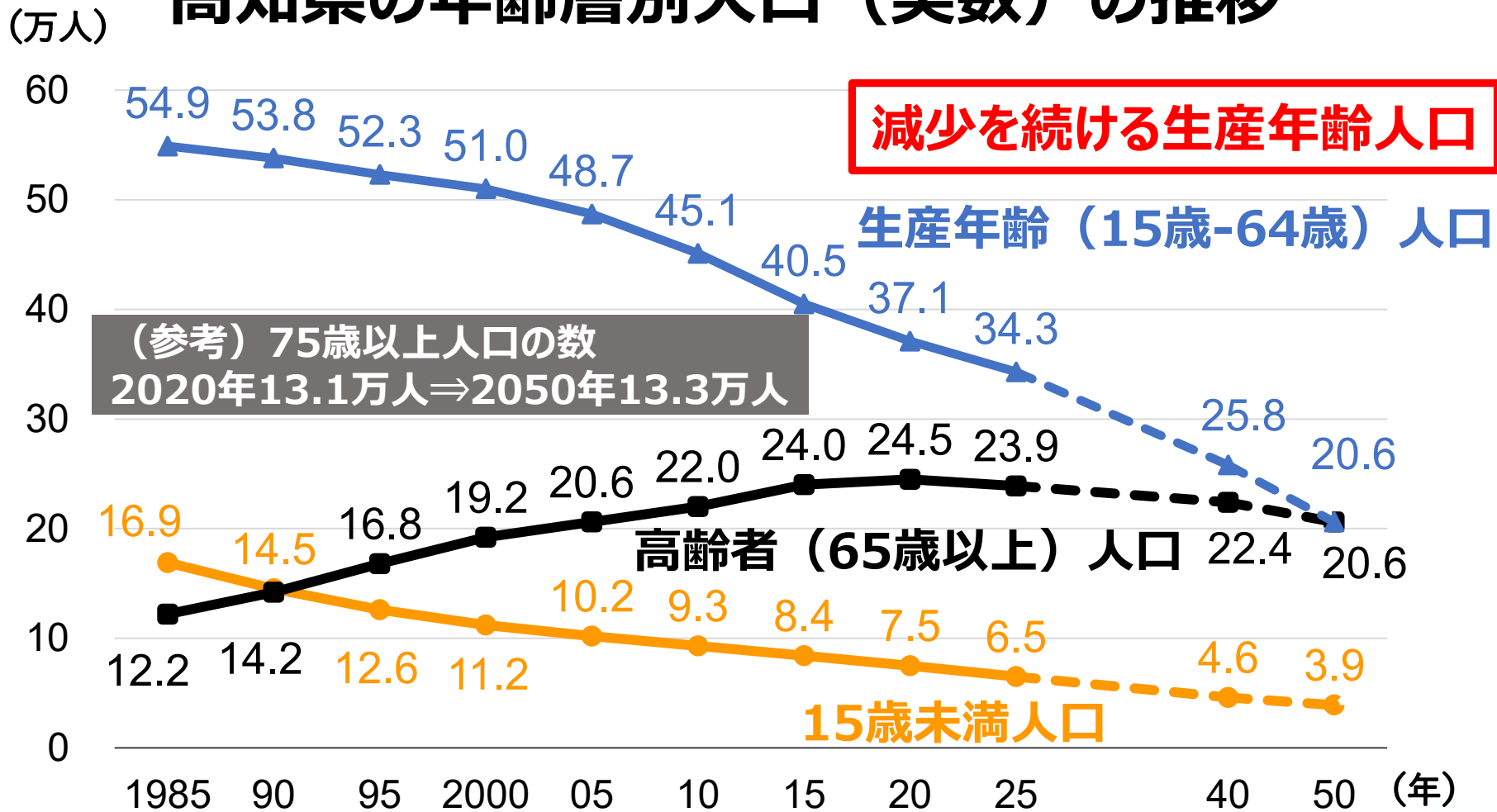
(2) 少子高齢化 ②一段と深刻化 ii



2. 人口動向

(2) 少子高齢化 ②一段と深刻化 iii

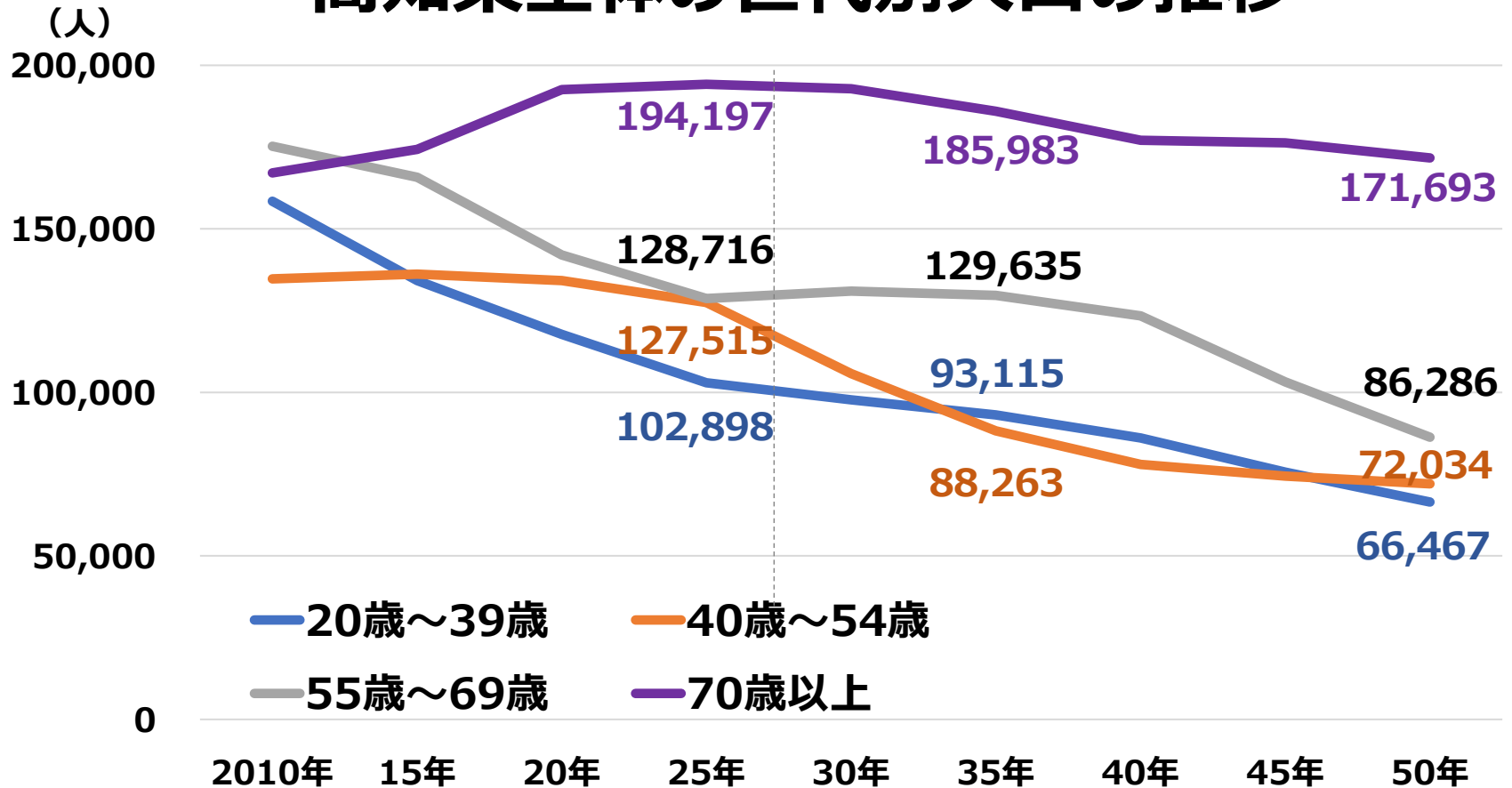
高知県の年齢層別人口（実数）の推移



2. 人口動向

(2) 少子高齢化 ③ 世代別人口

高知県全体の世代別人口の推移

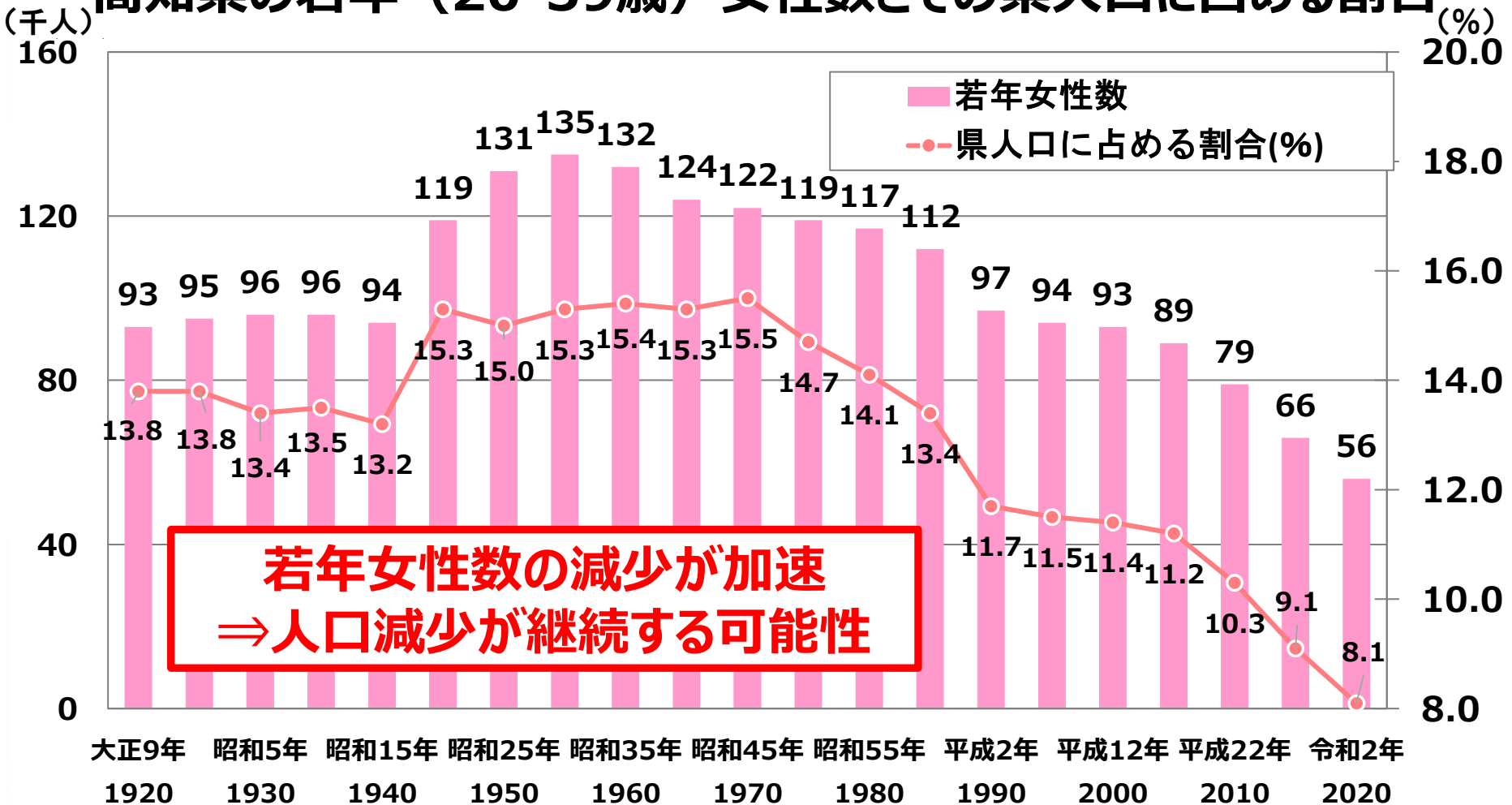


70歳代以上も減少、それ以外は大幅に減少

2. 人口動向

(2) 少子高齢化 ④ 若年女性の動向

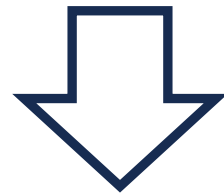
高知県の若年（20-39歳）女性数とその県人口に占める割合



2. 人口動向

(3) 人口の見通し i

人口動向は若年（20-39歳）女性数に
大きく影響される



**（若年女性の増加がない場合）
高知県の人口は減少を続ける**

2. 人口動向

(3) 人口の見通し ii

少子高齢化による自然減（死亡数＞出生数）

+

若年者等の社会減（転出数＞転入数）



**大幅な自然減に加え、
社会減は個人の自由意志に基づくので
人口減少は続く可能性が高い**

2. 人口動向

(3) 人口の見通し iii

**若年者等の自由意志を満たす
東京などの都市への人口流出
(高収入、やりたい仕事・入りたい企業がある、
生活が便利、田舎でのしがらみがないなど)**

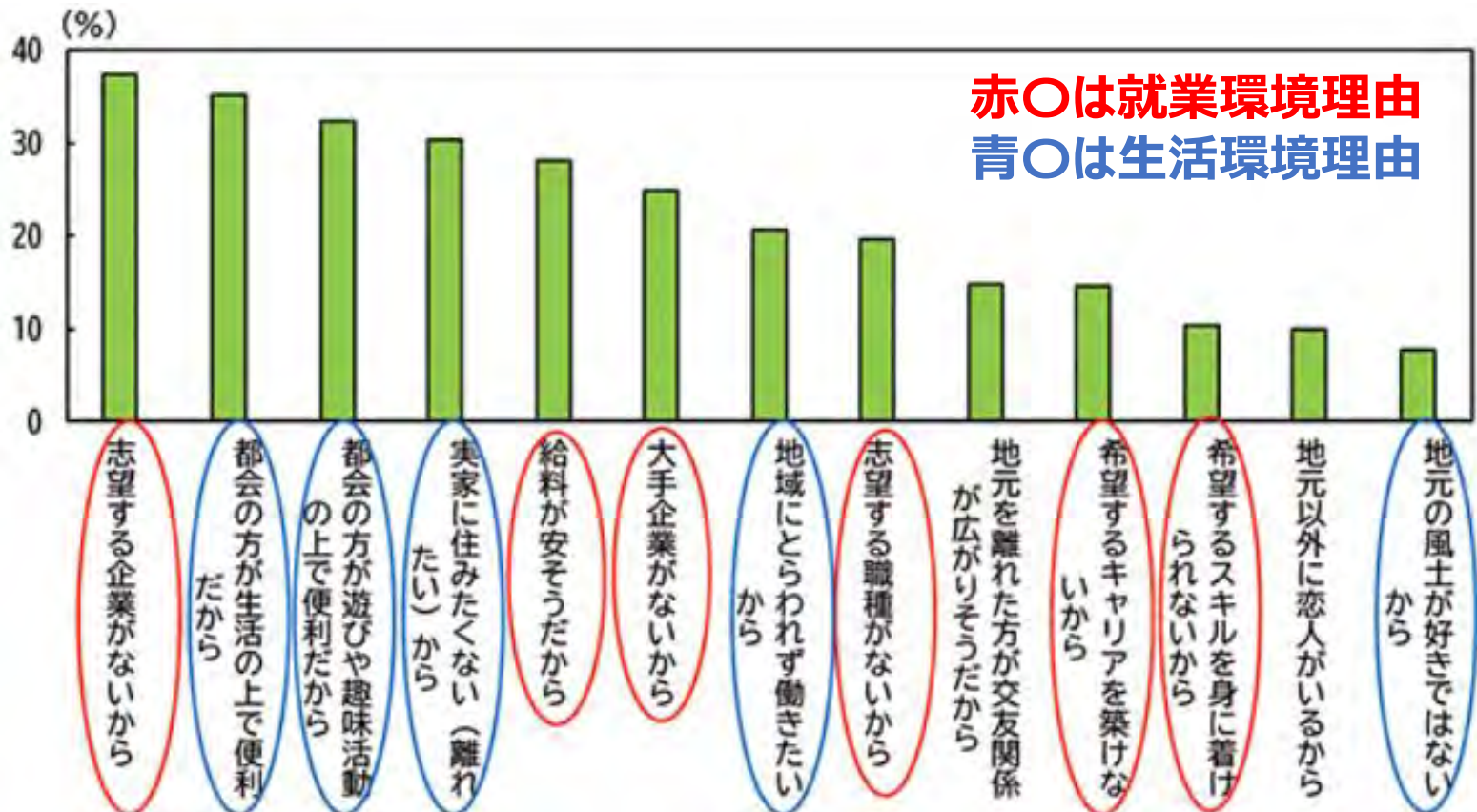


日本の地方はほぼ全て同じ状況

2. 人口動向

(3) 人口の見通し（参考1）全国大学生等への調査

地元就職を希望しない理由（大卒等・2025年卒見込み）



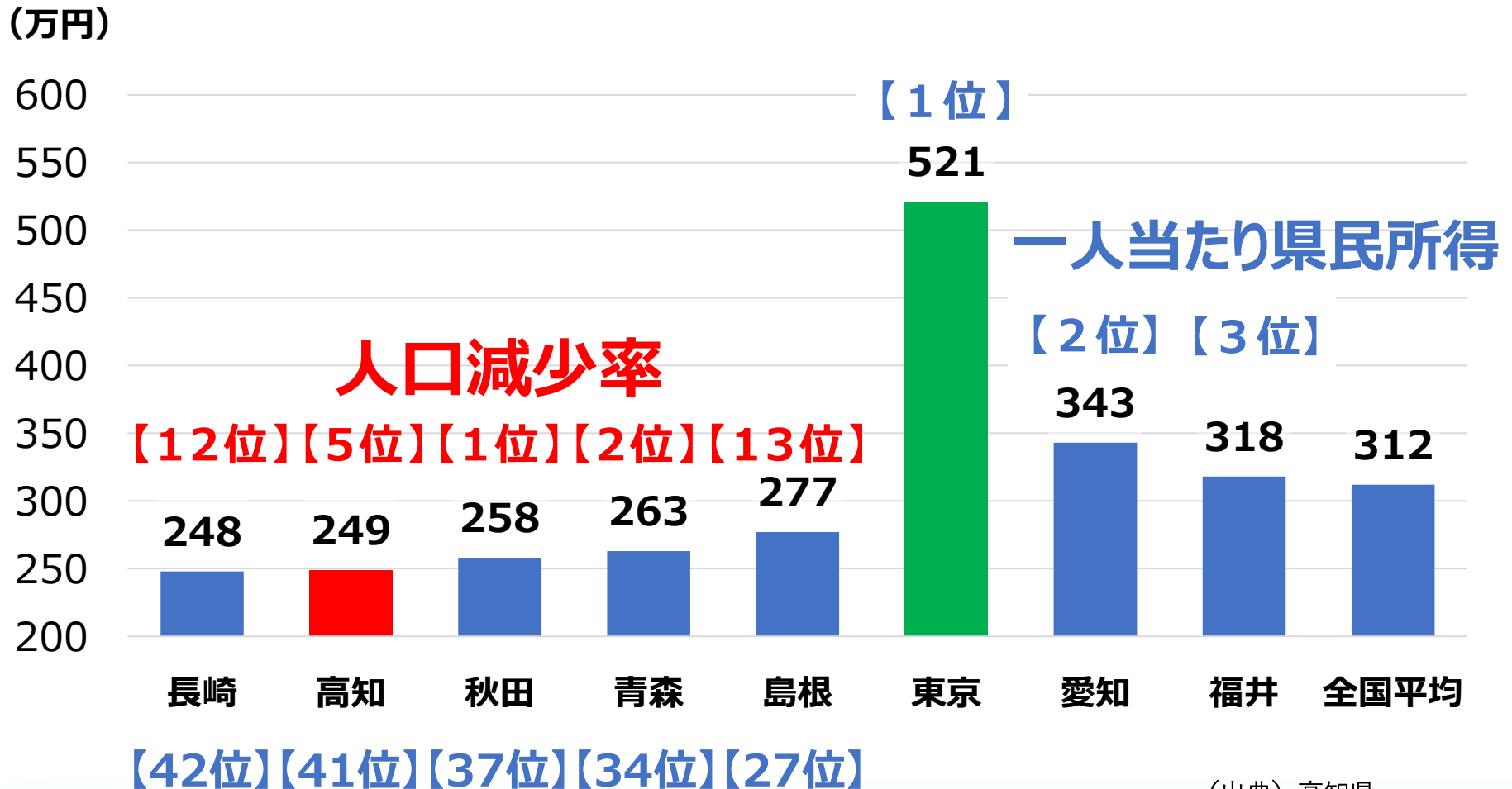
出典：内閣府地域課題分析レポート（2024年秋号）、調査は2024年3～4月実施

備考：大卒・院卒見込み者に対するアンケート調査での有効回答全国3017名のうち、地元就職を希望しない919名の複数回答

2. 人口動向

(3) 人口の見通し（参考2） 県民所得比較

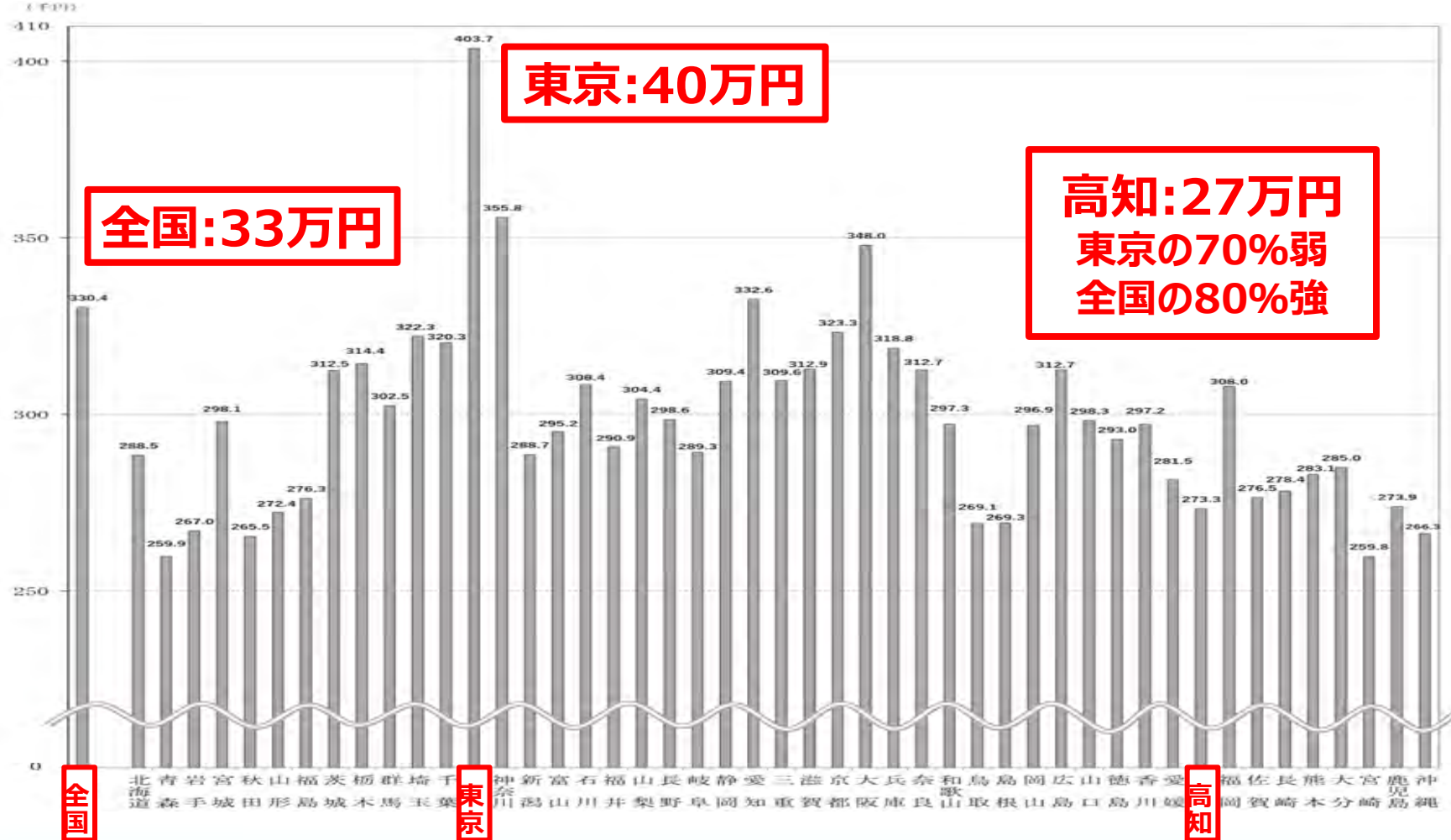
一人当たり県民所得（2022年）



2. 人口動向

(3) 人口の見通し (参考3) 賃金水準比較

都道府県別賃金 (所定内給与月額・2024年6月分)

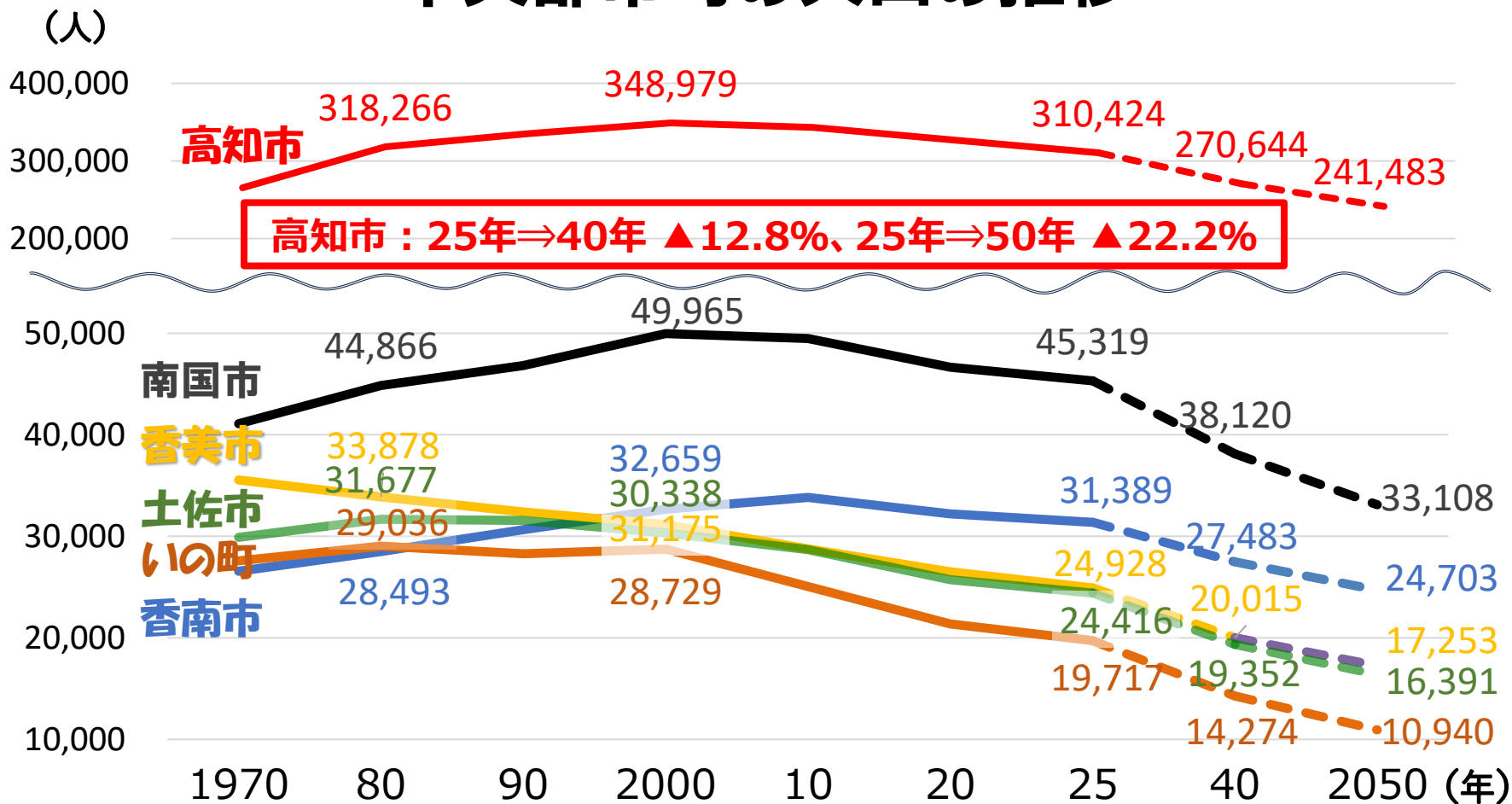


(出典) 厚生労働省「令和6年賃金構造基本統計調査」

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ①中央部 ①各市町の総人口

中央部市町の人口の推移

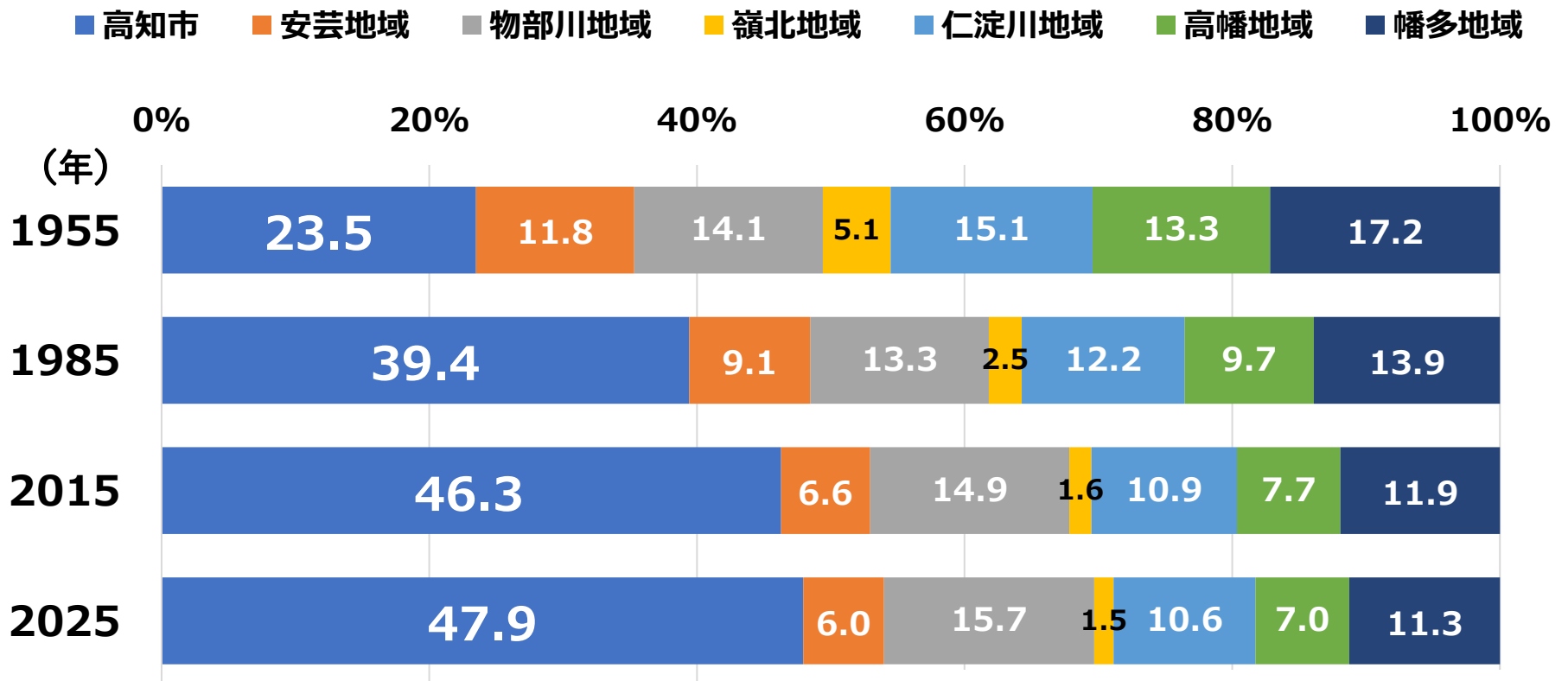


* 2050年の数値は厚生労働省「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(移動率等を包含)によるため、P105以下の「封鎖人口仮定による推計」と数値が異なる。以下各市町村の2050年の数値について同じ。

2. 人口動向

(4) 地域別動向 (参考) 高知市への人口集中

高知県人口の地域別割合の推移

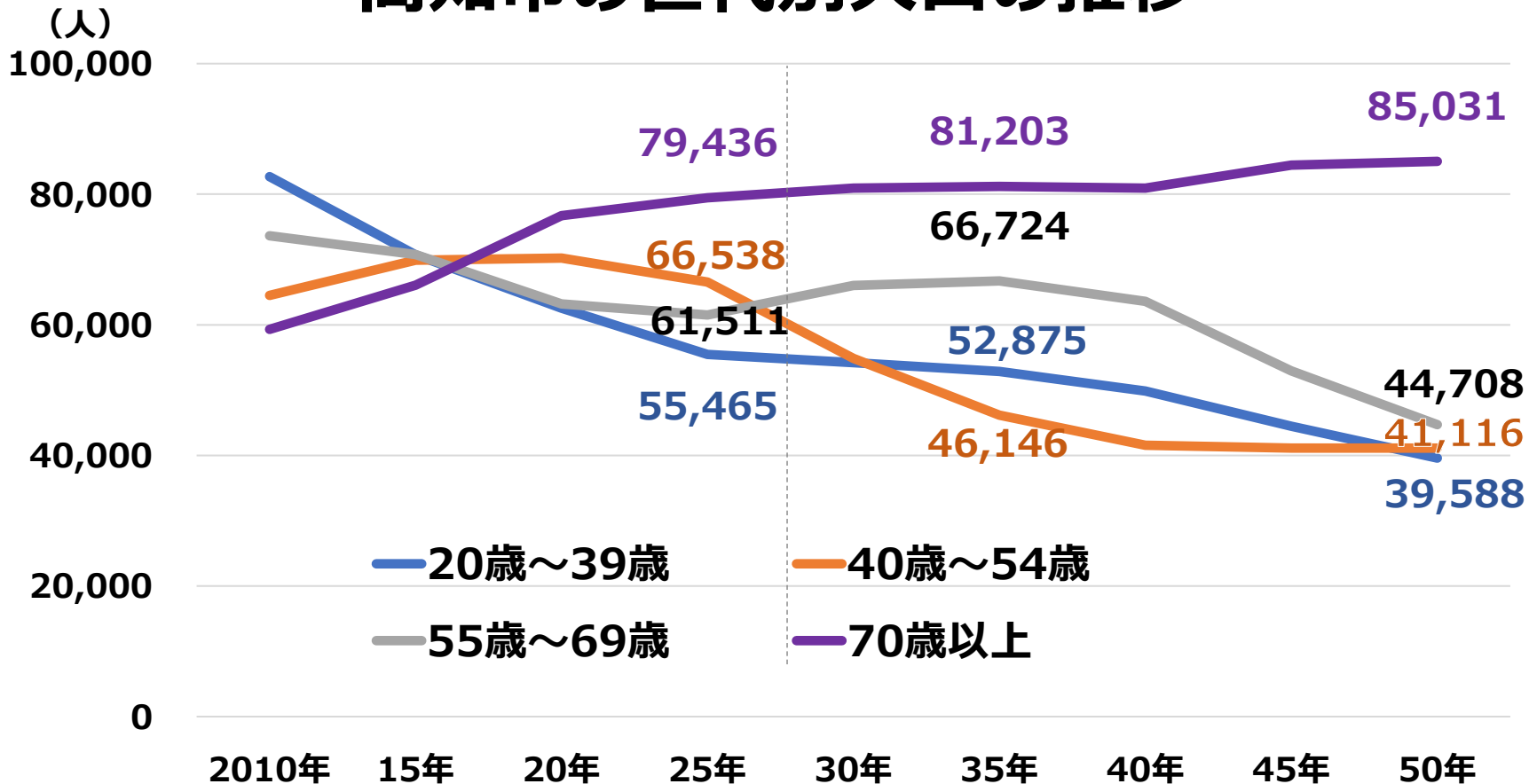


高知市への人口集中が加速

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ①中央部 ②高知市

高知市の世代別人口の推移

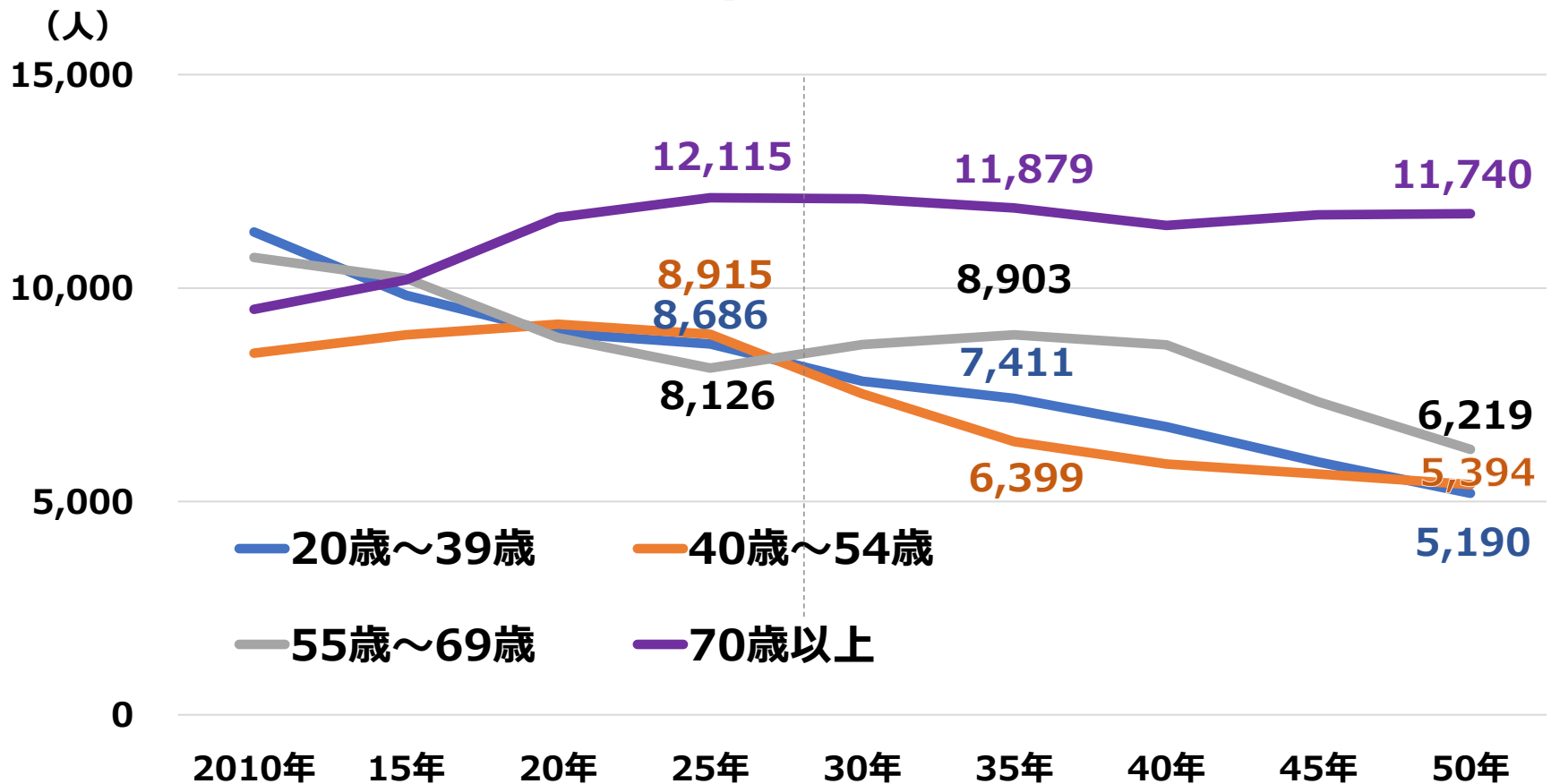


70歳代以上のみ増加、それ以外は大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ①中央部 ③南国市

南国市の世代別人口の推移

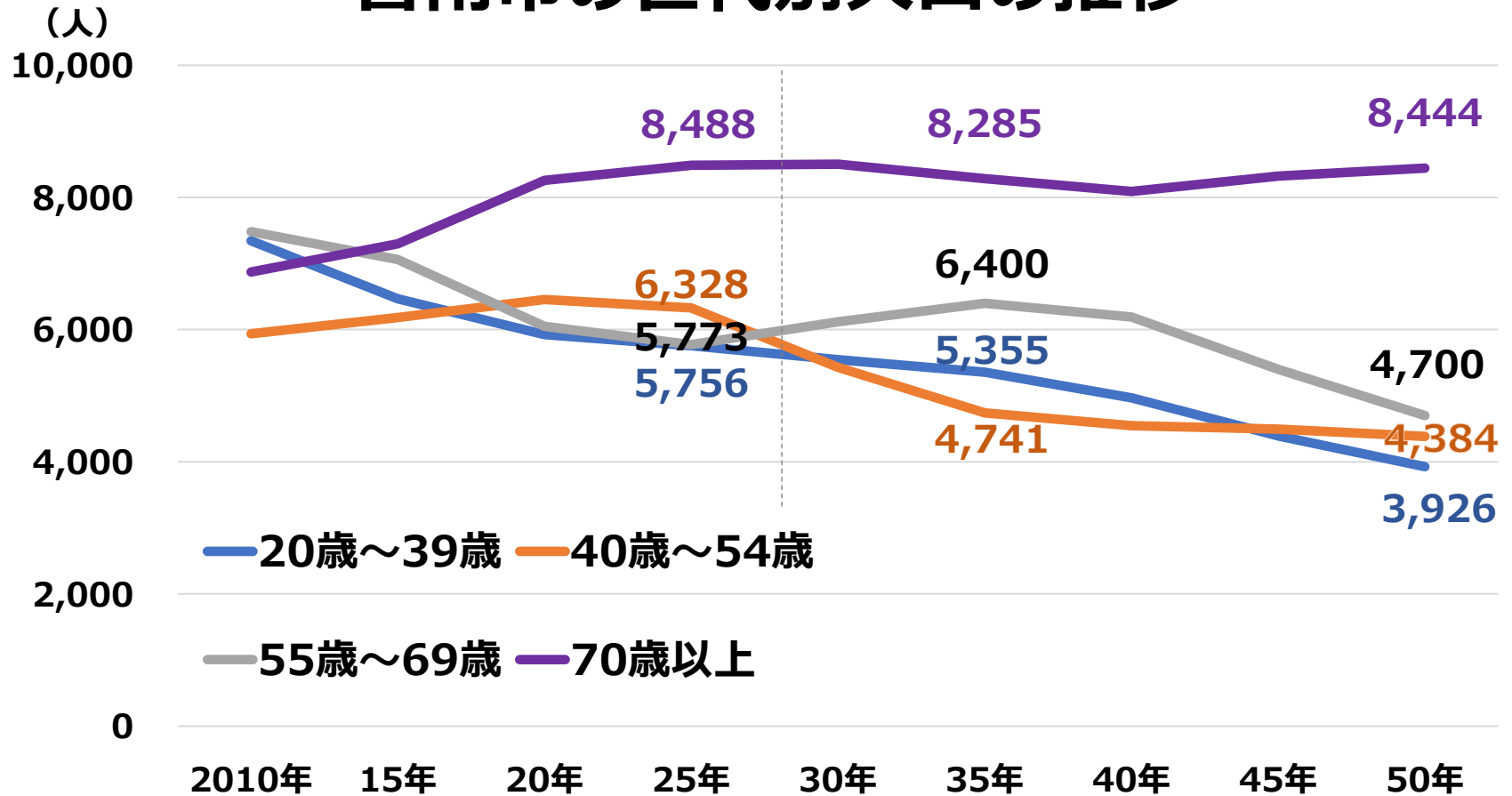


70歳代以上は横ばい、それ以外は大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ①中央部 ④香南市

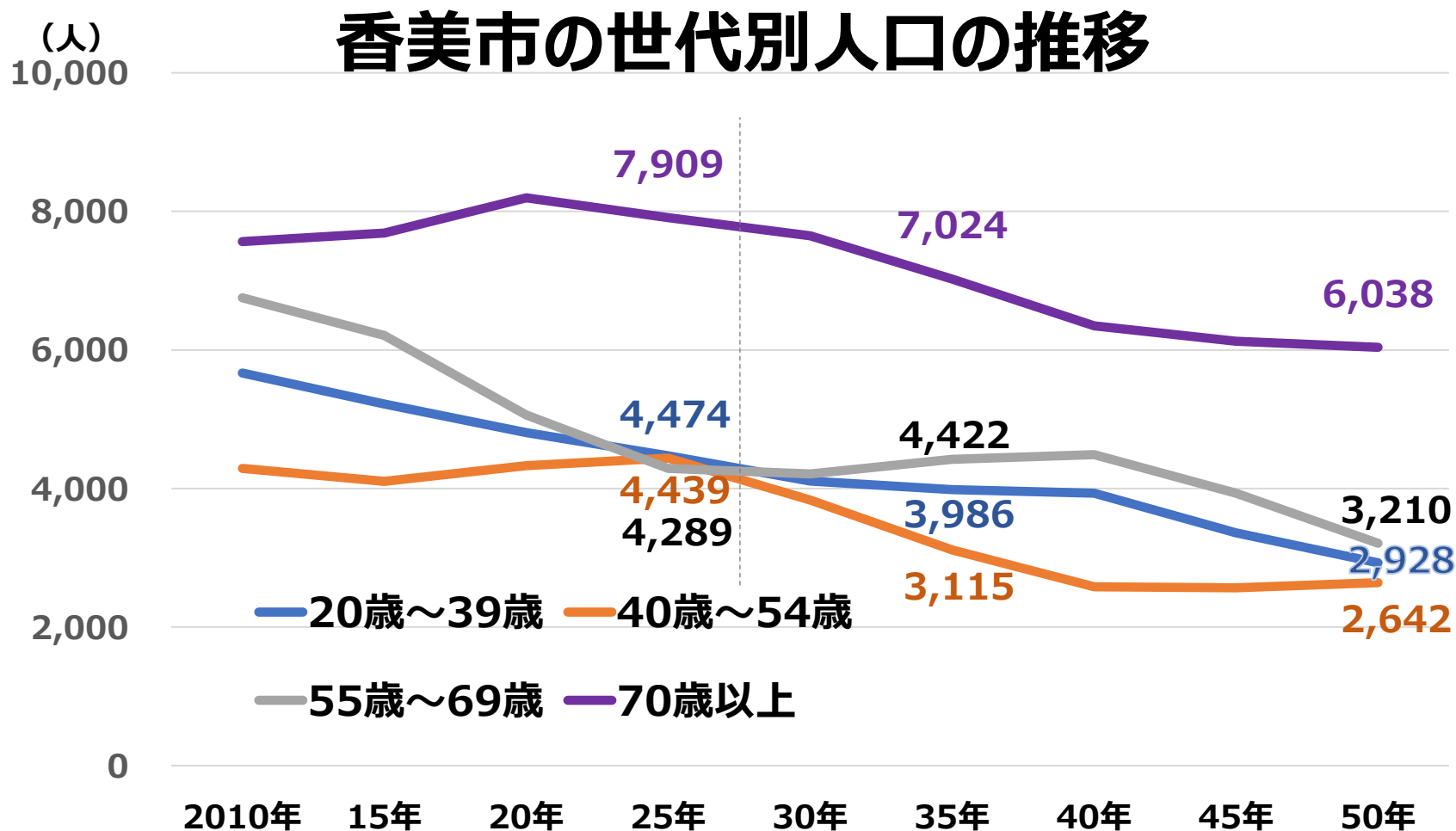
香南市の世代別人口の推移



70歳代以上は横ばい、それ以外は大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ①中央部 ⑤香美市

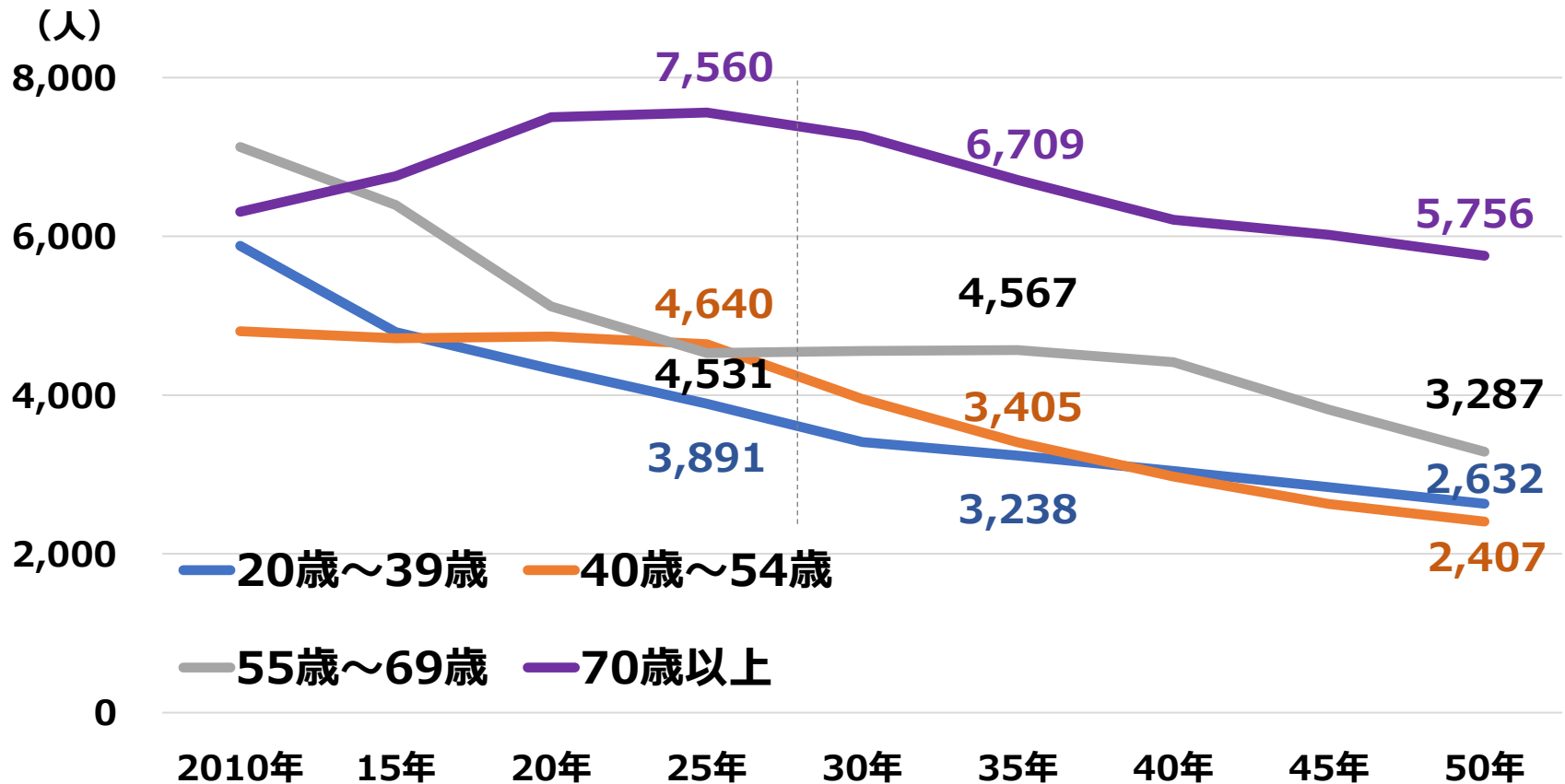


全ての世代で大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ①中央部 ⑥土佐市

土佐市の世代別人口の推移

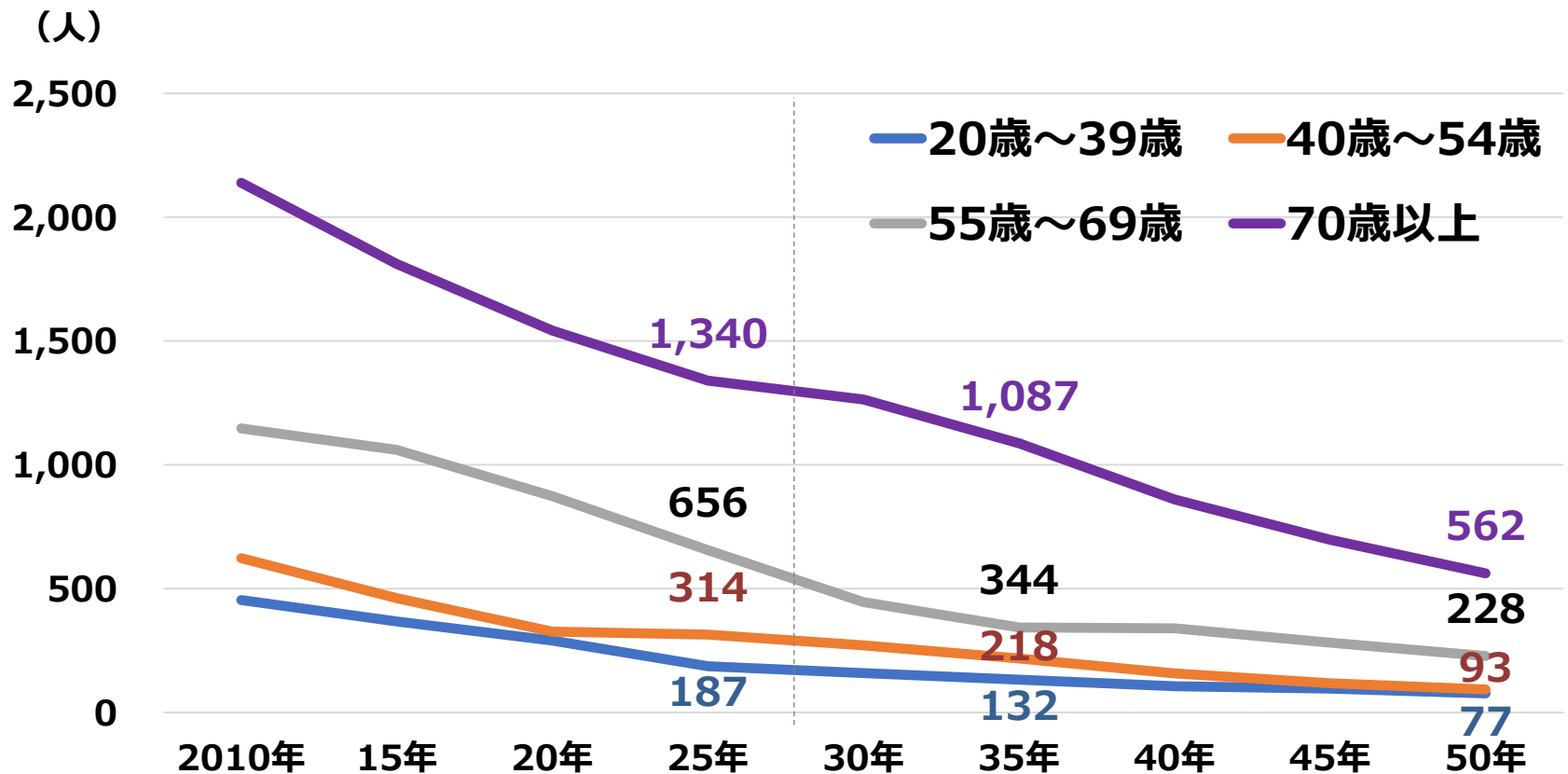


全ての世代で大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ①中央部 ⑦大豊町

大豊町の世代別人口の推移

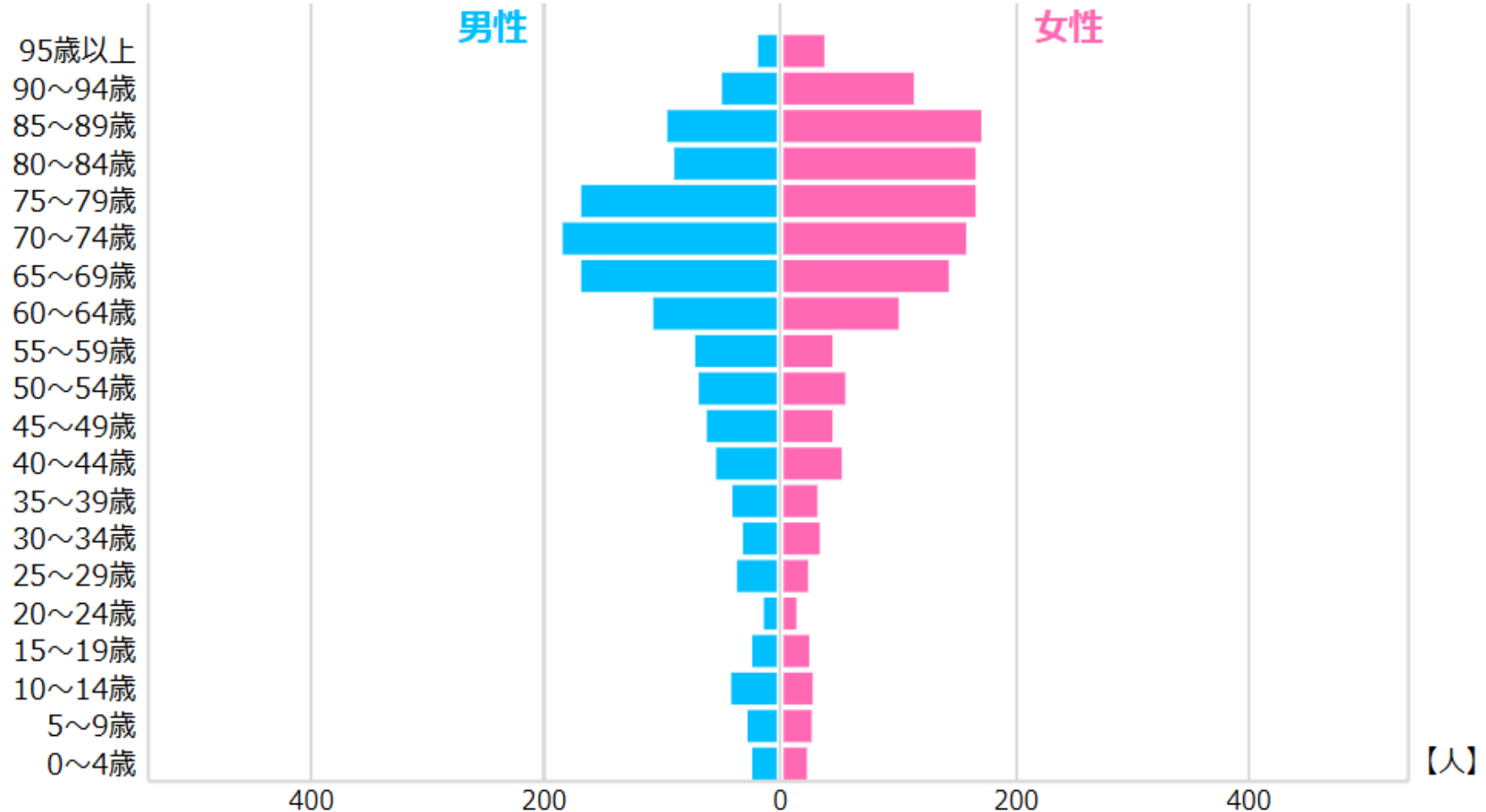


全ての世代で大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ①中央部 ⑦大豊町 (参考) 人口ピラミッド

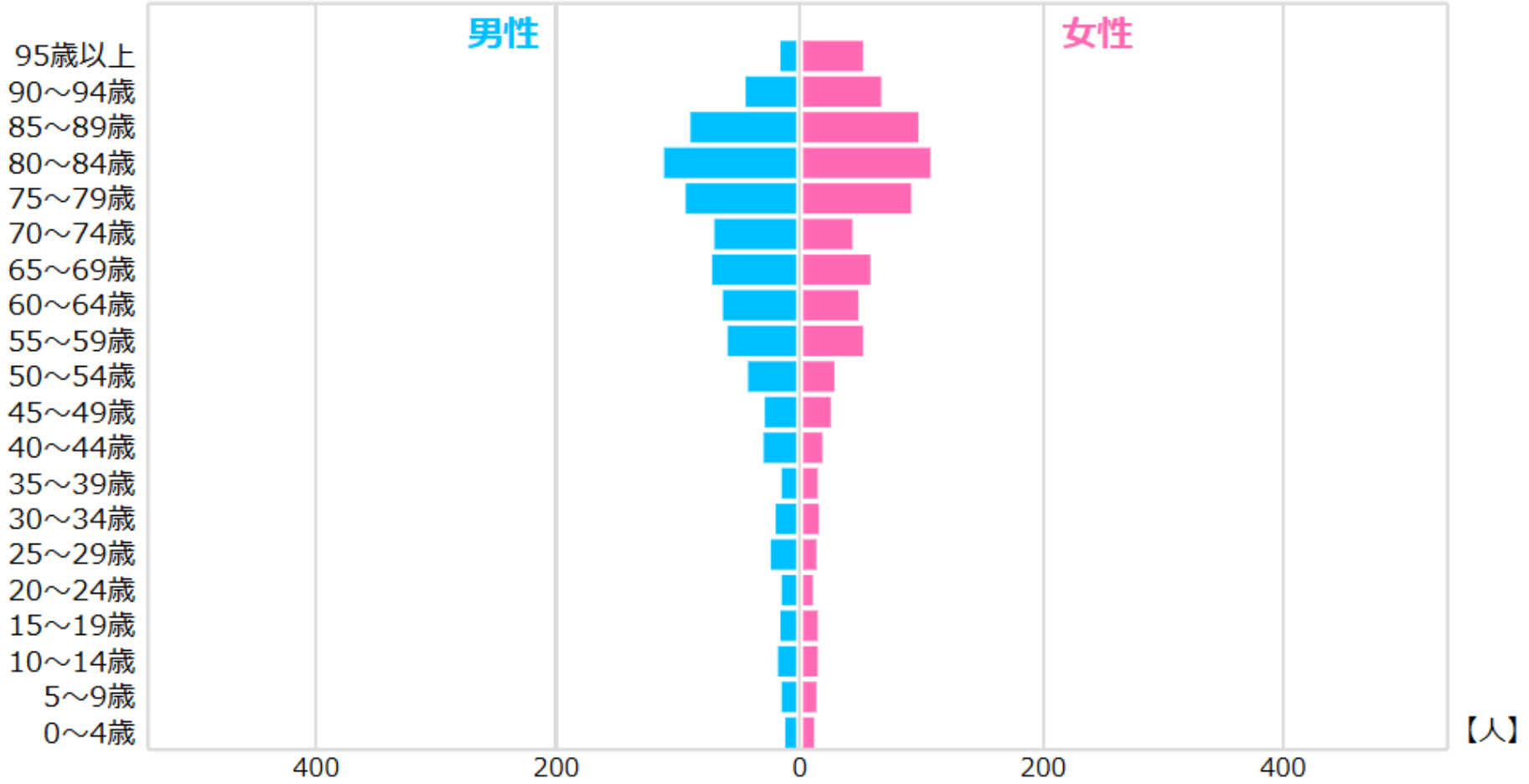
〔2025年〕



2. 人口動向

(4) 地域別動向 ①中央部 ⑦大豊町 (参考) 人口ピラミッド

〔2040年〕

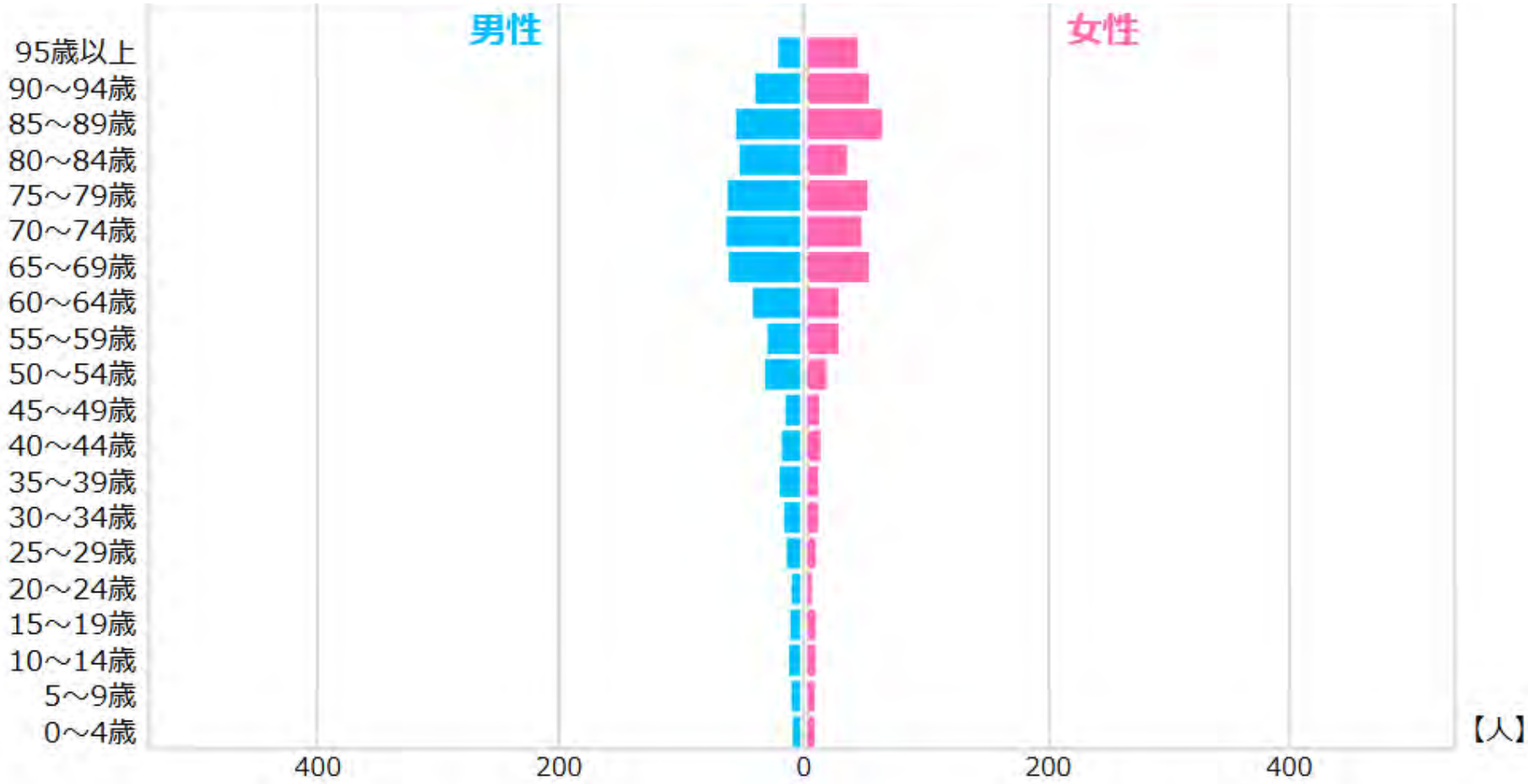


【人】

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ①中央部 ⑦大豊町 (参考) 人口ピラミッド

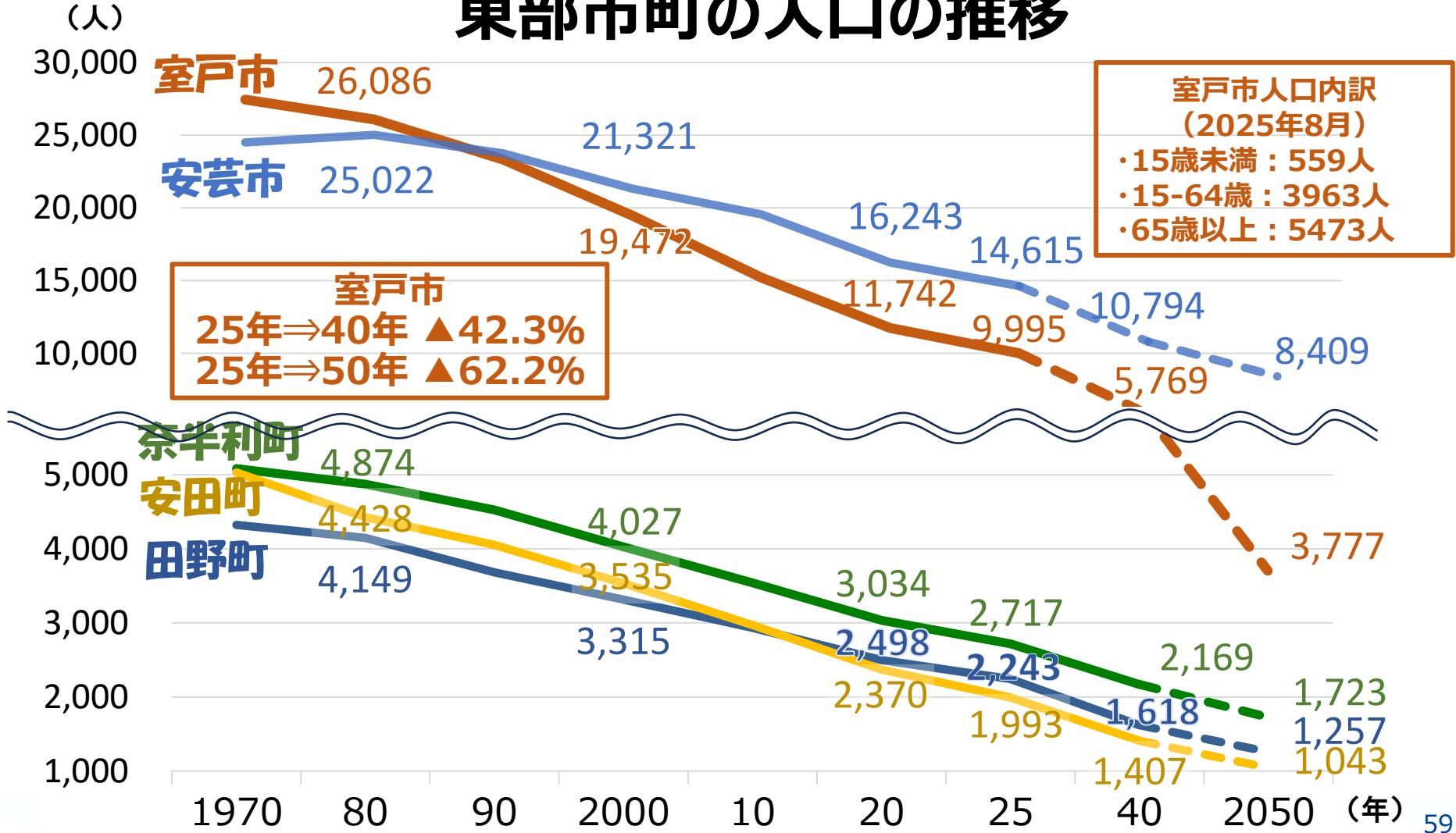
〔2050年〕



2. 人口動向

(4) 地域別動向 ② 東部 ① 各市町の総人口

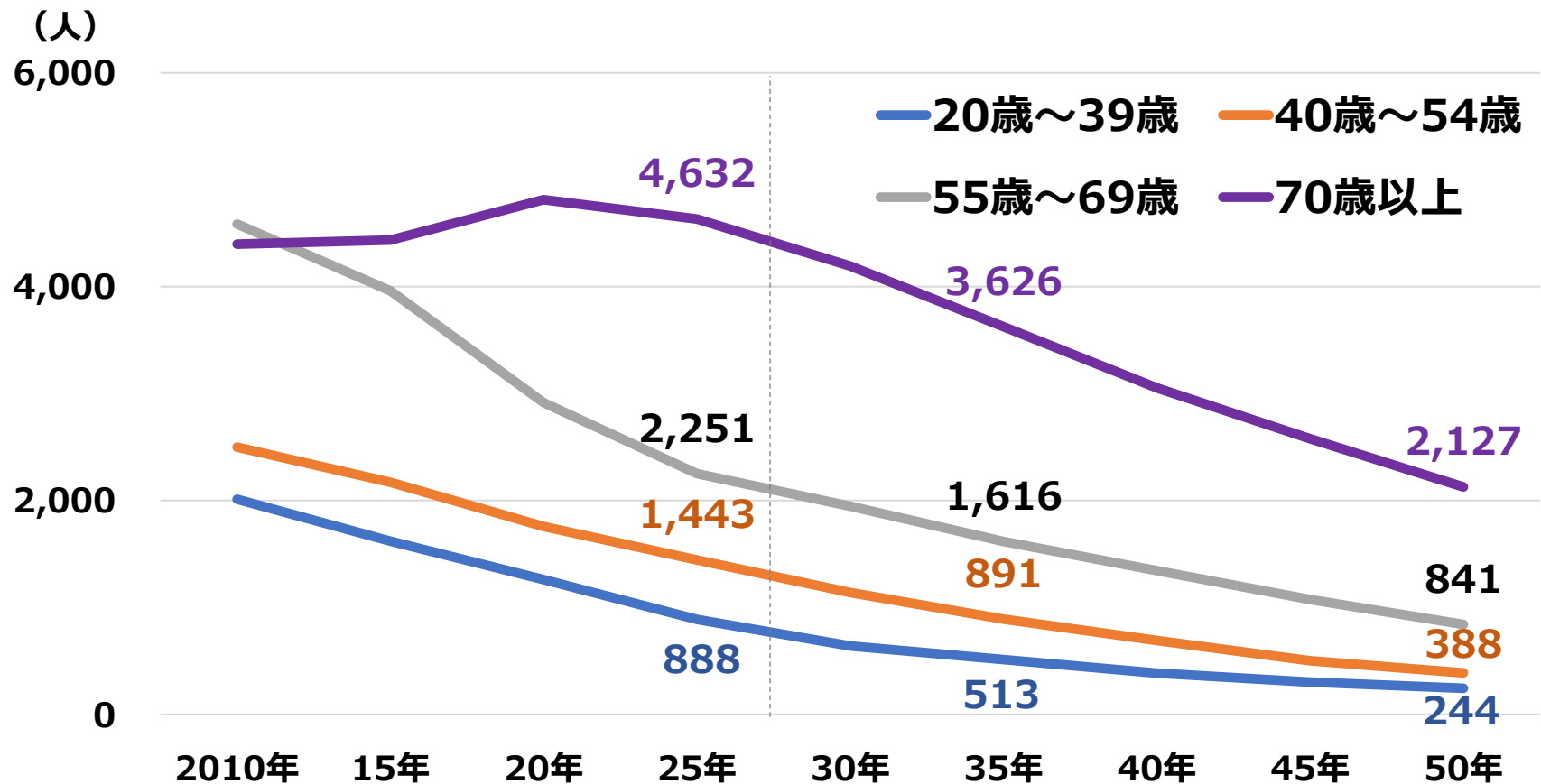
東部市町の人口の推移



2. 人口動向

(4) 地域別動向 ②東部 ②室戸市

室戸市の世代別人口の推移

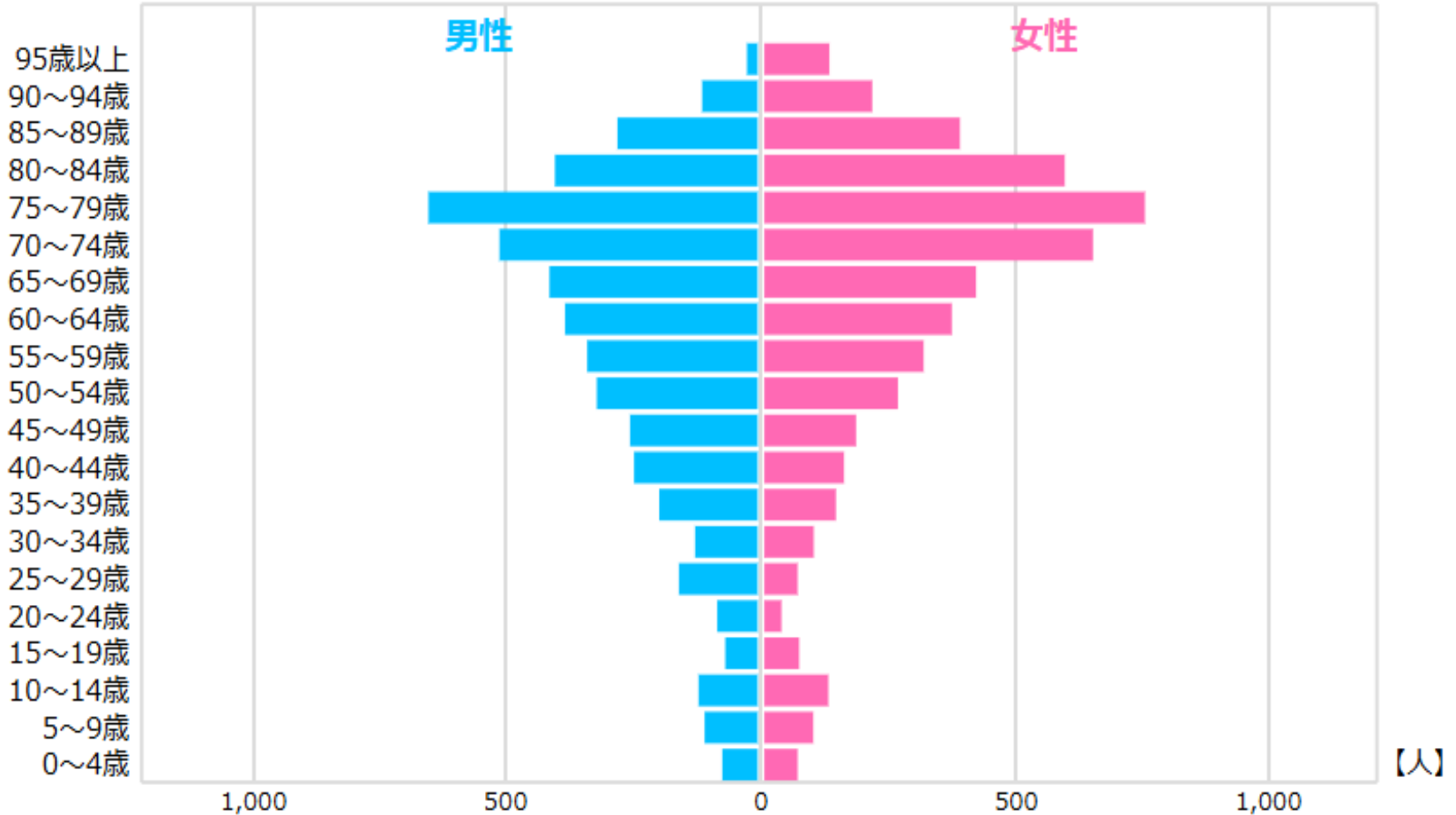


全ての世代で大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ②東部 ②室戸市 (参考) 人口ピラミッド

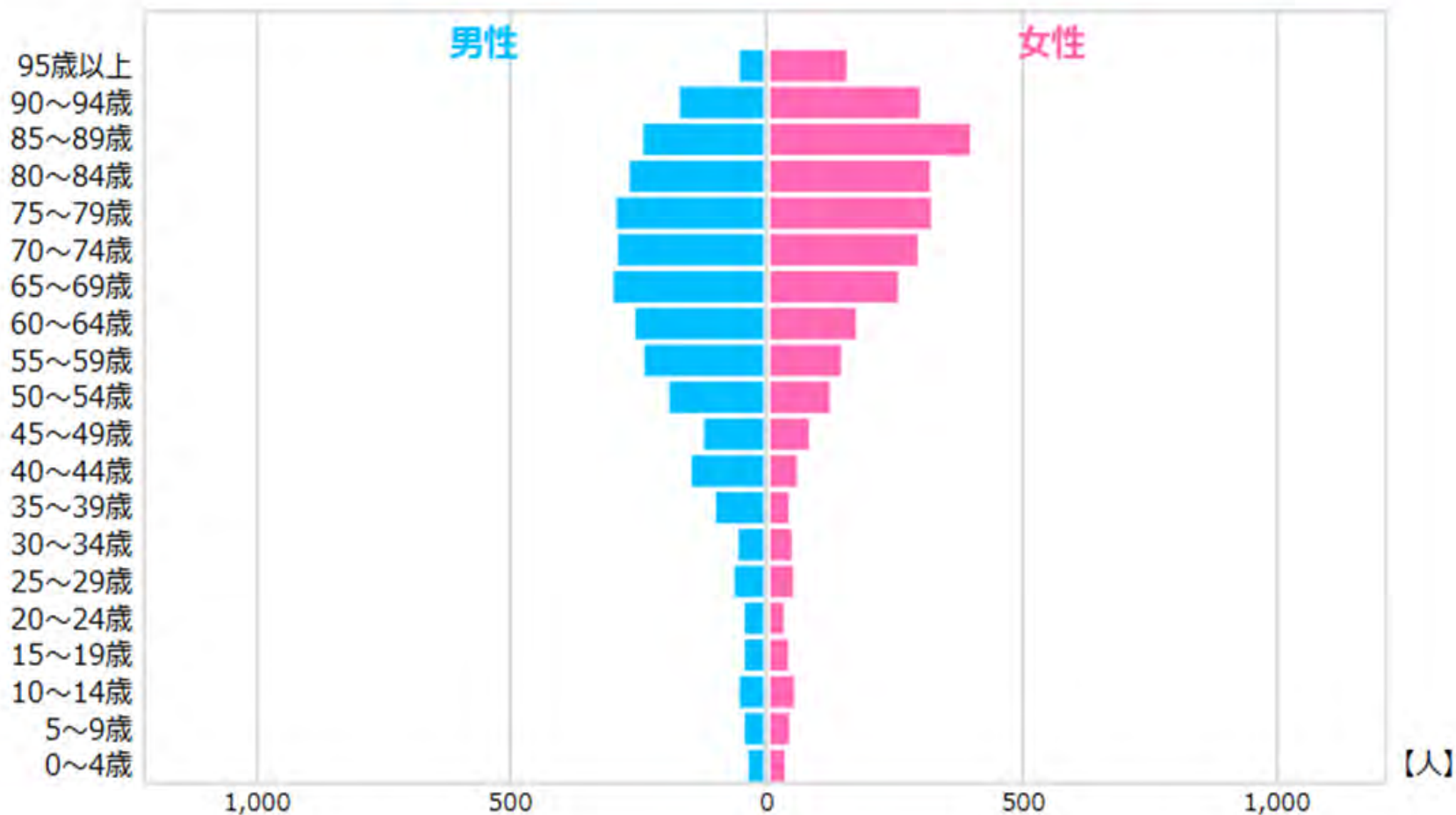
〔2025年〕



2. 人口動向

(4) 地域別動向 ②東部 ②室戸市 (参考) 人口ピラミッド

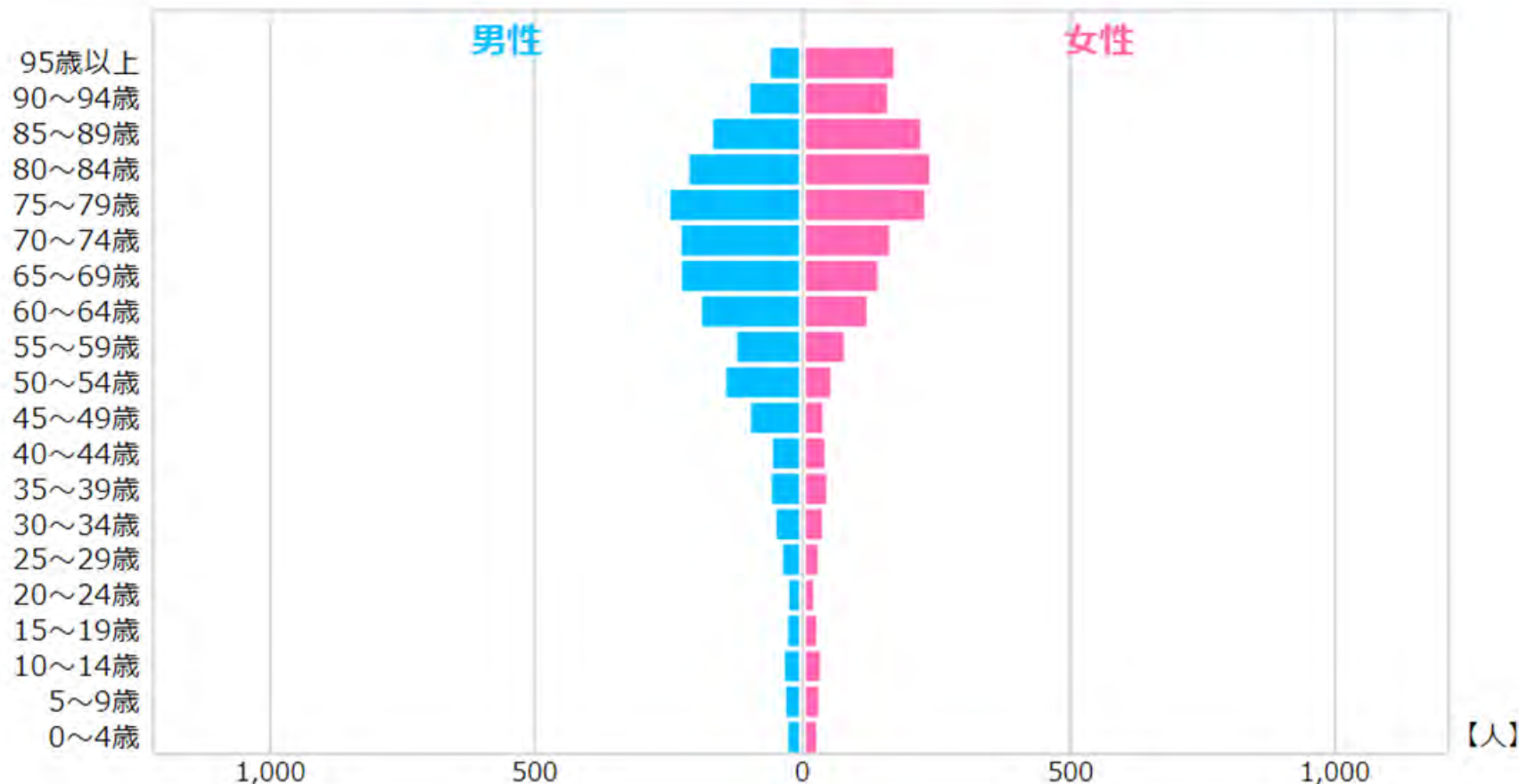
〔2040年〕



2. 人口動向

(4) 地域別動向 ②東部 ②室戸市 (参考) 人口ピラミッド

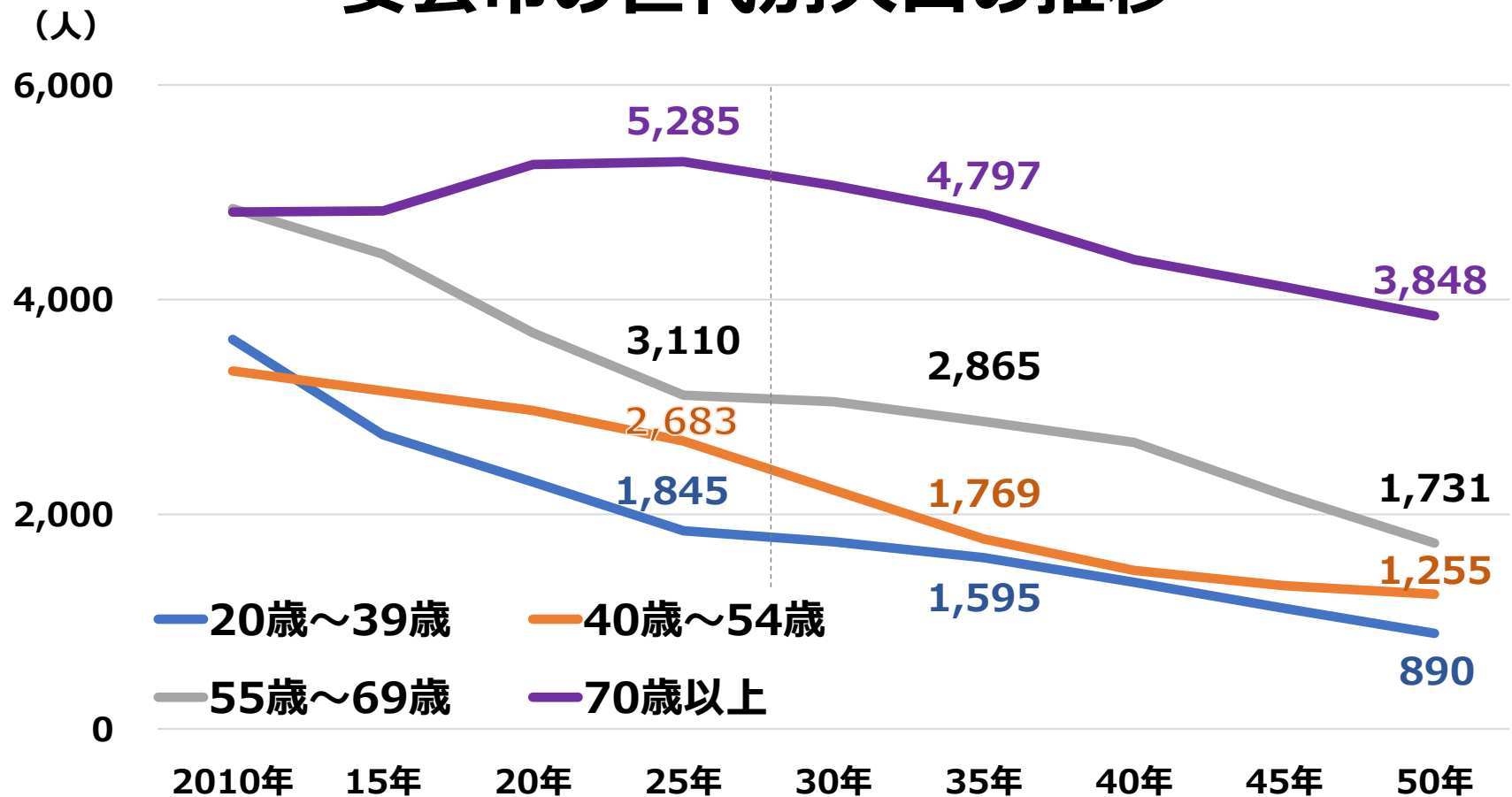
〔2050年〕



2. 人口動向

(4) 地域別動向 ② 東部 ③ 安芸市

安芸市の世代別人口の推移

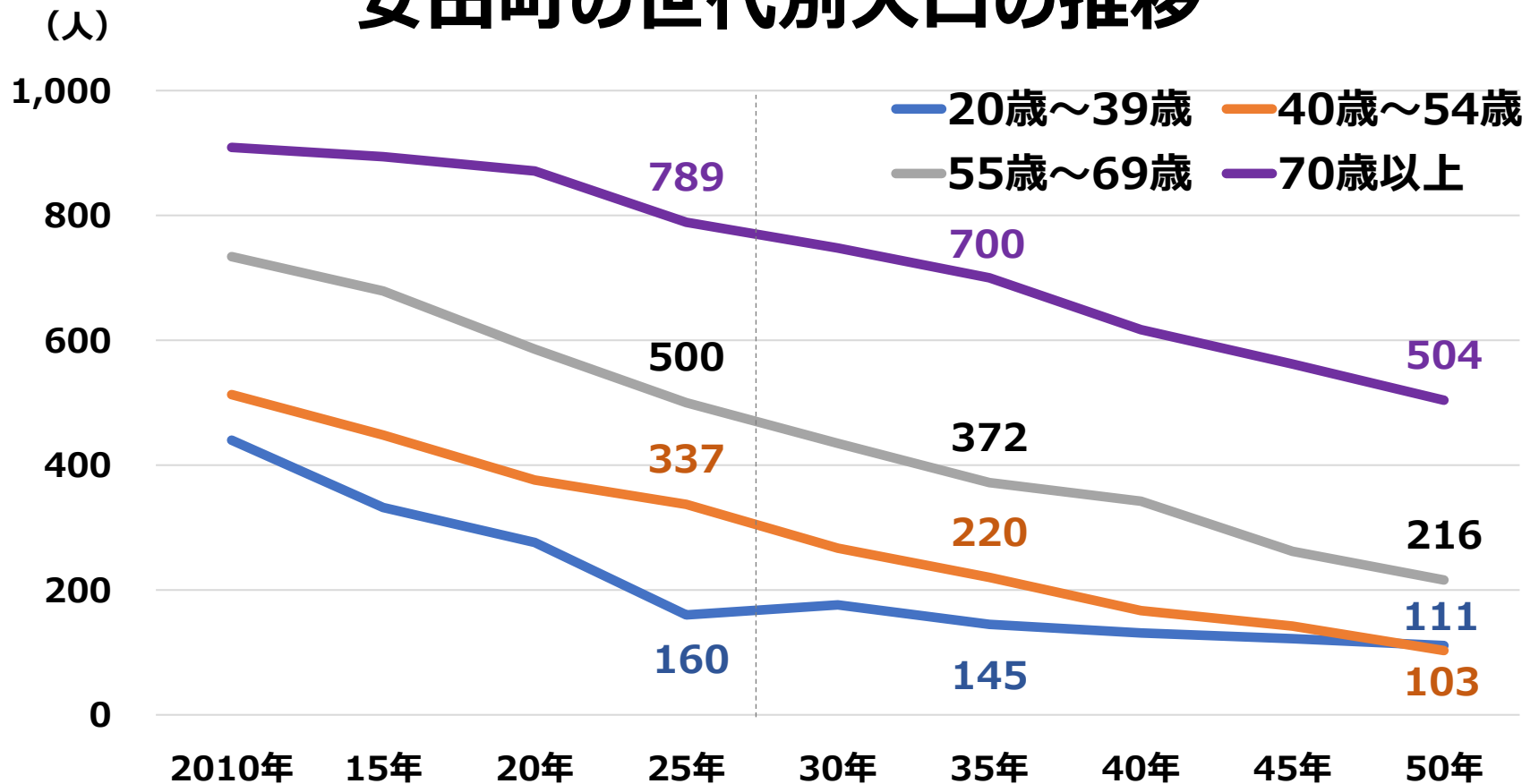


全ての世代で大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ② 東部 ④ 安田町

安田町の世代別人口の推移

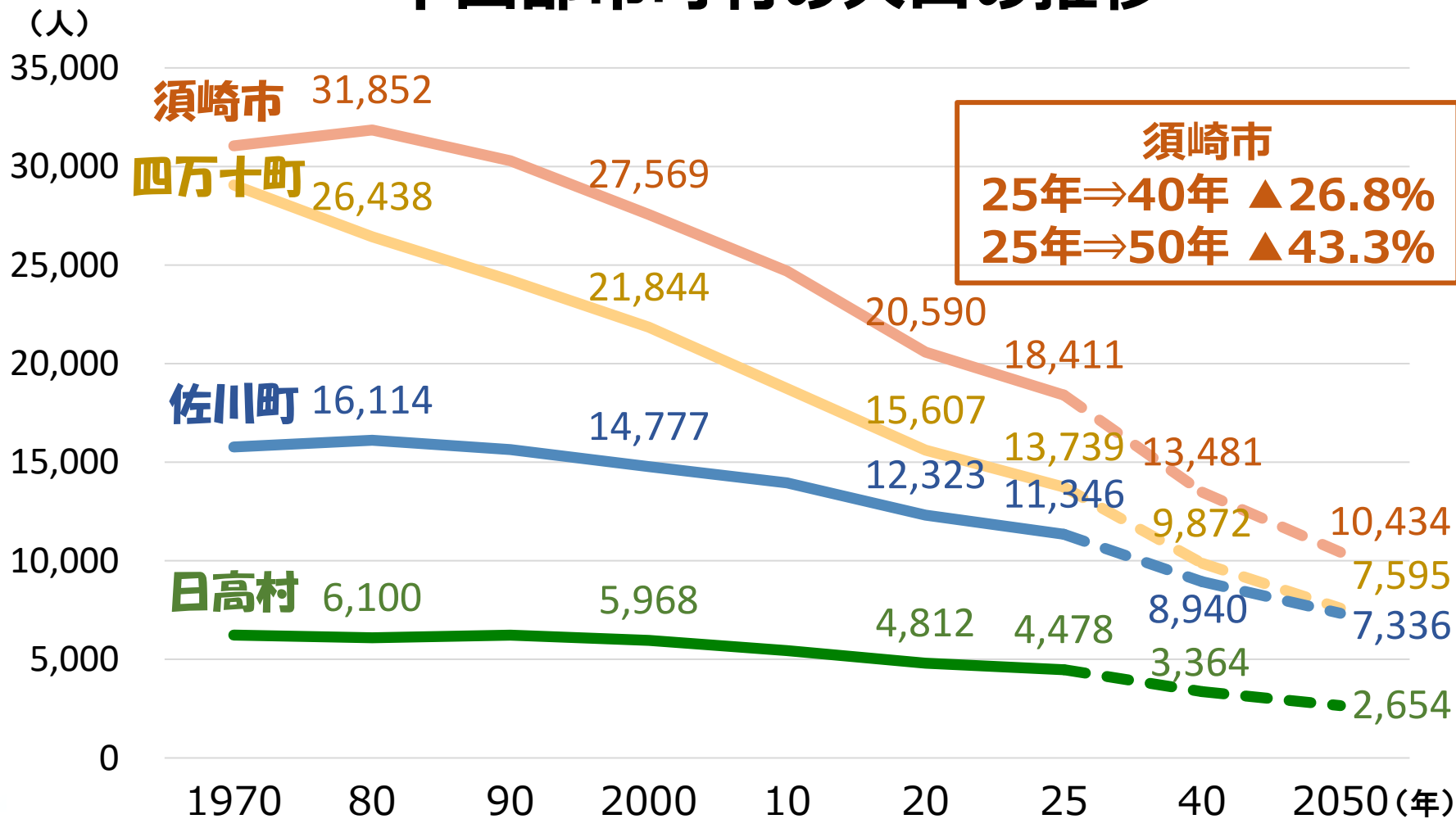


全ての世代で大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ③中西部 ①各市町村の総人口

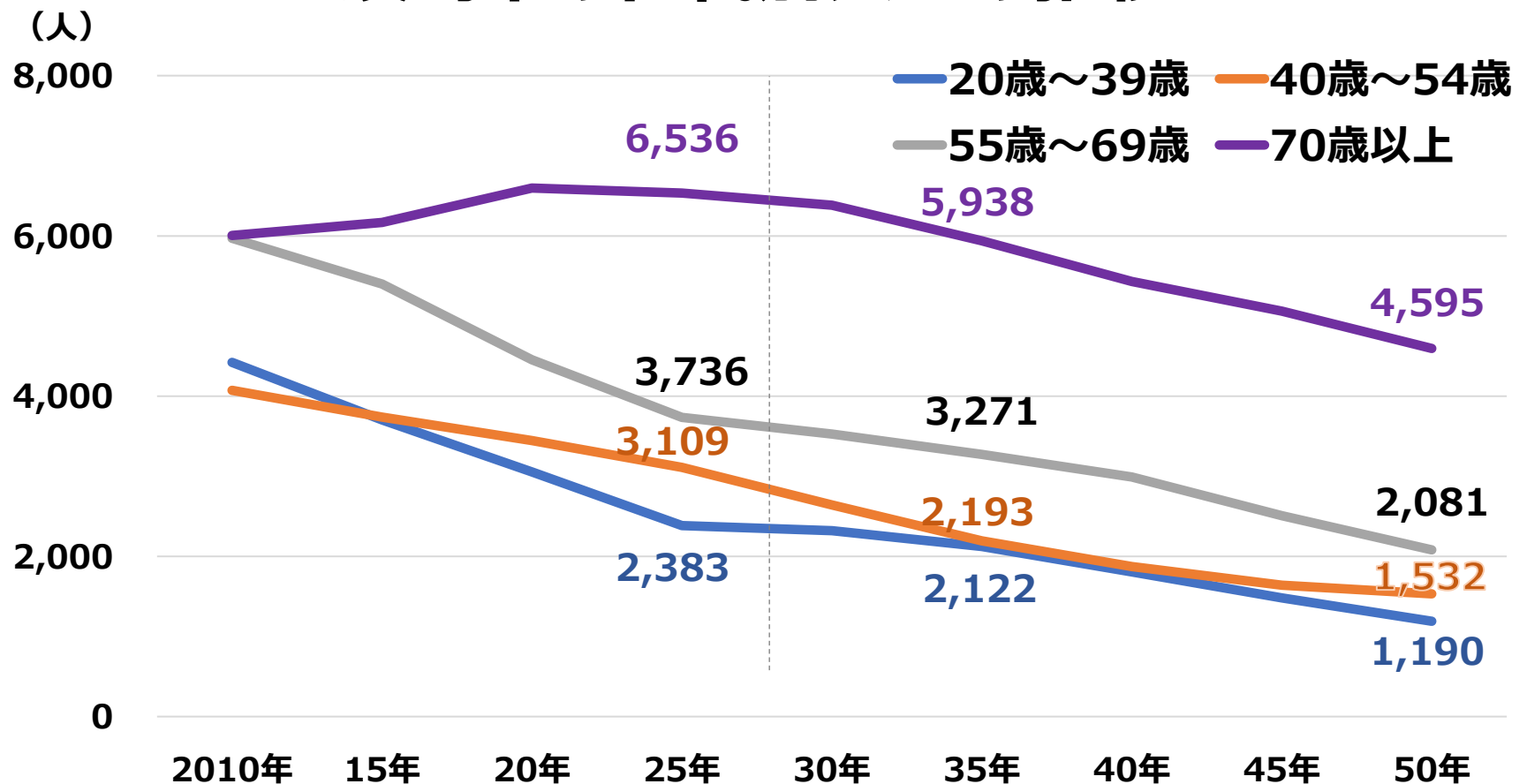
中西部市町村の人口の推移



2. 人口動向

(4) 地域別動向 ③ 中西部 ② 須崎市

須崎市の世代別人口の推移

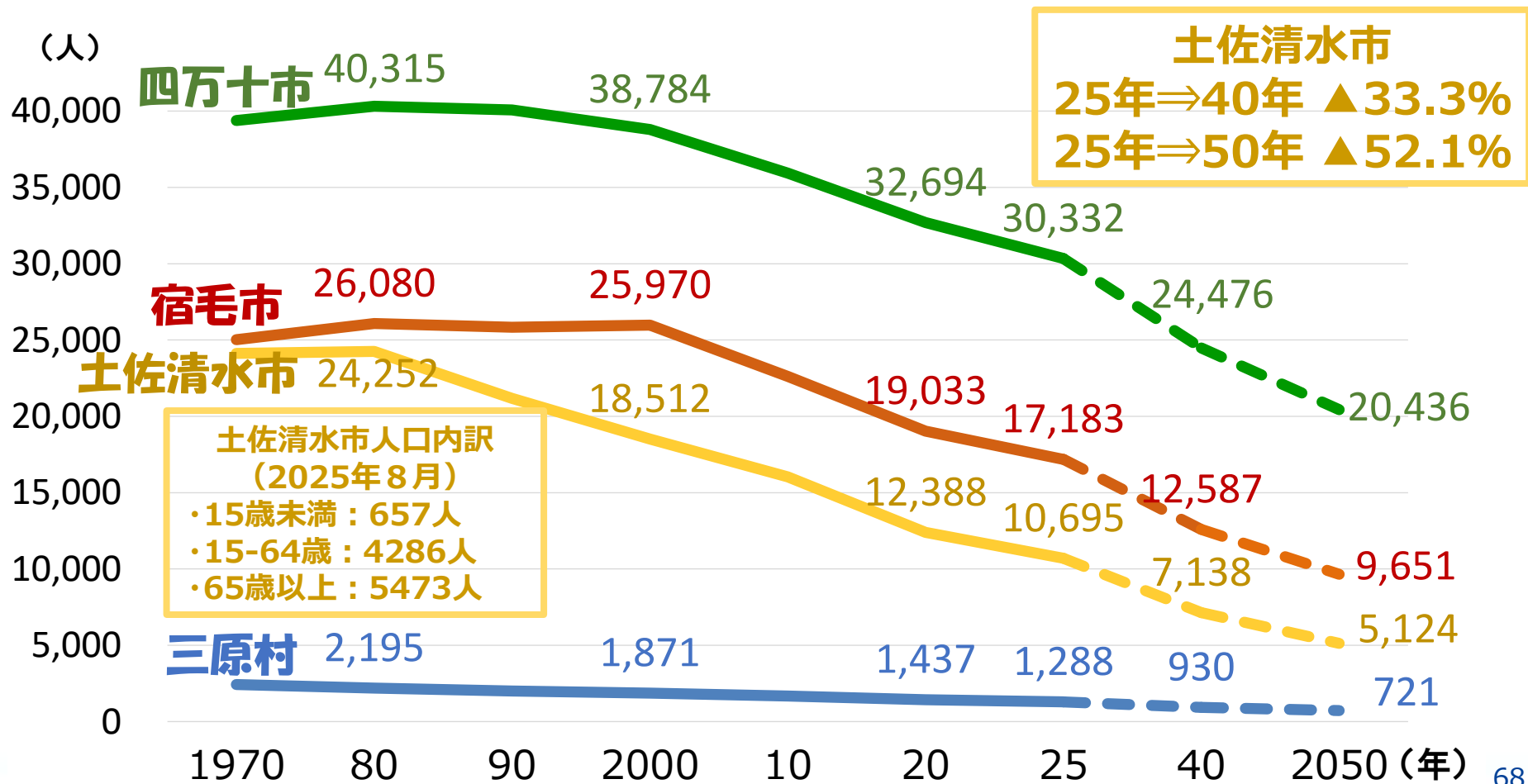


全ての世代で大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ④ 幡多地域 ① 各市村の総人口

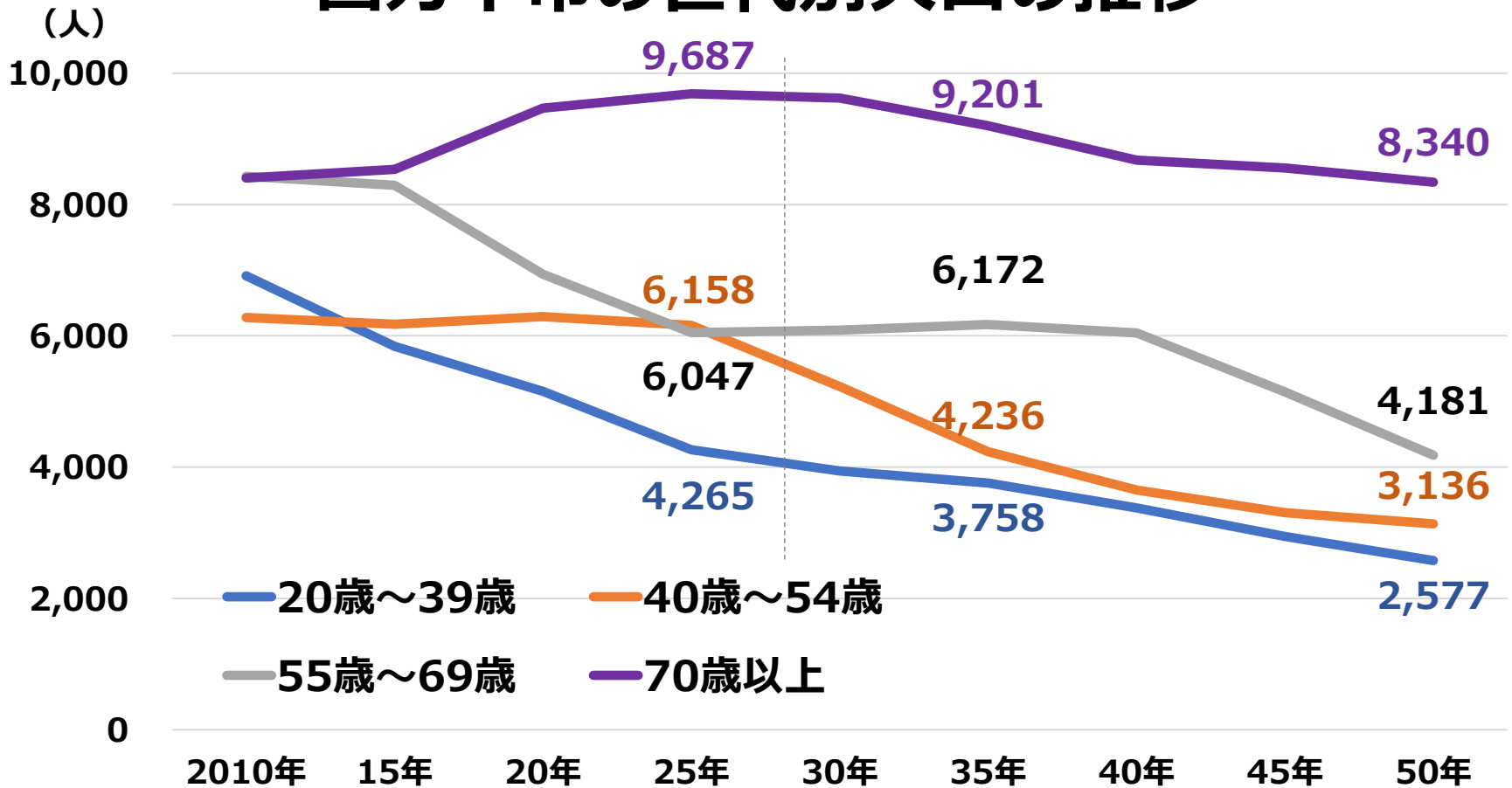
幡多市村の人口の推移



2. 人口動向

(4) 地域別動向 ④ 幡多地域 ② 四万十市

四万十市の世代別人口の推移

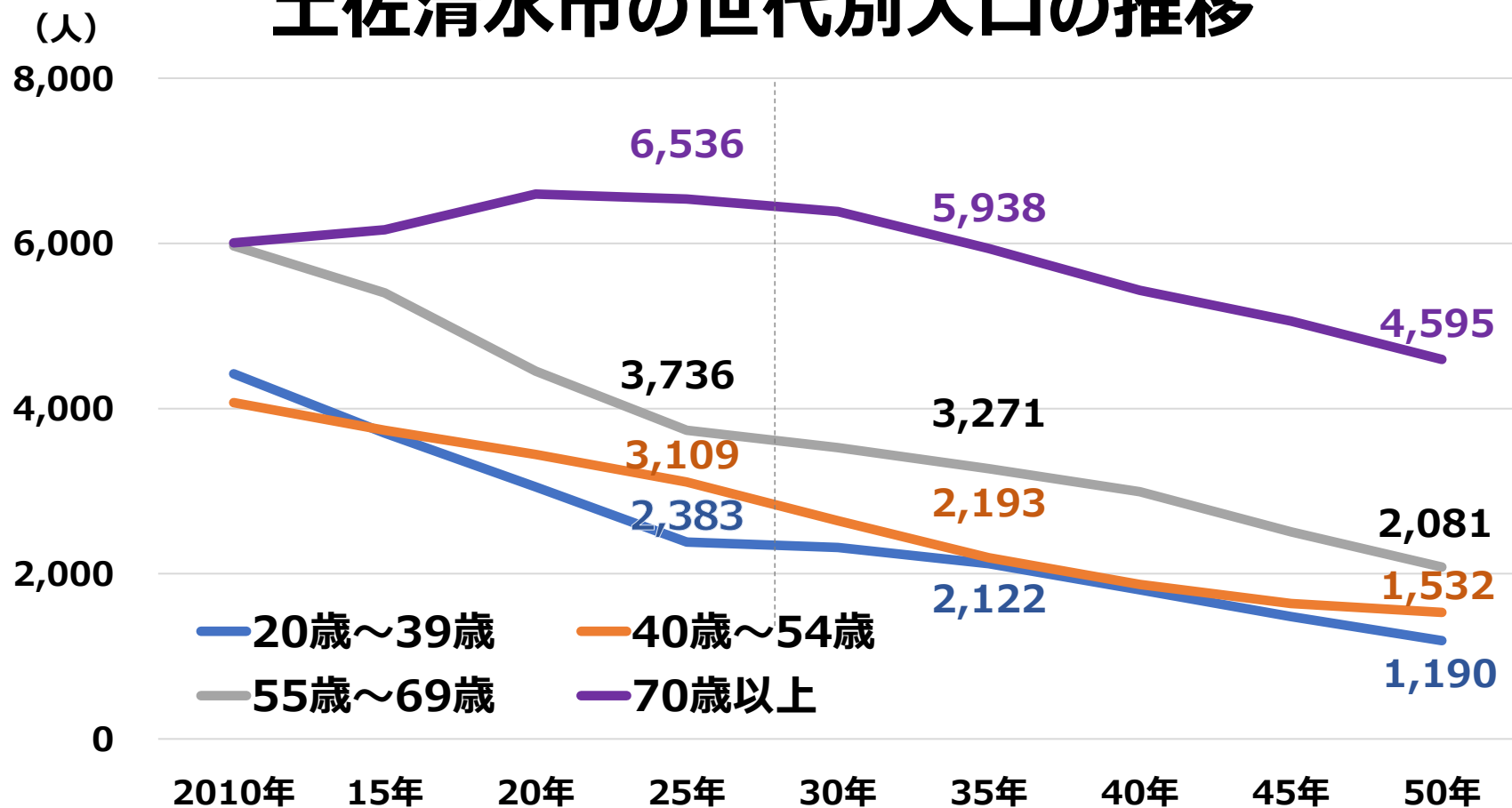


70歳代以上も減少、それ以外は大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ④ 幡多地域 ③ 土佐清水市

土佐清水市の世代別人口の推移

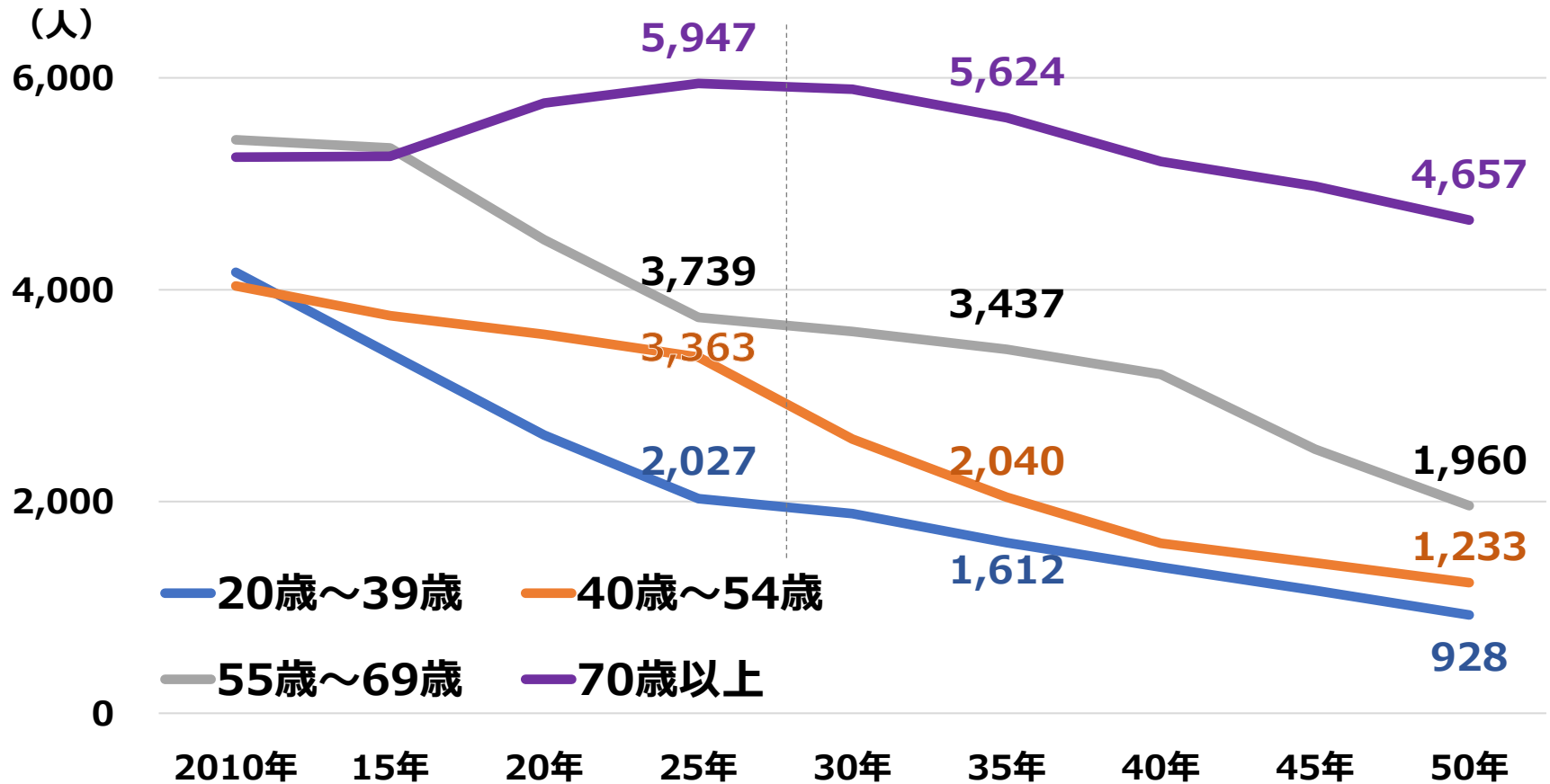


全ての世代で大幅に減少

2. 人口動向

(4) 地域別動向 ④ 幡多地域 ④ 宿毛市

宿毛市の世代別人口の推移



全ての世代で大幅に減少

本日の構成

1. ご説明の前に（所与の条件）

2. 人口動向

3. 消費ほか経済動向

4. 将来を考察するためのデータ

3. 消費ほか経済動向

- **人口減少や少子高齢化等に
起因する人手不足とその影響を
確認してみる**

3. 消費ほか経済動向

人口減少と少子高齢化



人手不足・担い手不足



賃金上昇（人材確保のための賃上げ）

+

食料、原材料、エネルギー、流通費等の上昇



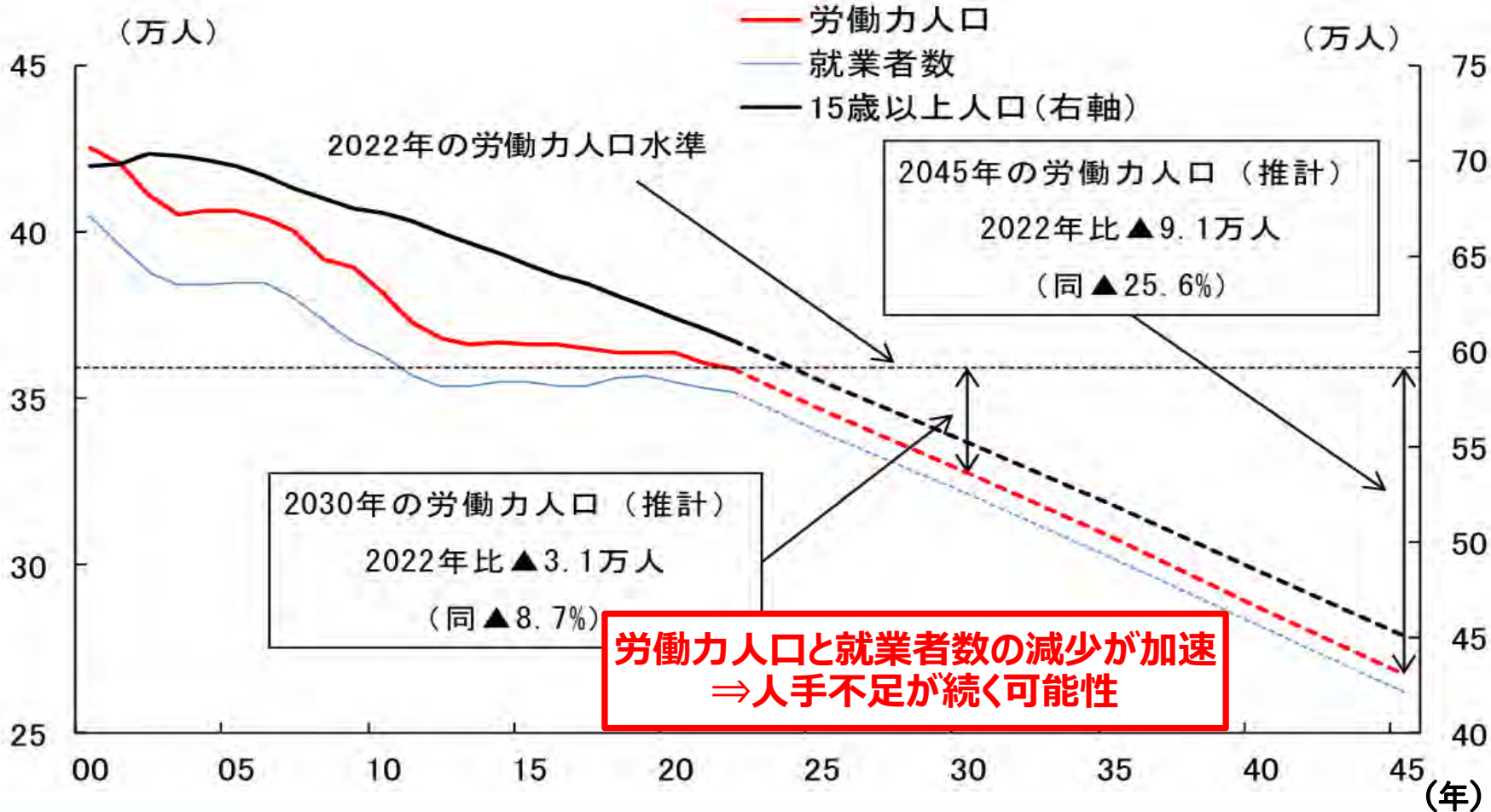
（+さらに円安も）

物価上昇

3. 消費ほか経済動向

(1) 人手不足 ① 就業者数等

高知県の15歳以上人口、労働力人口、就業者数の推移

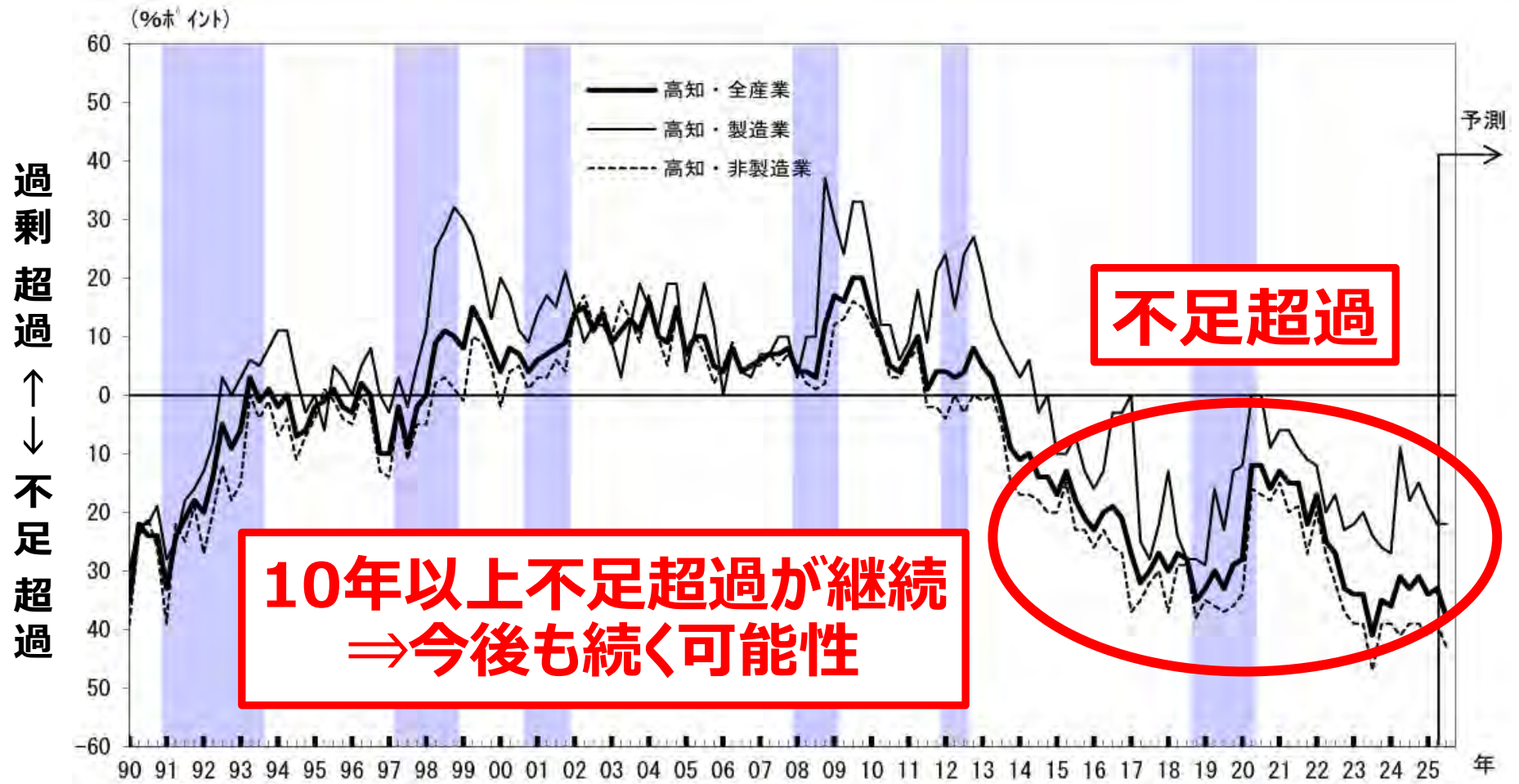


(出典) 日銀高知支店、実績の直近は2022年。モデル推計値。破線は推計値

3. 消費ほか経済動向

(1) 人手不足 ②高知県企業の人手不足感

高知県の雇用人員判断D I (日銀短観)

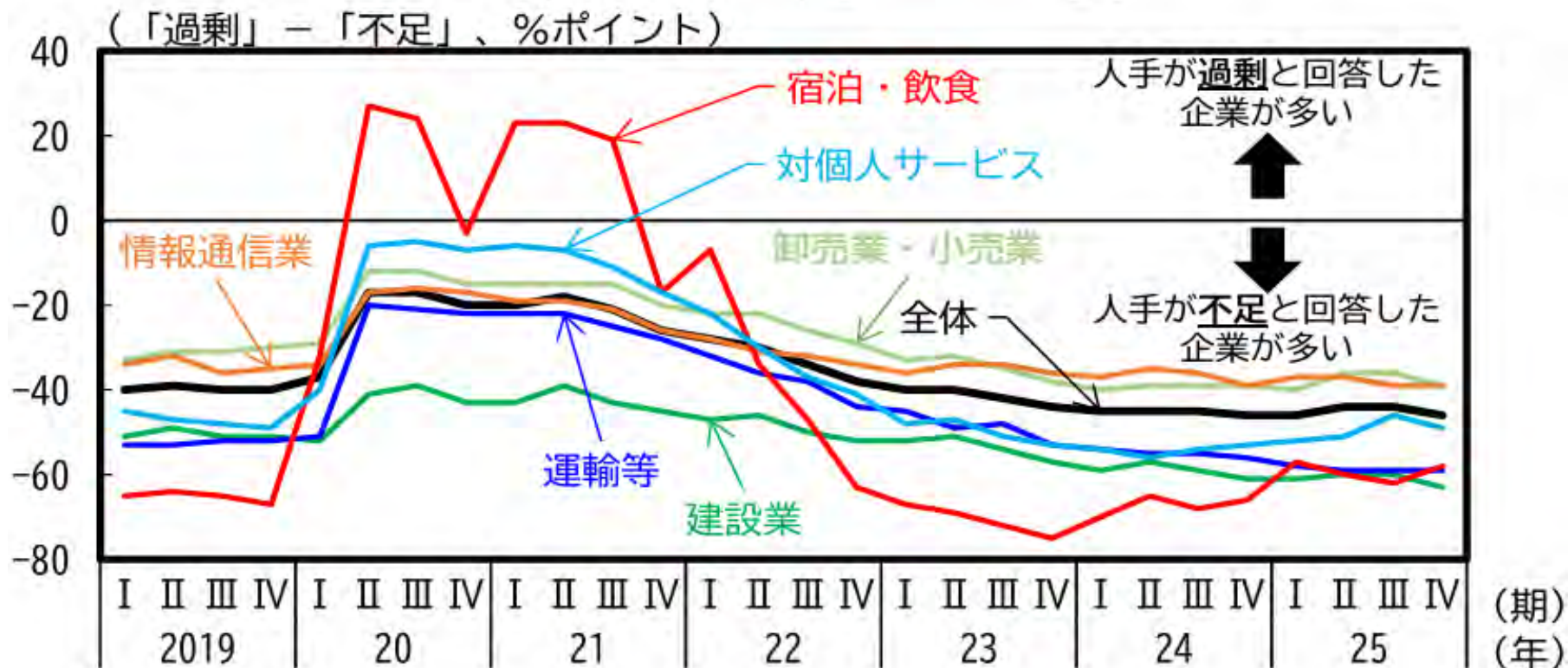


(出典) 日銀高知支店

3. 消費ほか経済動向

(1) 人手不足（参考）企業の人手不足感 ①非製造業

非製造業の産業別雇用人員判断DI（全国）

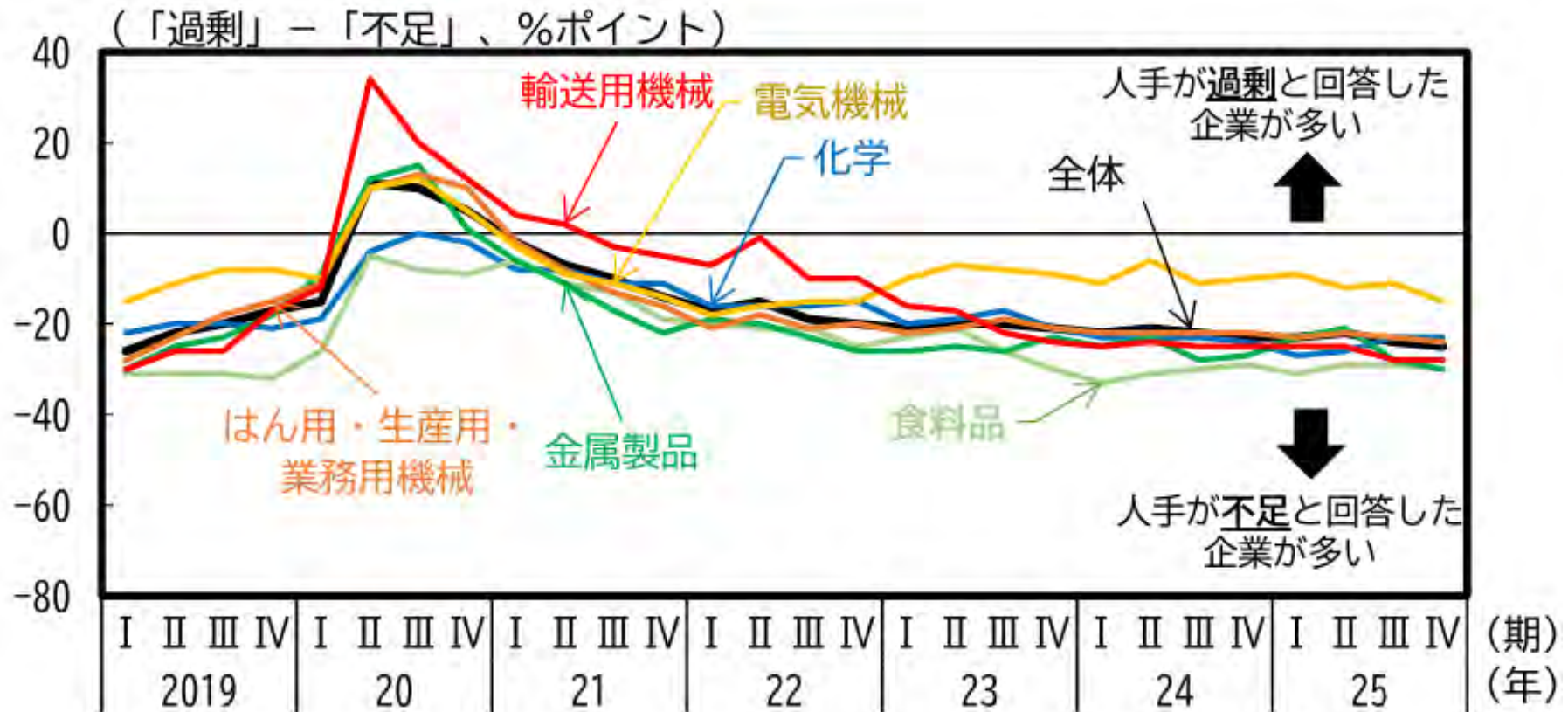


深刻な人手不足から人材確保のための高水準の賃上げが続く見通し

3. 消費ほか経済動向

(1) 人手不足（参考）企業の人手不足感 ②製造業

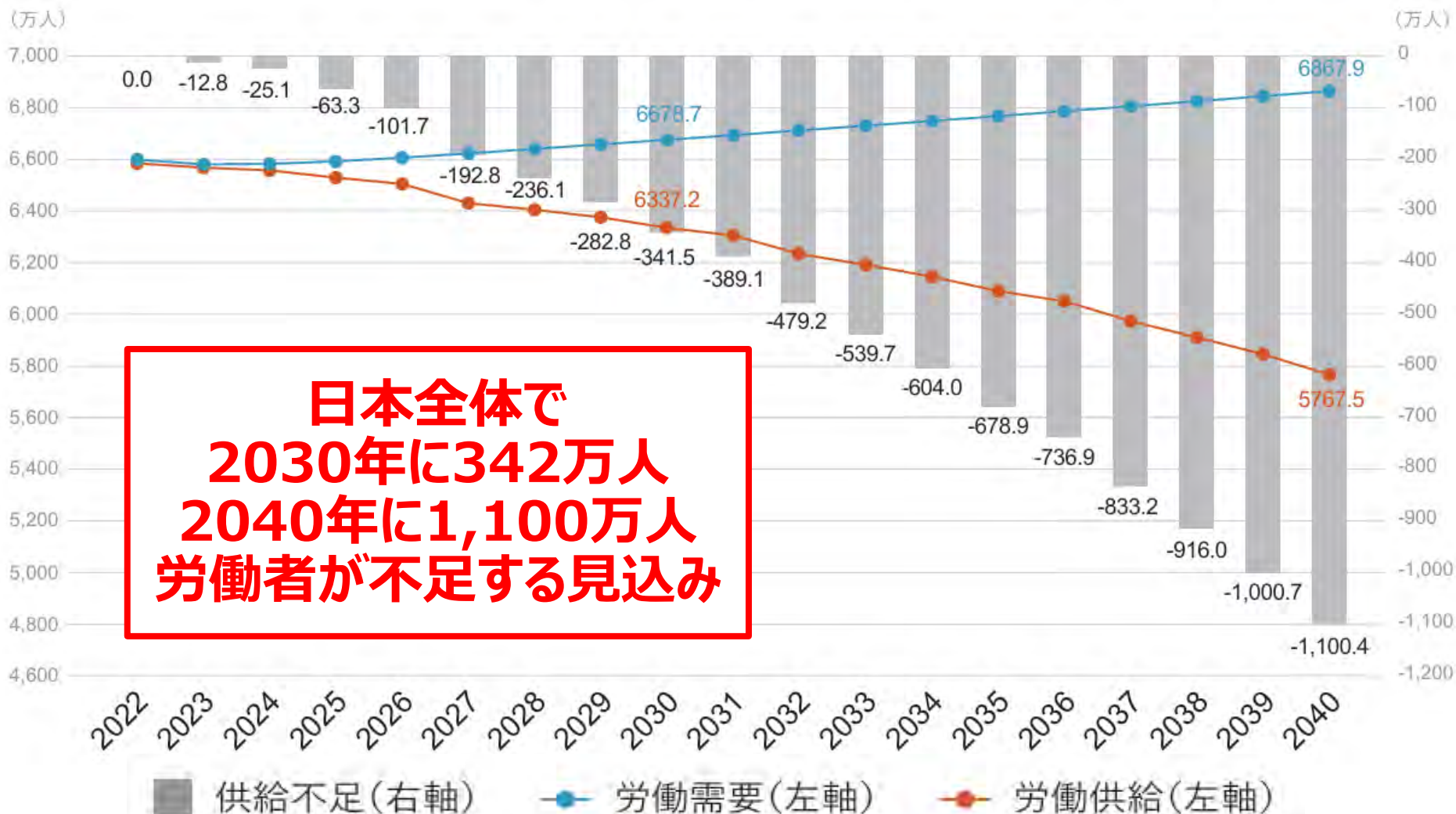
製造業の産業別雇用人員判断DI（全国）



深刻な人手不足から人材確保のための高水準の賃上げが続く見通し

3. 消費ほか経済動向

(1) 人手不足 ③長期労働需給シミュレーション (日本)



(出典) リクルートワークス研究所「未来予測2040」(2023年)

3. 消費ほか経済動向

(1) 人手不足 ④長期労働需給シミュレーション（四国4県等）

項目		高知	徳島	愛媛	香川	東京
2030年	需給ギャップ [°]	3.4万人不足	3.8万人不足	7.8万人不足	1.0万人不足	36万人余剰
	過不足率	▲9.7%	▲10.1%	▲11.4%	▲2.0%	+5.1%
2040年	需給ギャップ [°]	9.9万人不足	11.5万人不足	23.0万人不足	0.9万人不足	64万人余剰
	過不足率	▲27.5%	▲30.0%	▲32.4%	▲1.6%	+8.8%

高知県は2030年に3.4万人、2040年に9.9万人労働者が不足する見込み

3. 消費ほか経済動向

(1) 人手不足 ⑤例・介護 ①高知県の認知症等患者数（試算）

項目	人口（万人）			割合（%）		
	2025	2040	2050	2025	2040	2050
人口計	64.6万人	52.8万人	45.1万人	100.0%	100.0%	100.0%
15歳未満	6.5万人	4.6万人	3.9万人	10.0%	8.7%	8.7%
15-64歳	34.3万人	25.8万人	20.6万人	53.0%	48.8%	45.7%
65歳以上	23.9万人	22.4万人	20.6万人	37.0%	42.5%	45.6%
うち認知症患者数と軽度認知障害者の数	6.6万人	6.8万人	6.4万人	10.2%	12.9%	14.1%
うち認知症患者数	2.9万人	3.3万人	3.1万人	4.5%	6.2%	6.9%

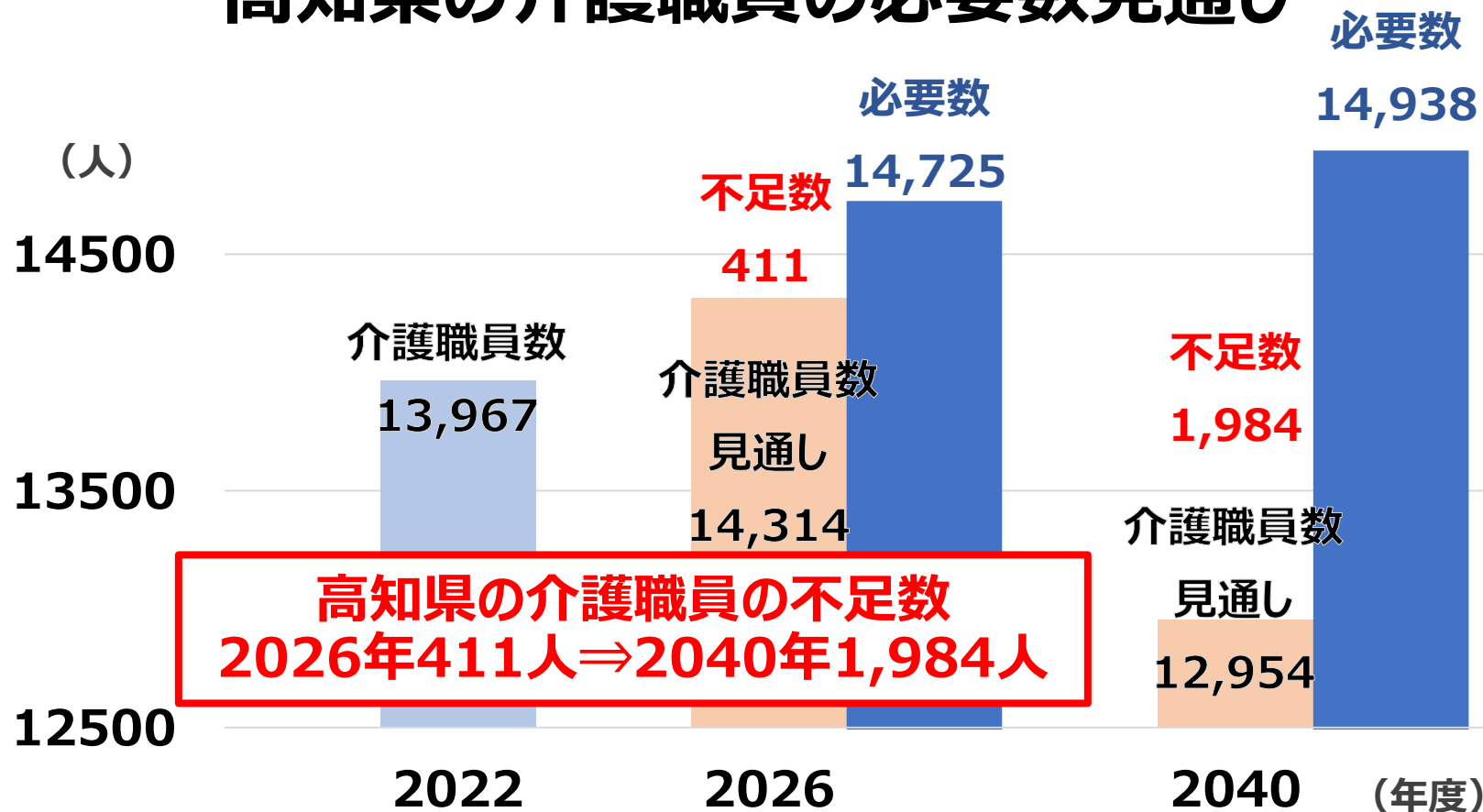
人口の10%以上を超える認知症患者数 + 予備軍をケアする必要性

出典：厚生労働省「令和5年度・認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」（認知症患者数と軽度認知障害者の数については、認知症等の有病率調査の割合（65歳以上に占める割合：2022年・認知症12.3%、軽度認知障害15.5%、合計27.8%、40年・認知症14.9%、軽度認知障害15.6%、合計30.5%、50年・認知症15.1%、軽度認知障害16.2%、合計31.3%）を65歳以上人口に乗じて四銀地域経済研究所にて試算）

3. 消費ほか経済動向

(1) 人手不足 ⑤例・介護 ②介護職員の不足

高知県の介護職員の必要数見通し

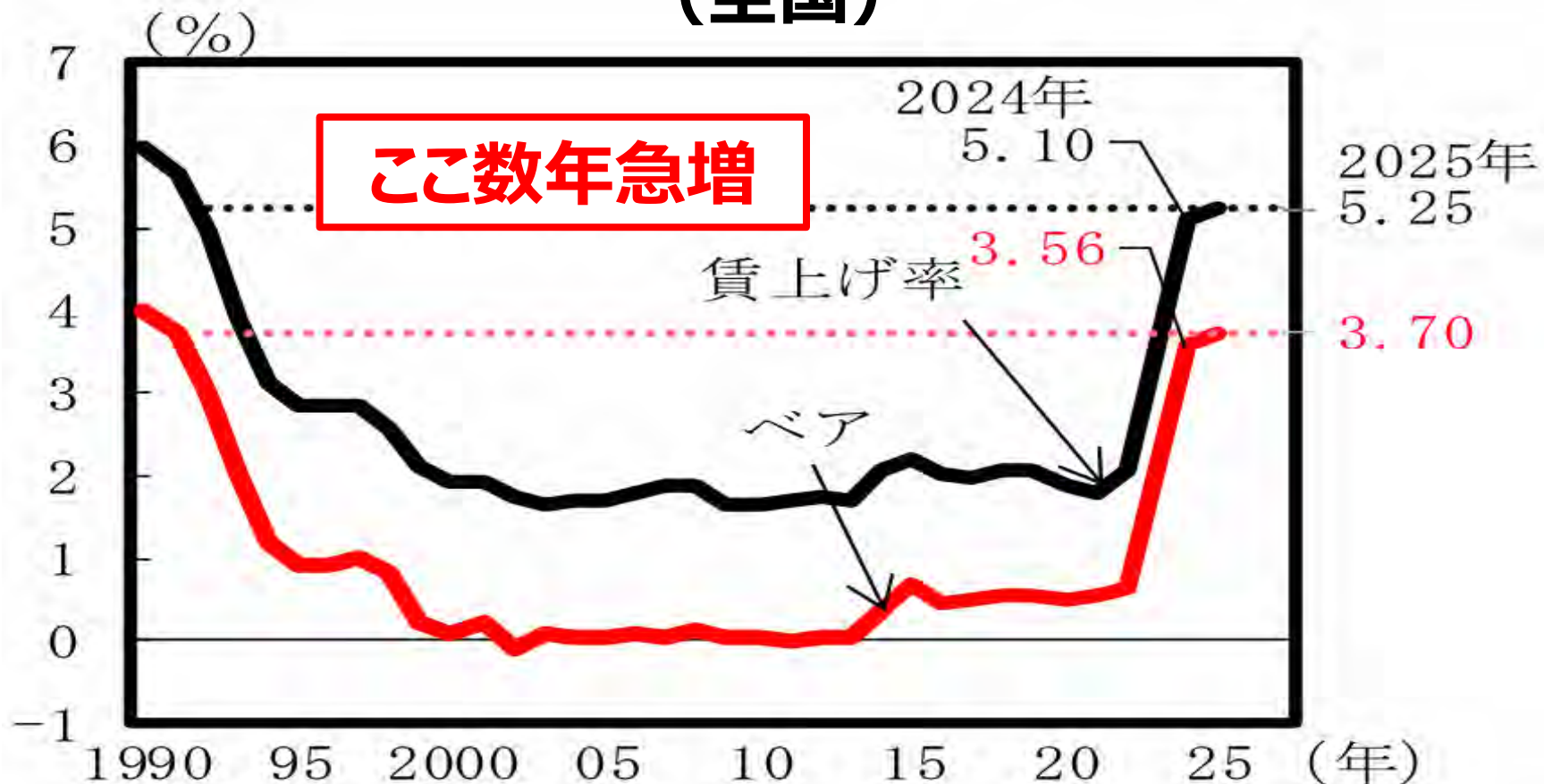


出典：厚生労働省「第9期介護基本計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」令和6年7月12日

3. 消費ほか経済動向

(2) 貸金 ①全国の中長期の貸上げ動向

春季生活闘争の貸上げ率回答集計結果 (全国)



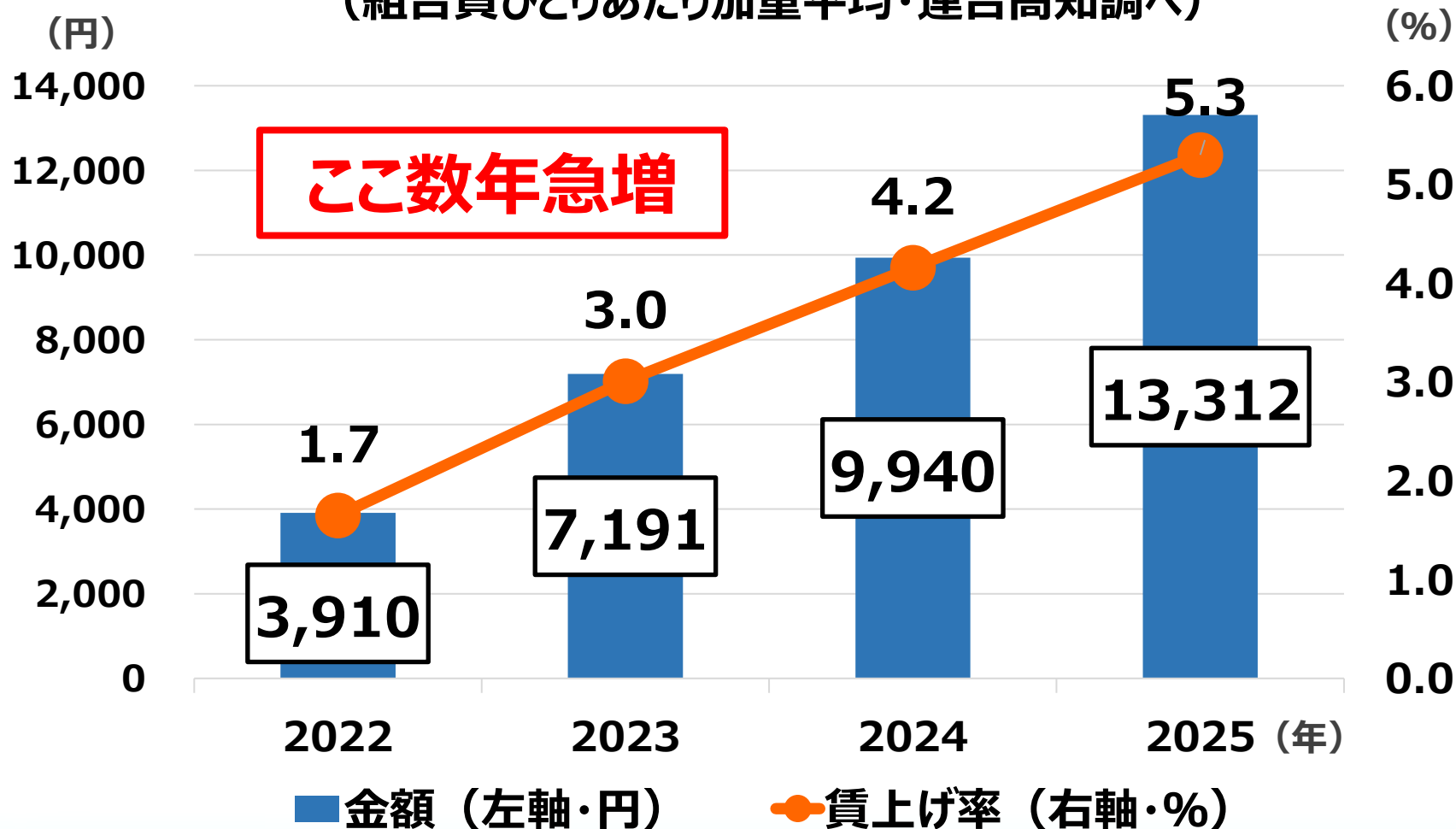
(出典) 内閣府「令和7年度 年次経済財政報告」

3. 消費ほか経済動向

(2) 貸金 ②高知県の貸上げ動向

連合高知傘下組合の平均妥結額及び貸上げ率の推移

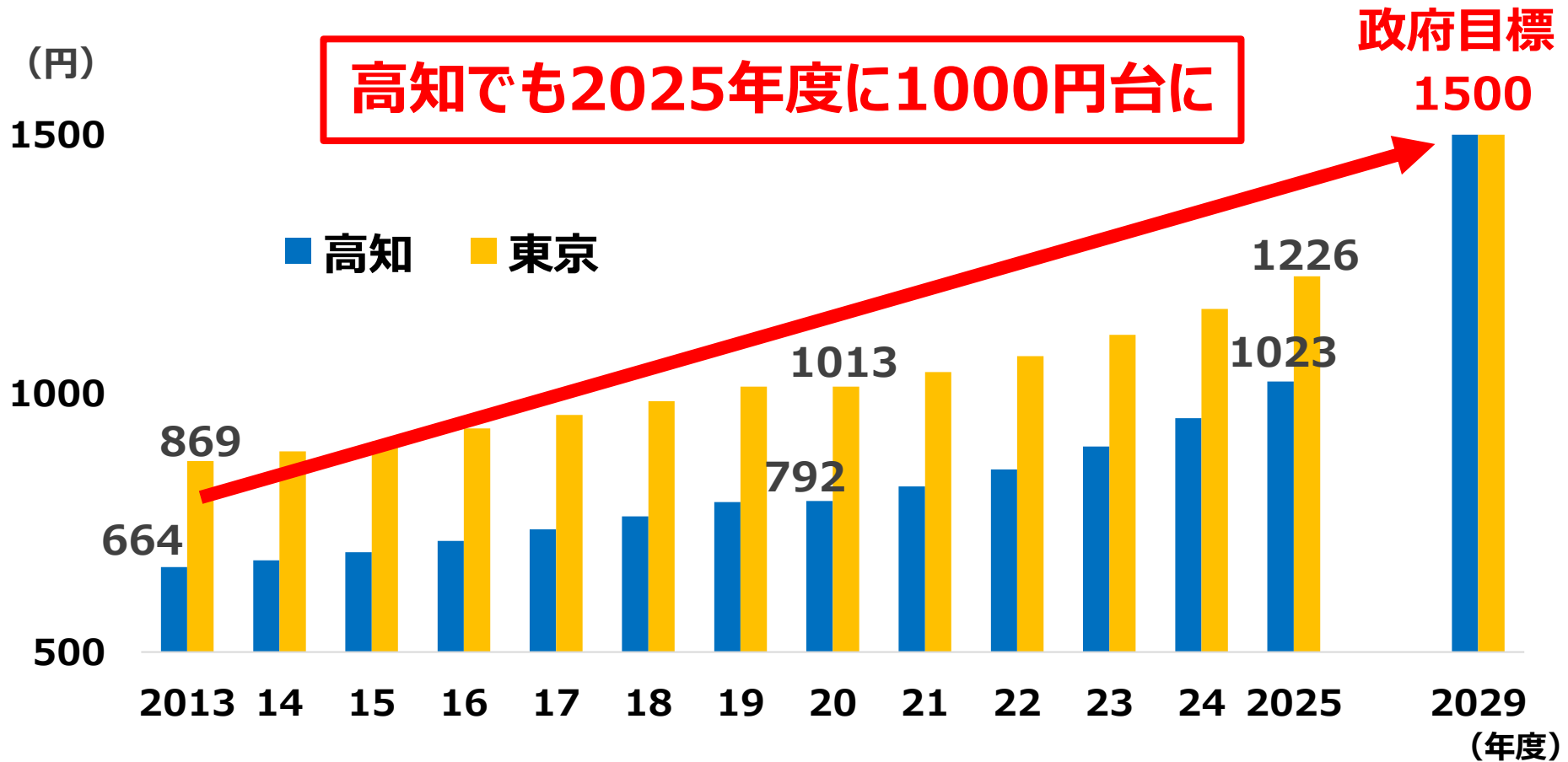
(組合員ひとりあたり加重平均・連合高知調べ)



3. 消費ほか経済動向

(2) 賃金（参考）最低賃金：政府目標は2029年度に1500円

東京都と高知県の最低賃金の推移（円）

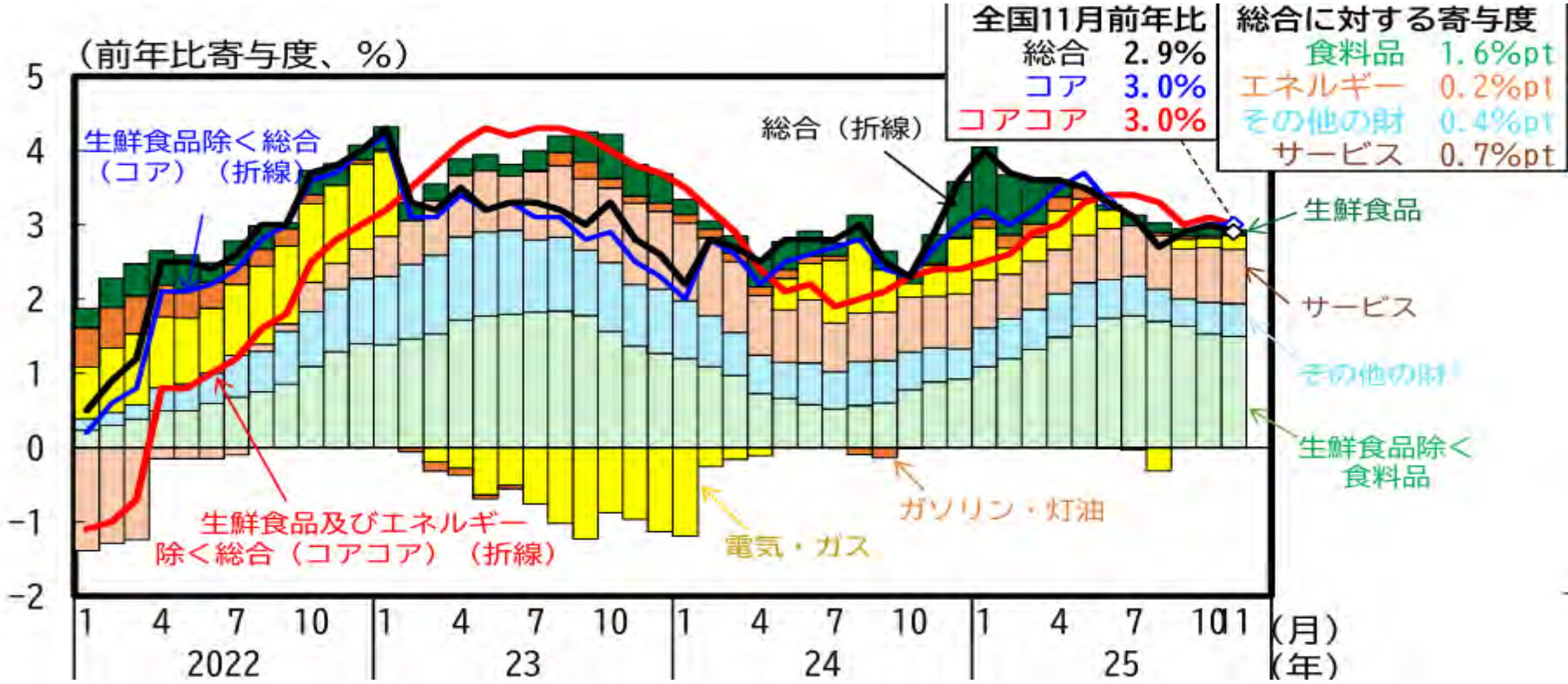


出典：東京都及び高知県

3. 消費ほか経済動向

(3) 物価 ① 物価動向 (全国)

消費者物価上昇率 (全国) の推移



**物価 (全国) は3年以上2% (日銀の目標) を超えて推移
足元は食料品の上昇でコアが3%台**

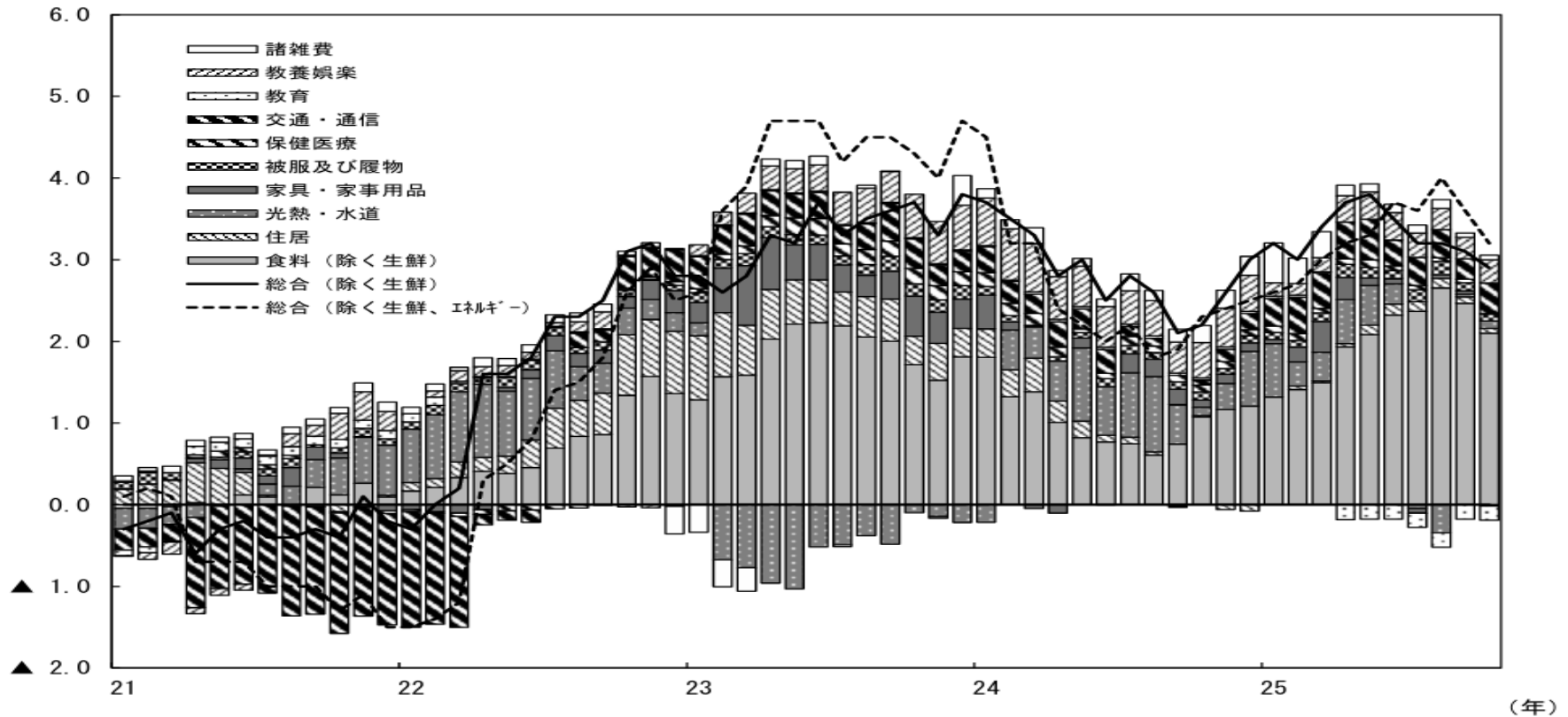
(出典) 内閣府 月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料 (2025年12月19日)

3. 消費ほか経済動向

(3) 物価 ②物価動向（高知）

消費者物価上昇率（高知市）の推移

（前年比、寄与度、％）



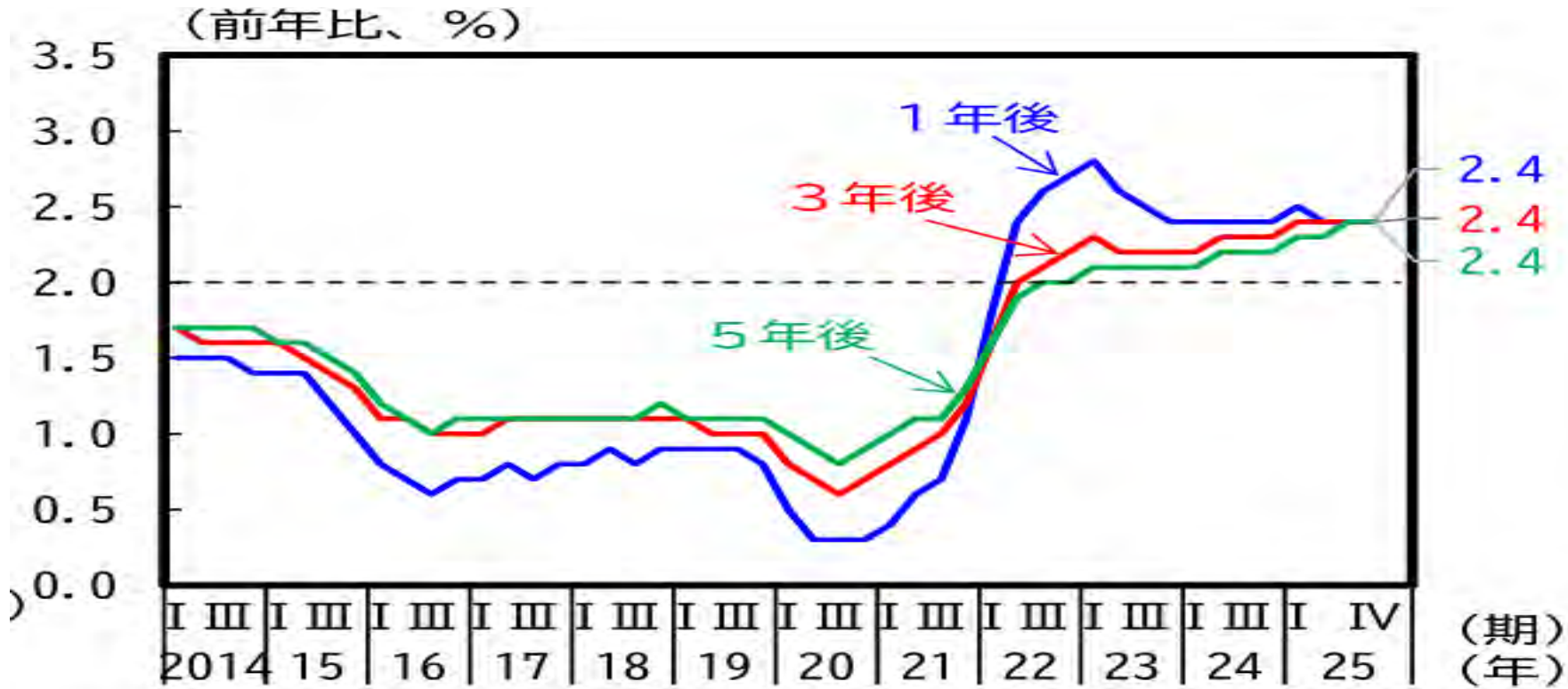
**高知の物価も3年以上2%（日銀の目標）を超えて推移
足元は食料品の上昇でコアが3%近傍**

（出典）日本銀行高知支店「高知県の経済指標」（2025年12月15日）

3. 消費ほか経済動向

(3) 物価 ③物価見通し (全国)

予想物価上昇率 (企業の物価見通し)



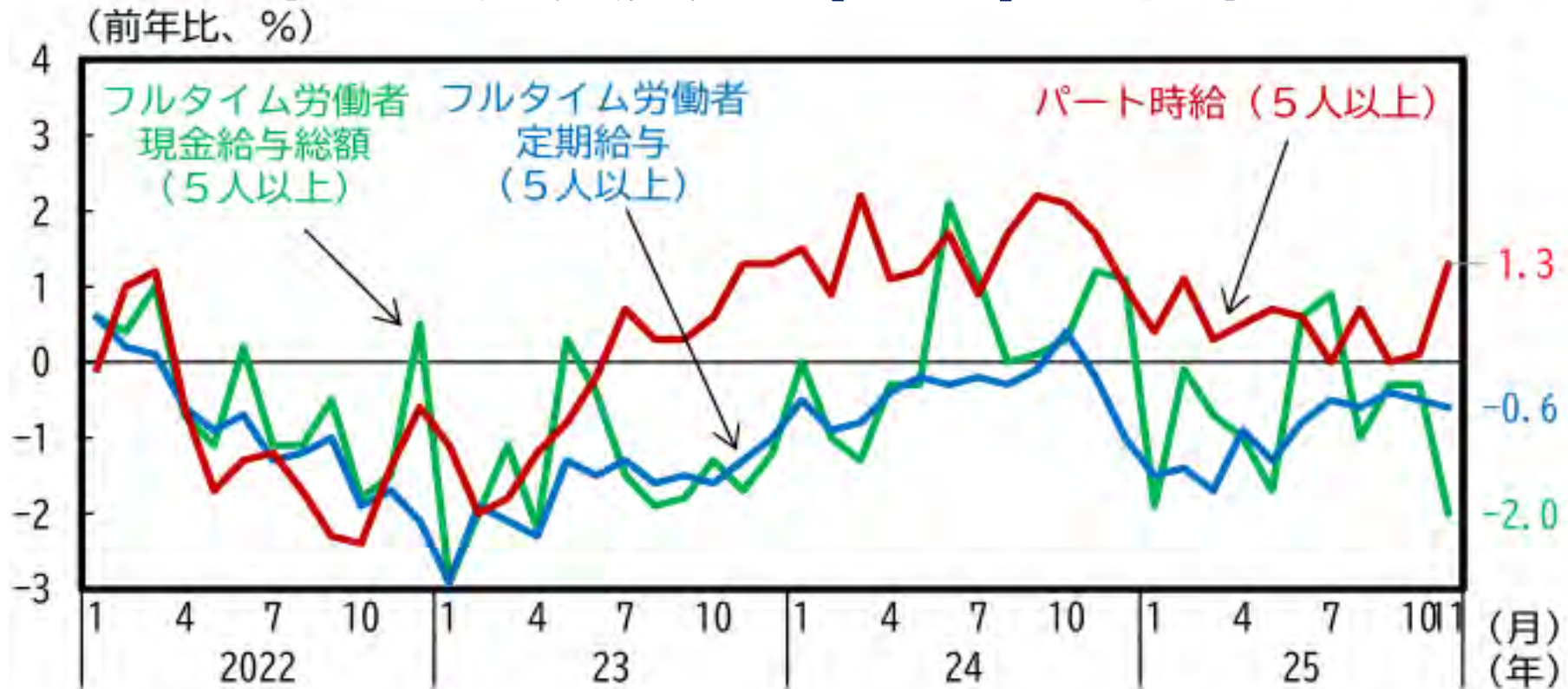
2022年以降消費者物価上昇率は2%超の見通しが継続

(出典) 内閣府 月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料 (2025年12月19日)
 日本銀行「短観」により作成 (いずれも全規模全産業) し、各年後時点における物価全般
 (消費者物価指数をイメージ) の前年比の見通し。

3. 消費ほか経済動向

(4) 実質賃金：業態別（全国）

業態別実質賃金（全国）の推移

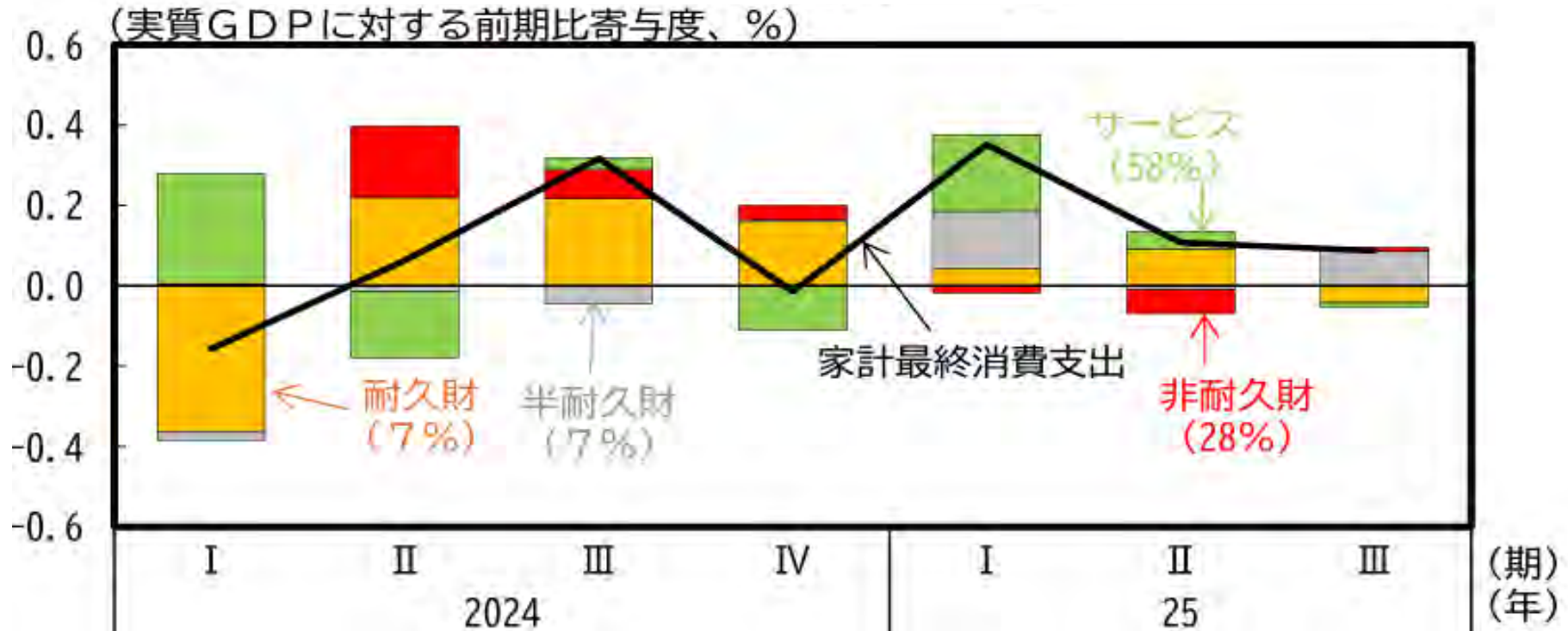


フルタイム労働者の定期給与の実質賃金はマイナス圏で推移

3. 消費ほか経済動向

(5) 消費 ①実質GDPの個人消費（全国）

個人消費（全国）の推移

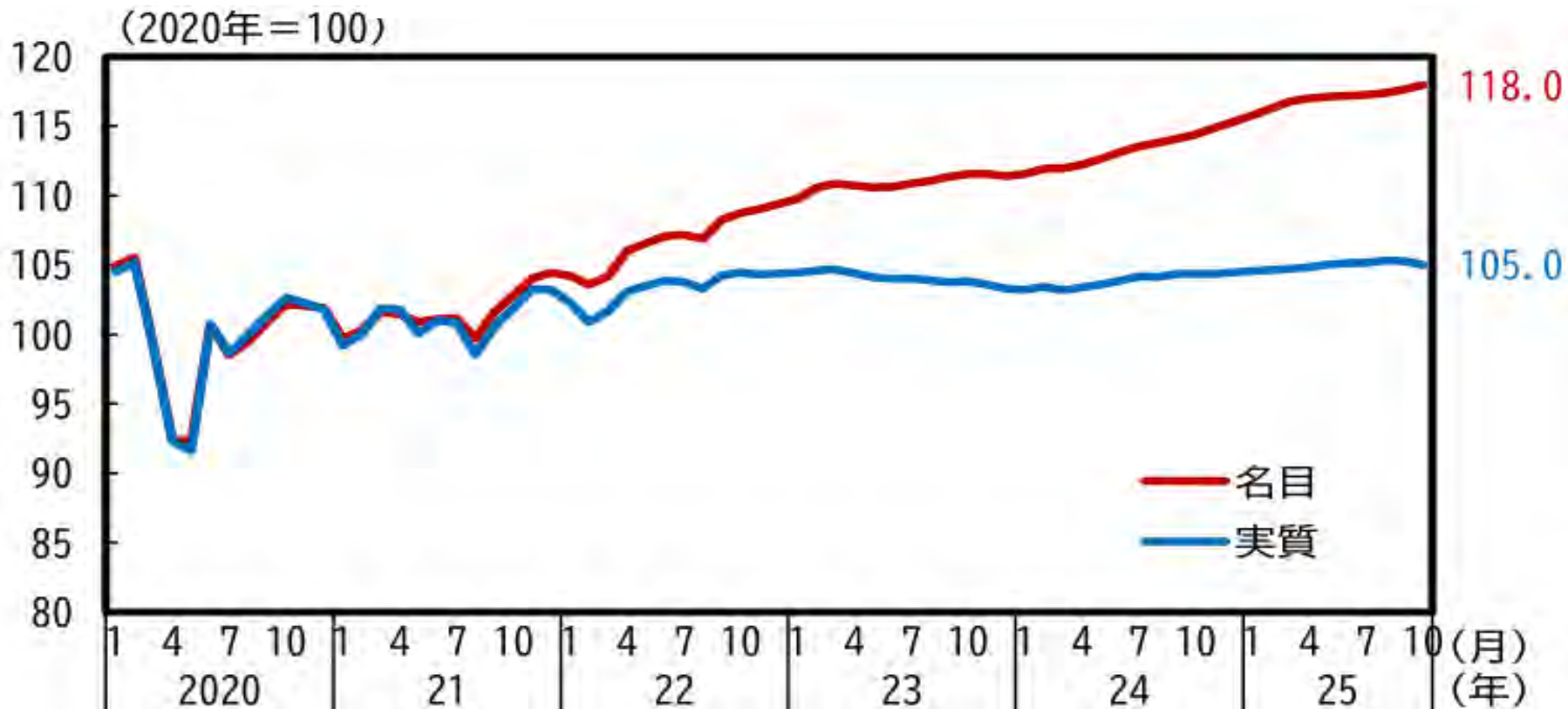


3 四半期連続のプラスだが、物価高の影響を受けやすい食料品など非耐久財消費の伸びは依然として弱い

3. 消費ほか経済動向

(5) 消費 ② 総消費動向指数 (全国)

総消費動向指数 (全国) の推移



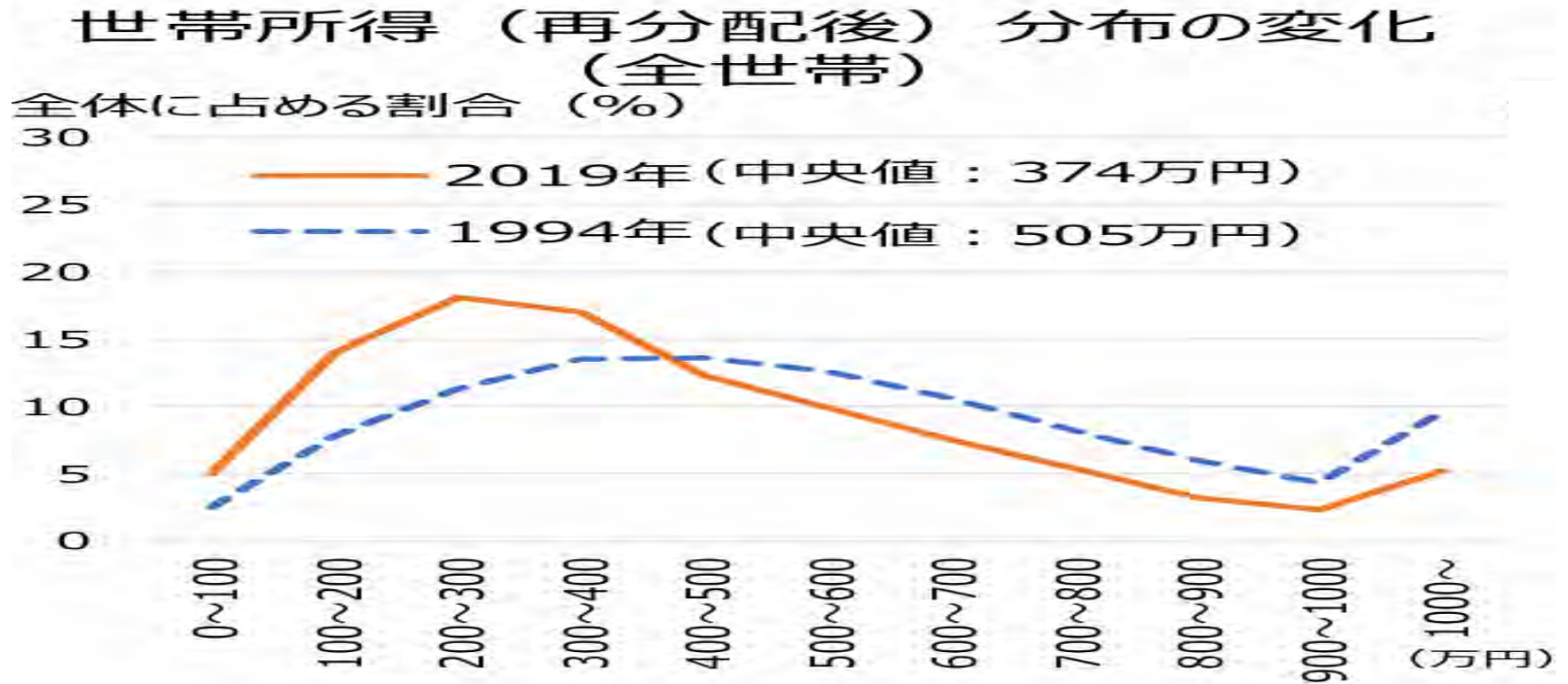
名目は大幅な増加だが、実質はほぼ横ばい

(出典) 内閣府 月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料 (2025年12月19日)

* 総消費動向指数：日本国内の全世帯の消費支出総額 (GDPの家計最終消費支出に相当) の動向を示す指標

3. 消費ほか経済動向

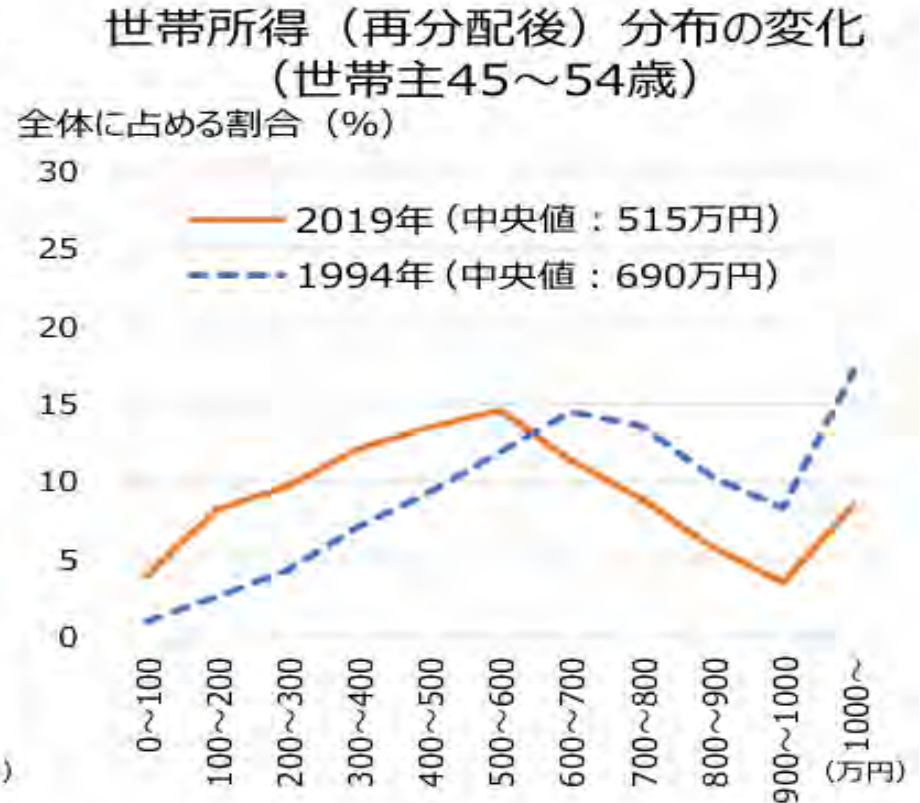
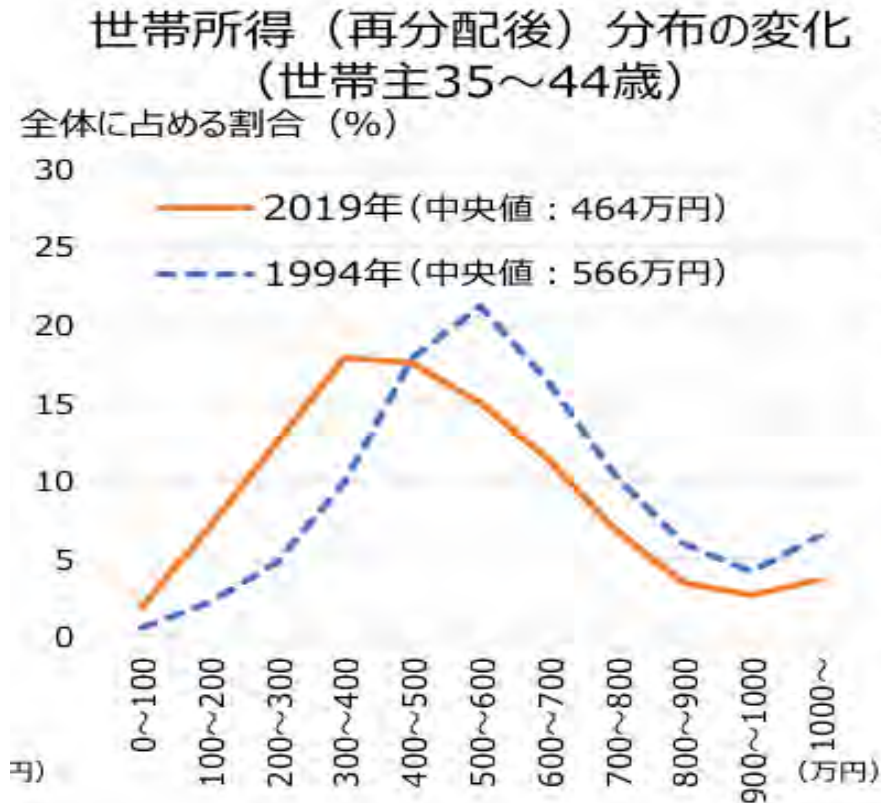
(5) 消費 ③消費の伸び悩み要因・中間層の衰退〔全国・全世帯〕



1994年と2019年の世帯所得（再分配後）比較
400万円未満の世帯が増加し、中央値は505万円から374万円に低下

3. 消費ほか経済動向

(5) 消費 ③消費の伸び悩み要因・中間層の衰退〔全国・現役世代〕



**1994年と2019年の世帯所得（再分配後）比較
特に35歳～54歳の現役世代で、中央値が大きく低下**

3. 消費ほか経済動向

足元の消費動向が弱い要因

- 長期的視点

⇒ 中間層の衰退

- 短期的視点

⇒ 物価高と実質賃金

伸び悩みの影響

本日の構成

1. ご説明の前に（所与の条件）

2. 人口動向

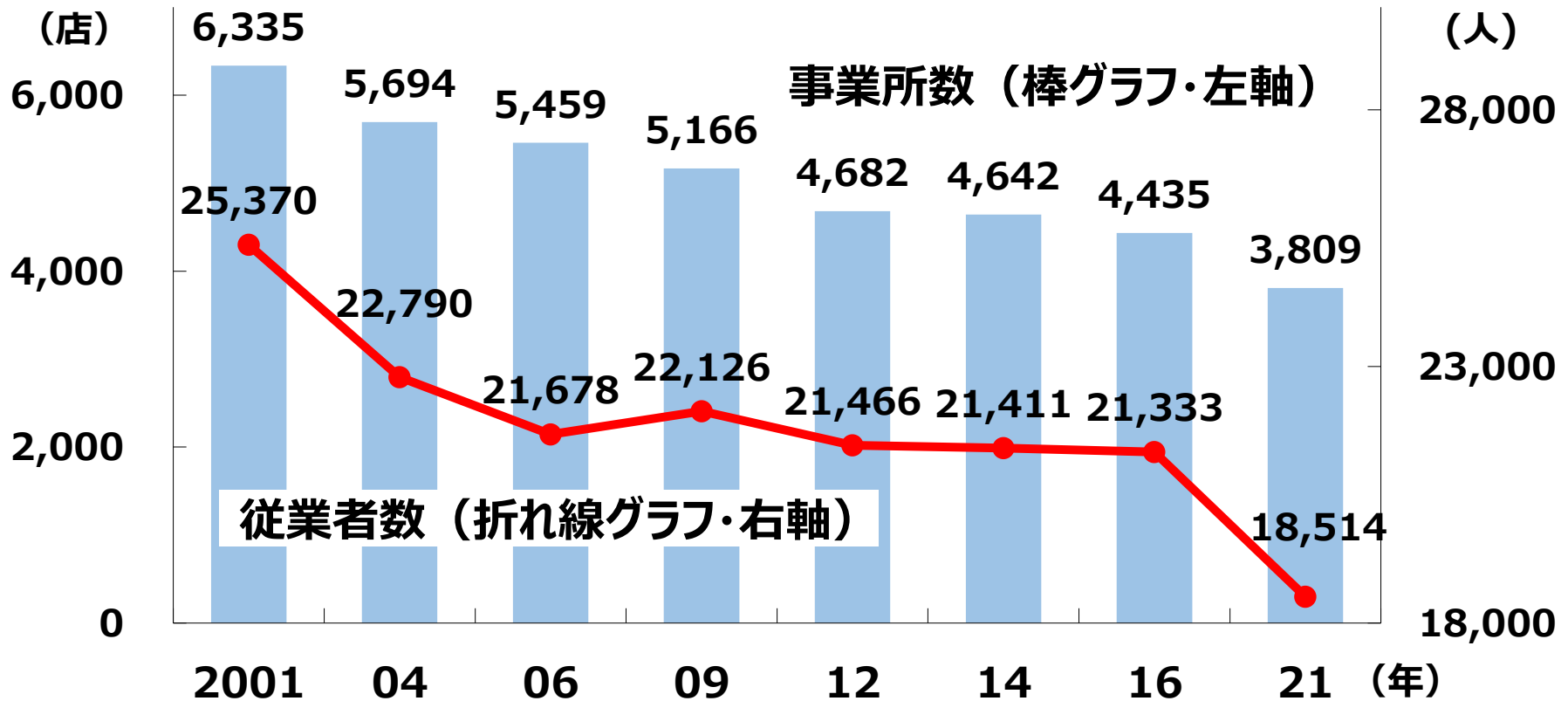
3. 消費ほか経済動向

4. 将来を考察するためのデータ

4. 将来を考察するためのデータ

(1) 飲食店数等 ①事業所数及び従業員数

高知県の飲食店の事業所数と従業者数の推移

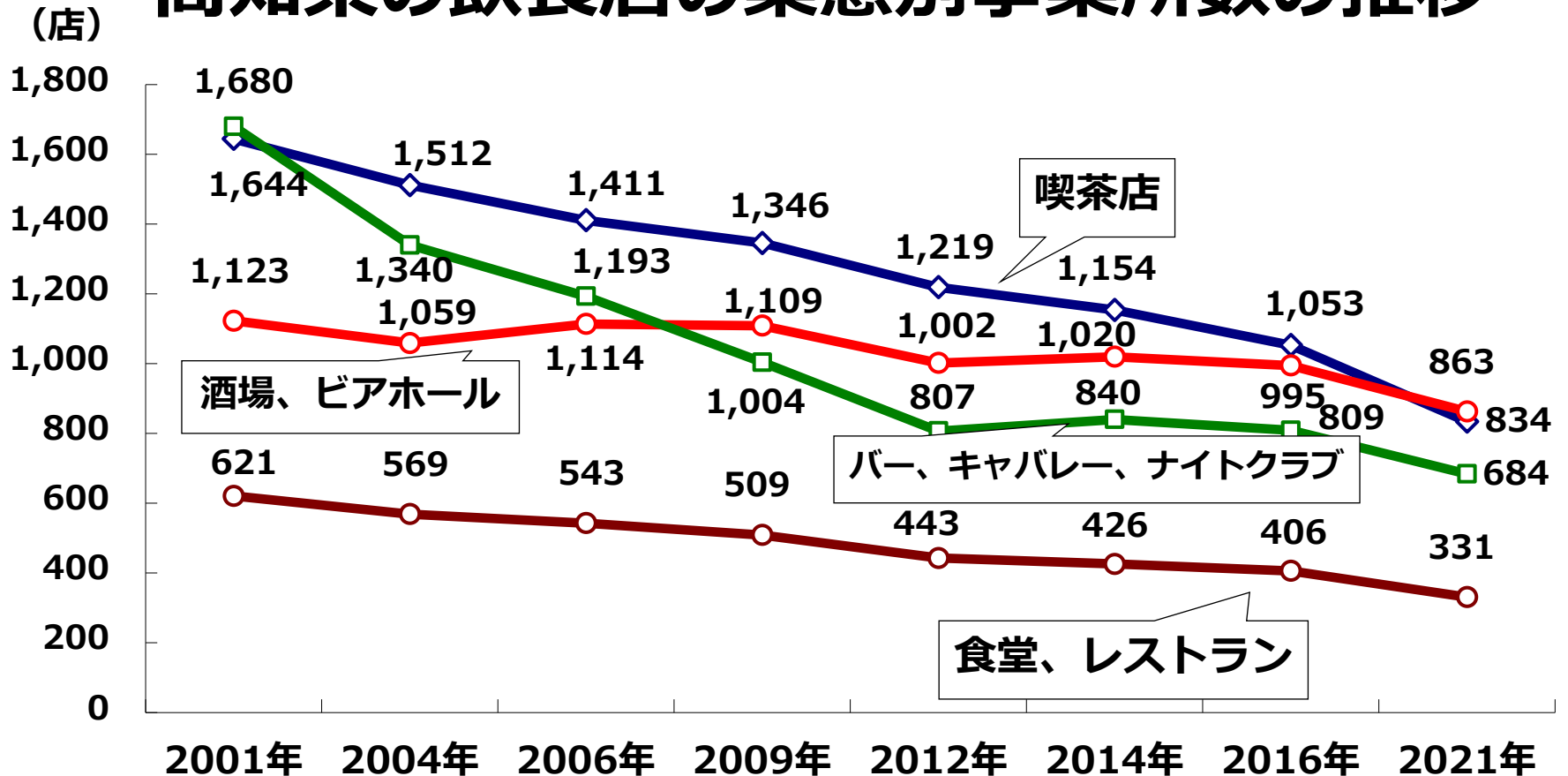


事業所数及び従業者数が大きく減少

4. 将来を考察するためのデータ

(1) 飲食店数等 ②事業所数（業態別 i）

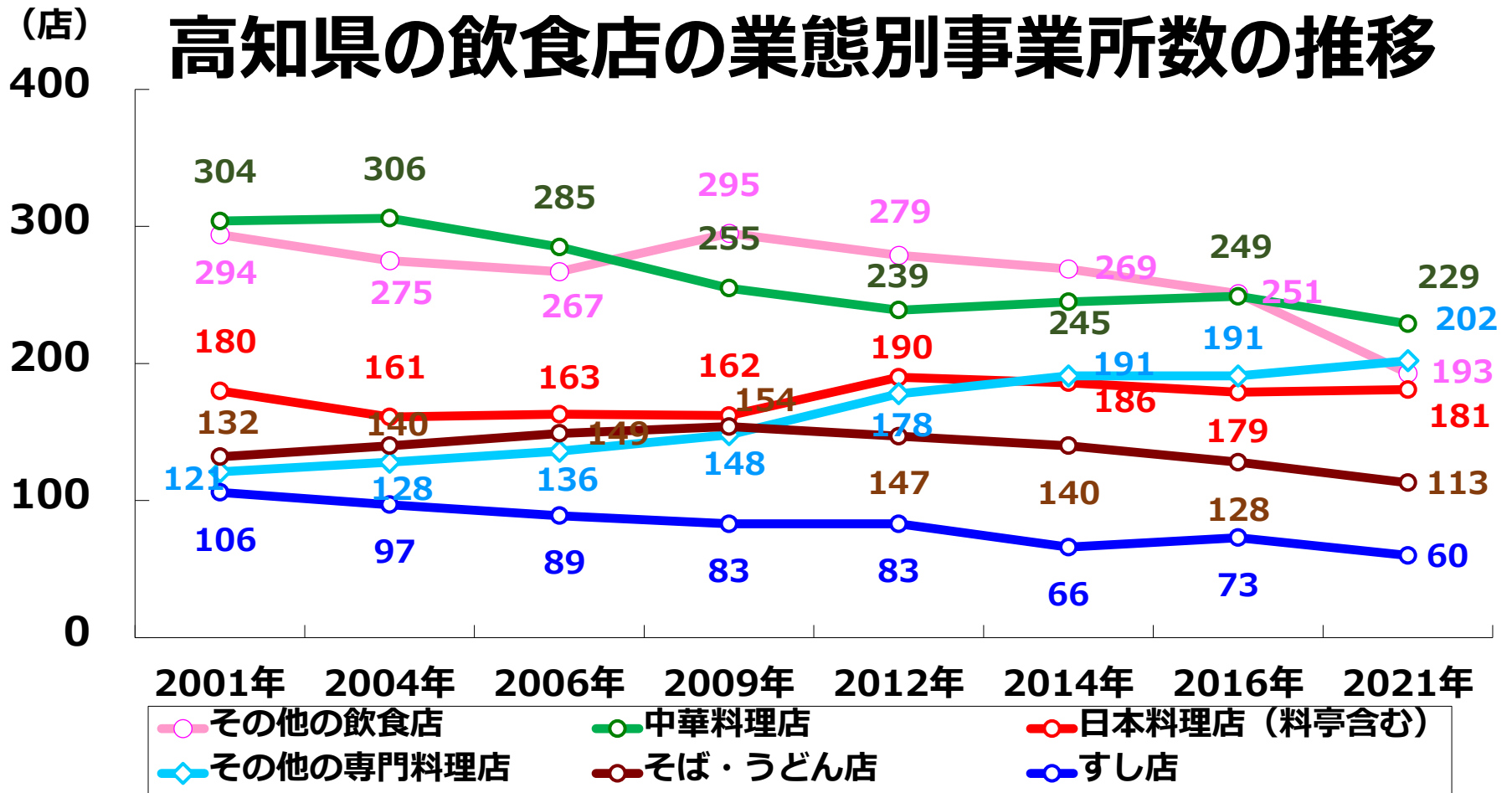
高知県の飲食店の業態別事業所数の推移



大半の業態の事業所数が大きく減少

4. 将来を考察するためのデータ

(1) 飲食店数等 ②事業所数（業態別 ii）



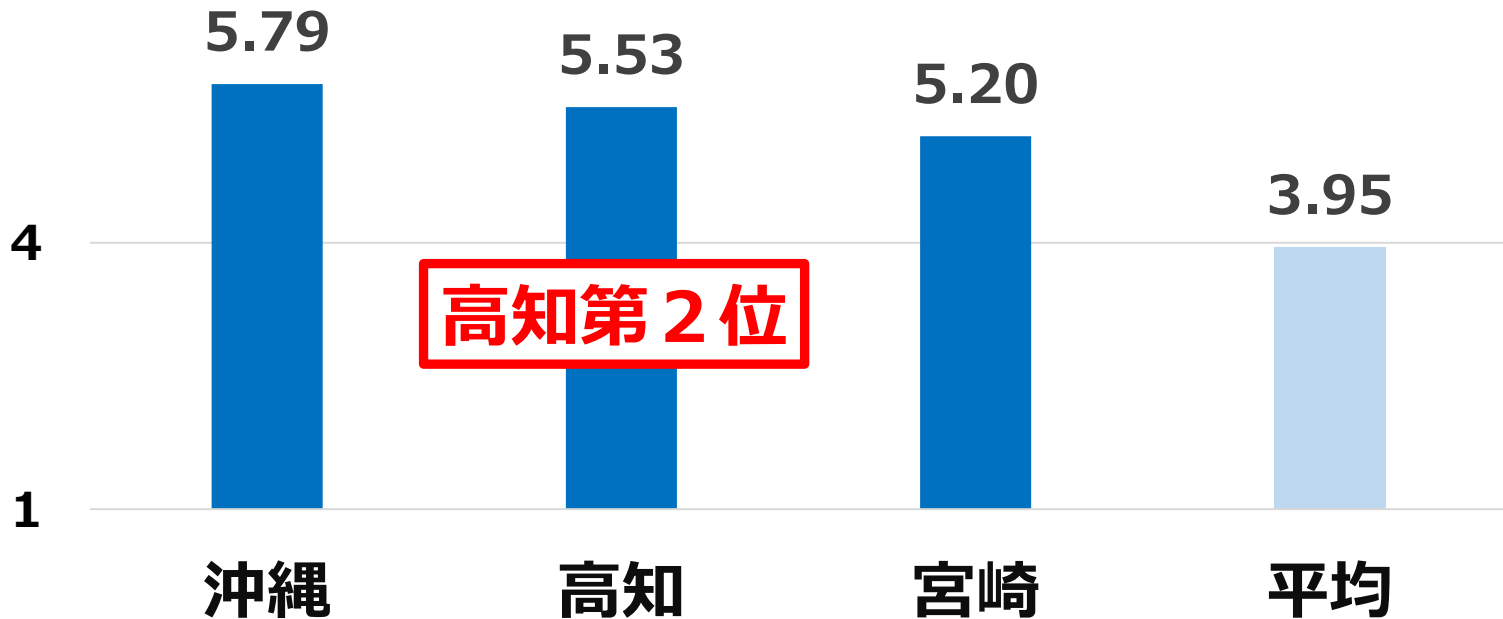
大半で減少するなか、その他専門料理店は増加

4. 将来を考察するためのデータ

(1) 飲食店数等 ②事業所数（人口千人あたり飲食店数）

人口千人あたり飲食店事業所数（2021年）

（か所） 7

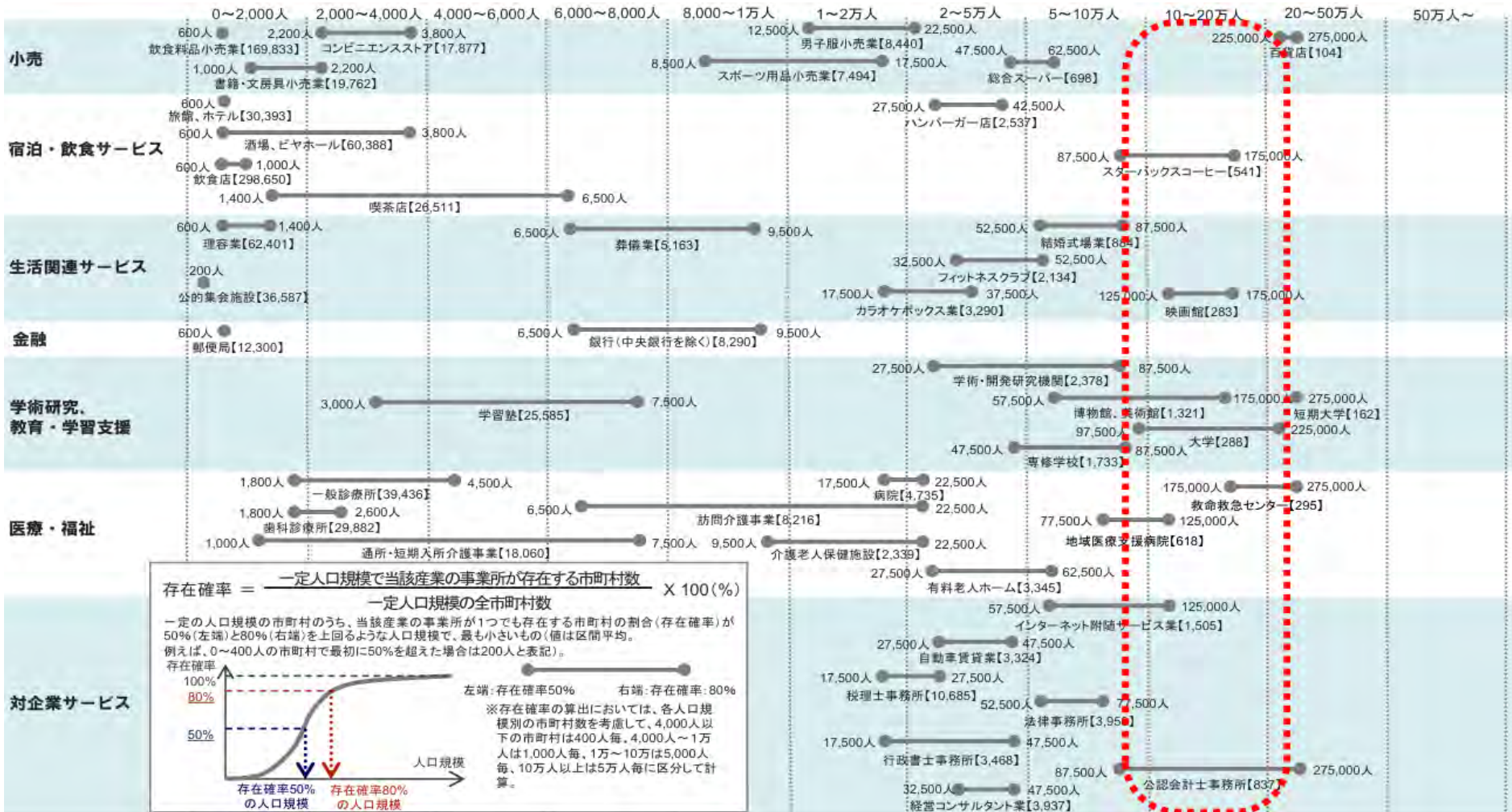


人口あたりの飲食店数が多く競争が厳しい可能性

4. 将来を考察するためのデータ

(参考) 市町村人口規模別の施設の立地確率

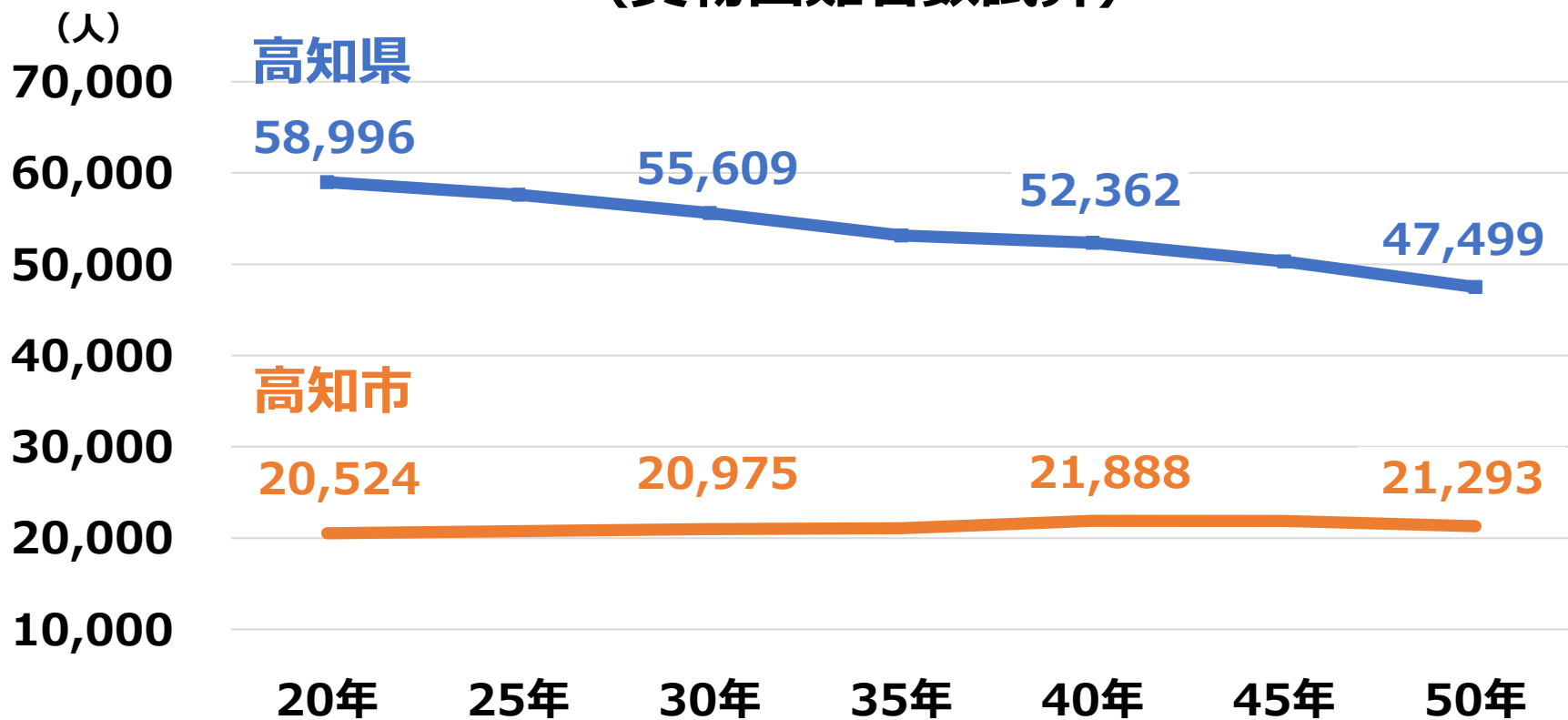
- 市町村別に人口規模と生活サービス産業等の立地状況に基づき、産業の存在確率が一定以上になる市町村の人口規模を整理すると、下図のとおり。
- 多くの市町村が、人口減少に伴い現状では立地確率が低くなっている人口規模に移行していくことが想定され、そういった地域では産業の撤退等により、これまで通りの生活サービスの維持が困難になっていくことが懸念される。



4. 将来を考察するためのデータ

(2) 買物困難者数 ①高知県及び高知市

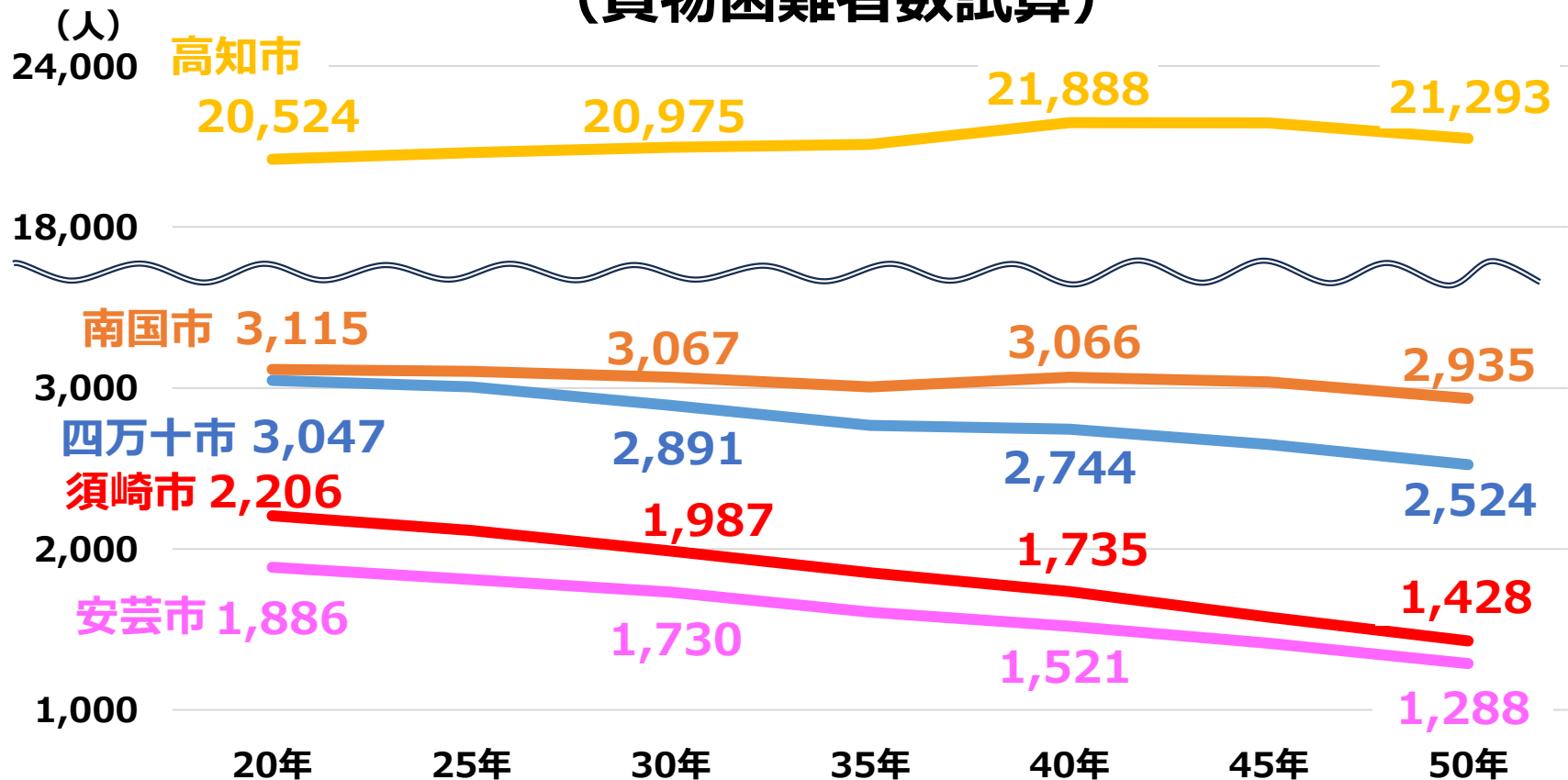
食料品アクセス困難人口の将来見通し (買物困難者数試算)



買物困難者数：高知県では減少、高知市は微増の見通し

4. 将来を考察するためのデータ

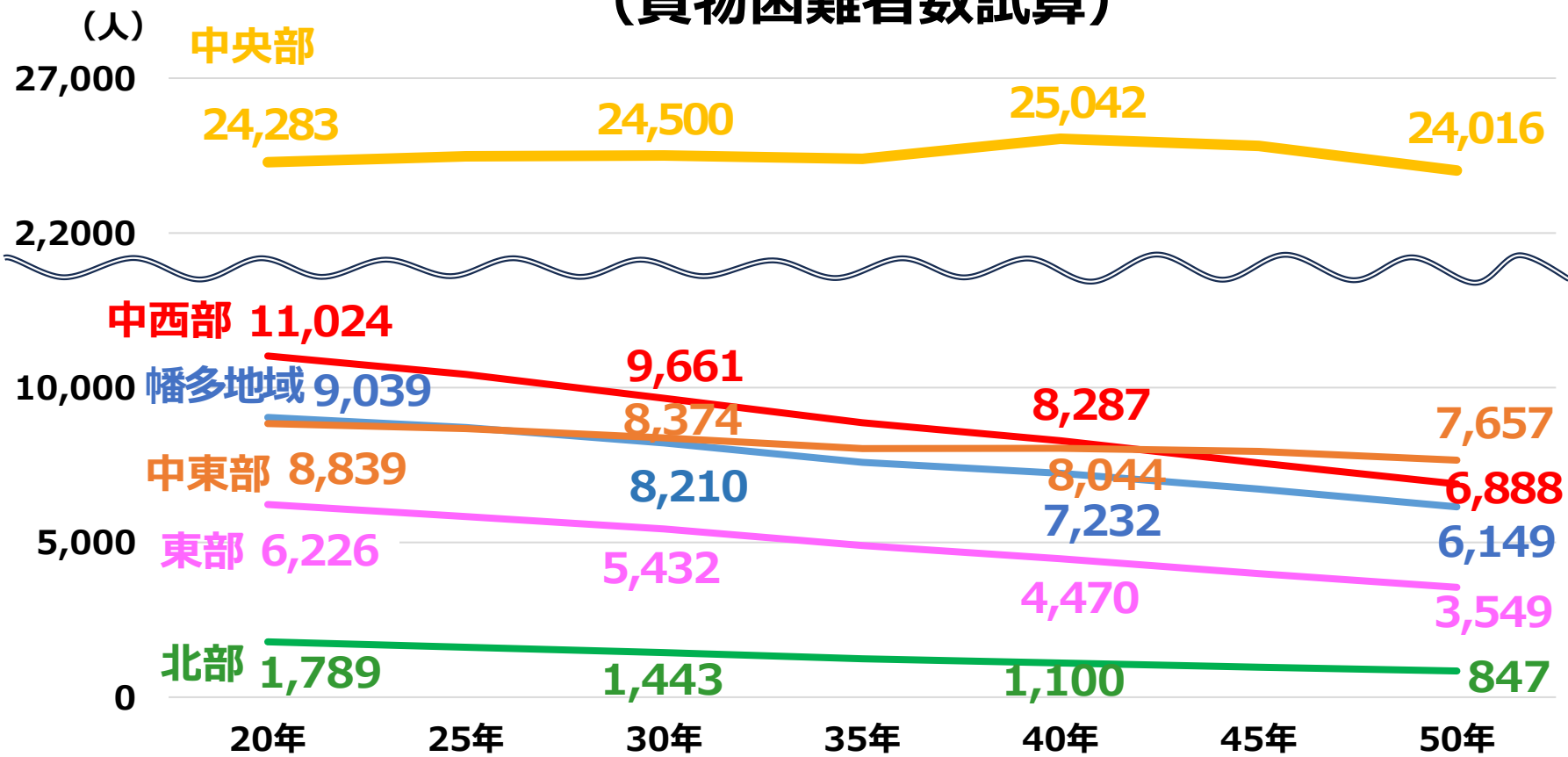
(2) 買物困難者数 ②高知県内5市

食料品アクセス困難人口の将来見通し
(買物困難者数試算)

高知市を除く各市の買物困難者数は減少

4. 将来を考察するためのデータ

(2) 買物困難者数 ③地域別

食料品アクセス困難人口の将来見通し
(買物困難者数試算)

高知市を含まないエリアの買物困難者数は大きく減少

4. 将来を考察するためのデータ

(参考1) 「食料品アクセス困難人口」及び「買物困難者（数）」

- 食料品アクセス困難人口（農林水産省による定義）

「食料品アクセス困難人口」とは、最寄りの食品販売店舗（スーパー、コンビニ等）まで直線距離で500m以上離れており、かつ自動車利用が困難な65歳以上の高齢者。

- 買物困難者（数）〔試算〕

高知県各市町村の2025～2050年将来推計人口（出典：厚生労働省）に、農林水産省が試算する2020年における「食料品アクセス困難人口」の割合を乗じて、四銀地域経済研究所にて機械的に算出したもの。

4. 将来を考察するためのデータ

(参考2) 買物困難者数のグラフ及び表の地域区分

- 中央部：高知市、土佐市、いの町
- 中東部：南国市、香南市、香美市
- 東部：室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村
- 北部：本山町、大豊町、土佐町、大川村
- 中西部：須崎市、仁淀川町、中土佐町、佐川町、越知町、梶原町、津野町、四万十町、日高村
- 幡多地域：四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村

4. 将来を考察するためのデータ

(3) 地域別 ① 中央部

年	小売 店数	飲食 店数	大型 小売 店数 ※	総人口		買物困難者数 (2020年基準)				一般 世帯数	65歳以上 単独 世帯数
				2020	2050	2020		2050			
単位	事業所	事業所	事業所	人	人	人	割合 %	人	割合 %	世帯	世帯
高知市	2,822	1,908	64	326,545	250,573	20,524	6	21,293	8	153,809	23,875
土佐市	241	90	4	25,732	18,019	1,755	7	1,303	7	10,151	1,653
いの町	211	84	5	21,374	13,679	1,634	8	1,154	8	9,088	1,750
計	3,274	2,082	73	373,651	282,271	23,914	6	23,749	8	173,048	27,278

4. 将来を考察するためのデータ

(3) 地域別 ② 中東部

年	小売 店数	飲食 店数	大型 小売 店数 ※	総人口		買物困難者数 (2020年基準)				一般 世帯数	65歳以上 単独 世帯数
				2020	2050	2020		2050			
単位	事業所	事業所	事業所	人	人	人	割合 %	人	割合 %	世帯	世帯
南国市	395	162	6	46,664	35,899	3,115	7	2,935	8	19,705	2,840
香南市	243	133	2	32,207	24,108	2,414	7	2,338	10	13,106	1,937
香美市	207	92	4	26,513	17,865	3,310	12	2,385	13	11,967	2,171
計	845	387	12	105,384	77,872	8,839	8	7,657	10	44,778	6,948

4. 将来を考察するためのデータ

(3) 地域別 ③ 東部

年	小売 店数	飲食 店数	大型 小売 店数 ※	総人口		買物困難者数 (2020年基準)				一般 世帯数	65歳以上 単独 世帯数
	2021	2021	2021	2020	2050	2020		2050		2020	2020
単位	事業所	事業所	事業所	人	人	人	割合 %	人	割合 %	世帯	世帯
室戸市	161	77	1	11,742	5,424	2,018	17	824	15	5,923	1,617
安芸市	210	92	2	16,243	9,674	1,886	12	1,288	13	7,295	1,506
東洋町	31	6	0	2,194	1,007	498	23	262	26	1,228	413
奈半利町	48	36	2	3,034	1,731	519	17	346	20	1,406	345
田野町	34	9	0	2,498	1,592	225	9	137	9	1,163	249
安田町	19	9	0	2,370	1,397	374	16	206	15	1,062	253

4. 将来を考察するためのデータ

(3) 地域別 ③ 東部 (続き)

年	小売 店数	飲食 店数	大型 小売 店数 ※	総人口		買物困難者数 (2020年基準)				一般 世帯数	65歳以上 単独 世帯数
				2020	2050	2020		2050			
						人	人	人	割合 %		
単位	事業所	事業所	事業所	人	人	人	割合 %	人	割合 %	世帯	世帯
北川村	10	3	0	1,146	605	153	13	97	16	549	138
馬路村	10	2	0	745	485	79	11	38	8	376	80
芸西村	35	9	0	3,694	2,480	395	11	314	13	1,505	305
計	558	243	5	43,666	24,395	6,146	14	3,511	14	20,507	4,906

4. 将来を考察するためのデータ

(3) 地域別 ④ 北部

年	小売 店数	飲食 店数	大型 小売 店数 ※	総人口		買物困難者数 (2020年基準)				一般 世帯数	65歳以上 単独 世帯数
				2020	2050	2020		2050		2020	2020
				人	人	人	割合 %	人	割合 %	世帯	世帯
本山町	51	14	0	3,261	1,844	490	15	276	15	1,494	393
大豊町	50	15	0	3,252	1,276	821	25	289	23	1,787	620
土佐町	45	17	1	3,753	2,269	416	11	254	11	1,610	385
大川村	3	1	0	366	253	61	17	28	11	199	55
計	149	47	1	10,632	5,642	1,789	17	847	15	5,090	1,453

4. 将来を考察するためのデータ

(3) 地域別 ⑤ 中西部

	小売 店数	飲食 店数	大型 小売 店数 ※	総人口		買物困難者数 (2020年基準)				一般 世帯数	65歳以上 単独 世帯数
				2020	2050	2020		2050			
年	2021	2021	2021	2020	2050	2020	割合 %	2050	割合 %	2020	2020
単位	事業所	事業所	事業所	人	人	人		人		世帯	世帯
須崎市	250	106	1	20,590	13,109	2,206	11	1,428	11	8,679	1,620
仁淀川町	67	18	0	4,827	2,212	1,046	22	433	20	2,445	802
中土佐町	79	31	0	6,002	3,195	800	13	441	14	2,692	669
佐川町	121	49	3	12,323	7,955	1,120	9	849	11	5,118	1,009
越知町	61	25	0	5,187	2,885	643	12	380	13	2,326	579

4. 将来を考察するためのデータ

(3) 地域別 ⑤ 中西部 (続き)

年	小売 店数	飲食 店数	大型 小売 店数 ※	総人口		買物困難者数 (2020年基準)				一般 世帯数	65歳以上 単独 世帯数
				2020	2050	2020		2050			
						人	人	人	割合 %		
単位	事業所	事業所	事業所	人	人	人	割合 %	人	割合 %	世帯	世帯
梶原町	50	21	0	3,307	2,040	579	17	295	14	1,502	366
日高村	44	26	0	4,812	2,957	369	8	266	9	1,975	414
津野町	54	23	0	5,291	3,147	571	11	359	11	2,198	472
四万十町	232	95	1	15,607	9,294	1,935	12	1,134	12	7,130	1,650
計	958	394	5	77,946	46,794	9,268	12	5,586	12	34,065	7,581

4. 将来を考察するためのデータ

(3) 地域別 ⑥ 幡多地域

年	小売 店数	飲食 店数	大型 小売 店数 ※	総人口		買物困難者数 (2020年基準)				一般 世帯数	65歳以上 単独 世帯数
				2020	2050	2020		2050			
単位	事業所	事業所	事業所	人	人	人	割合 %	人	割合 %	世帯	世帯
宿毛市	253	151	1	19,033	12,623	1,861	10	1,361	11	8,473	1,575
土佐清水市	171	95	2	12,388	5,963	2,004	16	1,032	17	6,160	1,771
四万十市	460	306	4	32,694	22,917	3,047	9	2,524	11	14,771	2,664
大月町	51	19	0	4,434	2,098	683	15	355	17	2,192	596
三原村	16	4	0	1,437	746	189	13	118	16	656	164
黒潮町	105	57	0	10,262	5,849	1,255	12	759	13	4,590	1,022
計	1,056	632	7	80,248	50,196	9,039	11	6,149	12	36,842	7,792

4. 将来を考察するためのデータ

【データについて】

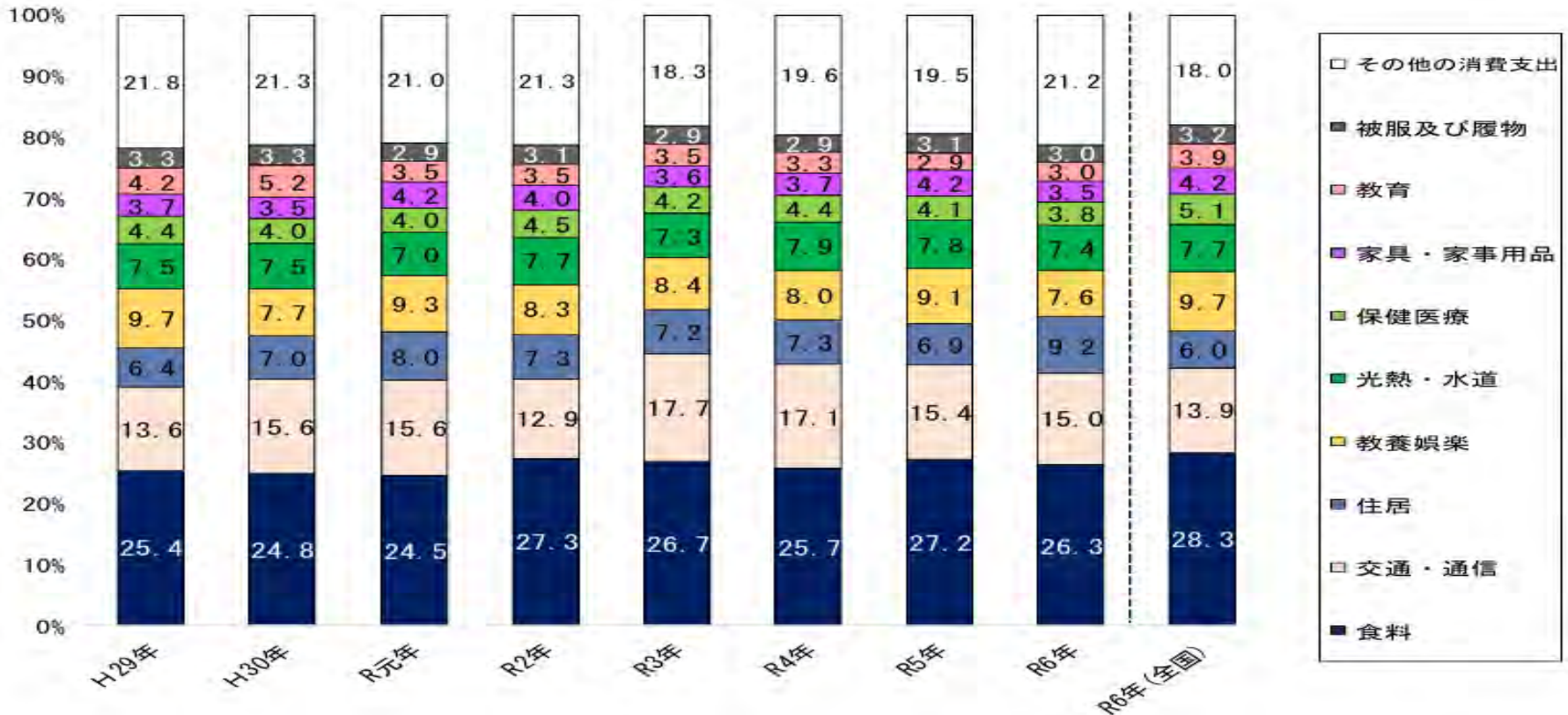
※大型小売店とは、店舗面積が1,000平方メートルを超える小売店舗

- 事業所数：2021年調査「経済センサス-基礎調査及び活動調査」結果
- 人口・世帯数：2020年調査「国勢調査」結果
- 将来人口：封鎖人口を仮定「令和5（2023）年推計」
- 買物困難者：P104を参照

4. 将来を考察するためのデータ

(4) 家計調査 ①消費支出別構成比

消費支出の10大費目別構成比の推移 (二人以上の世帯・高知市)



全国に比べ食料、教養・娯楽、教育のウェイトが小さく、交通・通信、住居が大きい

(出典) 高知県「令和6(2024)年平均 家計調査報告(高知市)」

4. 将来を考察するためのデータ

(4) 家計調査 ②年間支出金額の多い品目の全国比較①

食料ランキング・第1位の品目

(二人以上の世帯・高知市)

(単位：円)

順位	焼肉 (外食)		発泡酒・ビール風アルコール飲料		かつお		はくさい漬	
	全国	8,496	全国	8,163	全国	1,629	全国	600
1	高知市	21,768	高知市	17,033	高知市	7,369	高知市	2,083
2	大分市	15,270	宮崎市	14,734	水戸市	2,974	鳥取市	1,268
3	岡山市	13,915	大阪市	13,481	和歌山市	2,753	山形市	1,060
4	大津市	12,676	秋田市	13,266	福島市	2,646	福島市	969
5	熊本市	12,365	新潟市	13,052	徳島市	2,466	静岡市	841

**焼肉 (外食) と発泡酒等は全国の2倍以上
はくさい漬は3倍以上、かつおは全国の4倍以上支出**

(出典) 高知県「令和6 (2024) 年平均 家計調査報告 (高知市)」

4. 将来を考察するためのデータ

(4) 家計調査 ②年間支出金額の多い品目の全国比較②

食料ランキング・第2位の品目

(二人以上の世帯・高知市)

(単位：円)

順位	すし (外食)	ビスケット	つゆ・たれ	他の柑橘類
	全国 16,236	全国 5,578	全国 5,412	全国 2,157
1	富山市 23,185	東京都区部 7,519	秋田市 6,887	松山市 4,754
2	高知市 21,365	高知市 7,188	高知市 6,588	高知市 4,479
3	静岡市 20,575	鳥取市 7,138	盛岡市 6,401	徳島市 4,225
4	金沢市 20,248	さいたま市 6,996	大阪市 6,399	宮崎市 3,684
5	宇都宮市 20,134	静岡市 6,937	青森市 6,369	山形市 3,340

**すし (外食) は外食文化、ビスケットはミレー、つゆ・たれはかつおとポン酢
他の柑橘はゆずや文旦との関連性が考えられる**

(出典) 高知県「令和6 (2024) 年平均 家計調査報告 (高知市)」

4. 将来を考察するためのデータ

(4) 家計調査 ②年間支出金額の多い品目の全国比較③

食料ランキング・第2位の品目（続き）

（二人以上の世帯・高知市）

（単位：円）

順位	こんにやく		かつお節・削り節	
	全国	1,599	全国	867
1	山形市	3,217	那覇市	2,412
2	高知市	2,078	高知市	1,221
3	青森市	2,032	福岡市	1,201
4	盛岡市	1,946	和歌山市	1,161
5	福島市	1,907	神戸市	1,112

**こんにやくは皿鉢料理や土佐煮等で使用し
かつお節は第1位のかつおとともに慣れ親しんでいる可能性**

（出典）高知県「令和6（2024）年平均 家計調査報告（高知市）」

4. 将来を考察するためのデータ

(4) 家計調査 ②年間支出金額の多い品目の全国比較④

食料ランキング・第3位の品目

(二人以上の世帯・高知市)

(単位：円)

順位	卵	合いびき肉	乳飲料	キャベツ	さば	あさり
	全国 11,930	全国 3,339	全国 2,830	全国 3,240	全国 826	全国 385
1	福島市 15,273	熊本市 5,373	福島市 4,431	宮崎市 4,206	鹿児島市 1,668	甲府市 757
2	岐阜市 14,983	大分市 5,208	徳島市 3,854	松江市 3,919	松江市 1,419	さいたま市 645
3	高知市 13,796	高知市 4,989	高知市 3,822	高知市 3,818	高知市 1,257	高知市 533
4	鳥取市 13,684	岡山市 4,976	大阪市 3,763	鹿児島市 3,731	和歌山市 1,235	山形市 524
5	和歌山市 13,418	長崎市 4,936	鳥取市 3,762	岡山市 3,715	富山市 1,229	東京都区部 521

(出典) 高知県「令和6(2024)年平均家計調査報告(高知市)」

4. 将来を考察するためのデータ

(4) 家計調査 ②年間支出金額の多い品目の全国比較⑤

食料ランキング・第4位の品目

(二人以上の世帯・高知市)

(単位：円)

順位	食パン		ハンバーガー (外食)		干しあじ	
	全国	10,622	全国	6,467	全国	533
1	神戸市	15,424	大分市	9,724	横浜市	1,100
2	富山市	12,932	熊本市	8,692	千葉市	946
3	大阪市	12,854	那覇市	8,439	静岡市	921
4	高知市	12,729	高知市	8,417	高知市	916
5	松江市	12,612	大阪市	8,045	甲府市	864

(出典) 高知県「令和6(2024)年平均家計調査報告(高知市)」

4. 高知県の将来を考察するデータ

(4) 家計調査 ②年間支出金額の多い品目の全国比較⑥

食料ランキング・第5位の品目

(二人以上の世帯・高知市)

(単位：円)

順位	即席麺		しらす干し	
	全国	2,415	全国	1,643
1	鳥取市	3,649	和歌山市	3,394
2	熊本市	3,513	京都市	3,163
3	佐賀市	3,194	静岡市	3,127
4	宮崎市	2,971	奈良市	2,787
5	高知市	2,905	高知市	2,574

(出典) 高知県「令和6(2024)年平均 家計調査報告(高知市)」

ご清聴ありがとうございました。

**経済・金融等に関する講演等の
依頼がございましたら、下記QR
コードにあるホームページの
お問い合わせフォームから弊社宛
ご連絡ください。**





地域と共に未来を創造する

(株) 四銀地域経済研究所

〒780-0823 高知市菜園場町1-21

Tel : 088-883-1152(代表)

Mail: shigincr@crux.ocn.ne.jp